
岡崎市市民意識調査 報告書

平成23年10月

岡崎市

目次

調査の概要	1
調査結果	3
A 属性	3
B 岡崎市のまちについて	4
C 市民参加のまちづくりについて	23
D 市の取組に対する満足度・重要度について	33
E 自由回答	48
参考 調査票	61

調査の概要

調査内容

・調査対象

20 歳以上の岡崎市民 5,000 人
(住民基本台帳から無作為に抽出)

調査方法

郵送による配布・回収

調査期間

平成 23 年 6 月 1 日から平成 23 年 7 月 6 日

回収状況

配布数 5,000 回収数 2,979 回収率 59.6%

・調査結果の見かた

- (1) 回答結果について、比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した。なお、各回答の合計が 100%にならない場合は、無回答（無回答がない場合は「分からない」）の値を調整している。
- (2) 基数となるべき実数は、N として掲載した。すべての比率は、N を 100%として算出している。
- (3) 複数回答が可能な設問では、比率算出の基数は回答者数（票数）とし、その項目を選択した人の回答者数に対する比率を算出している。そのため、各項目の比率を合計すると 100%を超える。
- (4) 各設問に対する結果レポートは、回答者の属性（居住地域、年齢）によるクロス集計結果及び過去の調査結果（平成 14 年度、平成 18 年度、平成 20 年度実施）との比較について記載している。

調査項目

A 属性

B 岡崎市のまちについて

- ・岡崎市の住みやすさ（問 7）
- ・住みよいと思う理由（問 7 - 1）
- ・住みにくいと思う理由（問 7 - 2）
- ・居住継続意向（問 8）
- ・市政関心度（問 9）
- ・市政に関心がある理由（問 9 - 1）
- ・市政に関心を持ってもらう施策（問 9 - 2）

C 市民参加のまちづくりについて

- ・「市民参加によるまちづくりの取組」への過去 1 年間での参加（問 10 - 1）
- ・今後参加したい市民活動（問 10 - 2）
- ・市民活動を活性化させていくために重要な「行政の支援」（問 11）

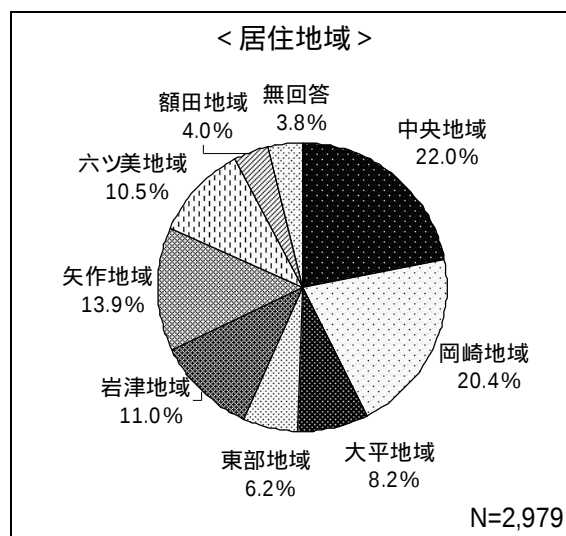
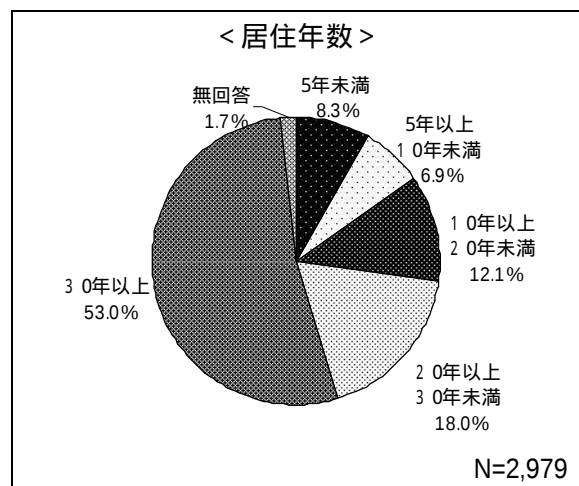
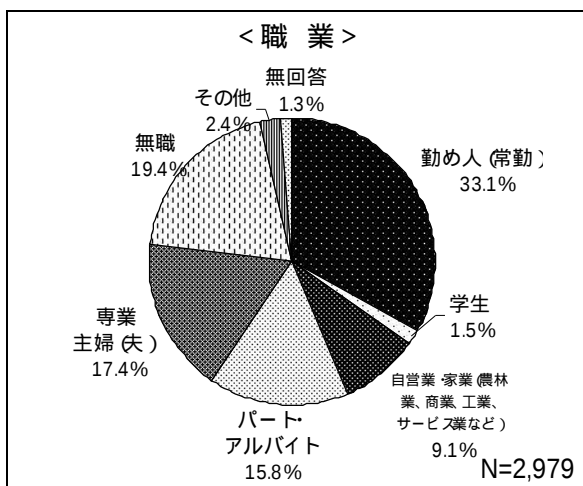
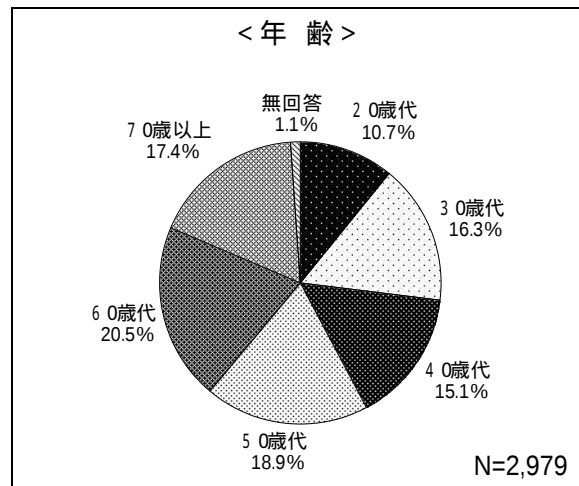
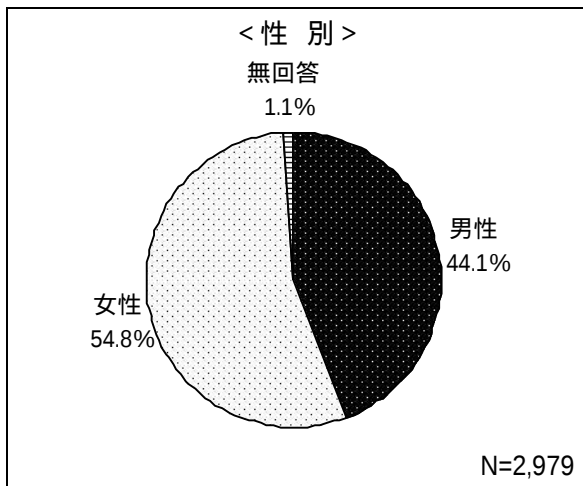
D 市の取組に対する満足度・重要度について

- ・市の行政施策に係る「現状の満足度」（問 12（1））
- ・市の行政施策に係る「今後の重要度」（問 12（2））

E 自由回答

調査結果

A 属性



B 岡崎市のまちについて

問7 岡崎市の住みやすさ

岡崎市の住みやすさについてうかがったところ、「まあ住みよい」と答えた人が46.2%と最も多く、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせると83.2%の市民が岡崎市の生活に満足している。

全体の傾向として生活への満足度水準は高い状態が維持され、住みにくさを感じている市民は少数といえる。

過去3回（平成14年度、平成18年度、平成20年度）と合わせた4時点の経年変化をみると、「住みよい」と「まあ住みよい」を合わせた肯定的意見は80%以上を維持している。

問7

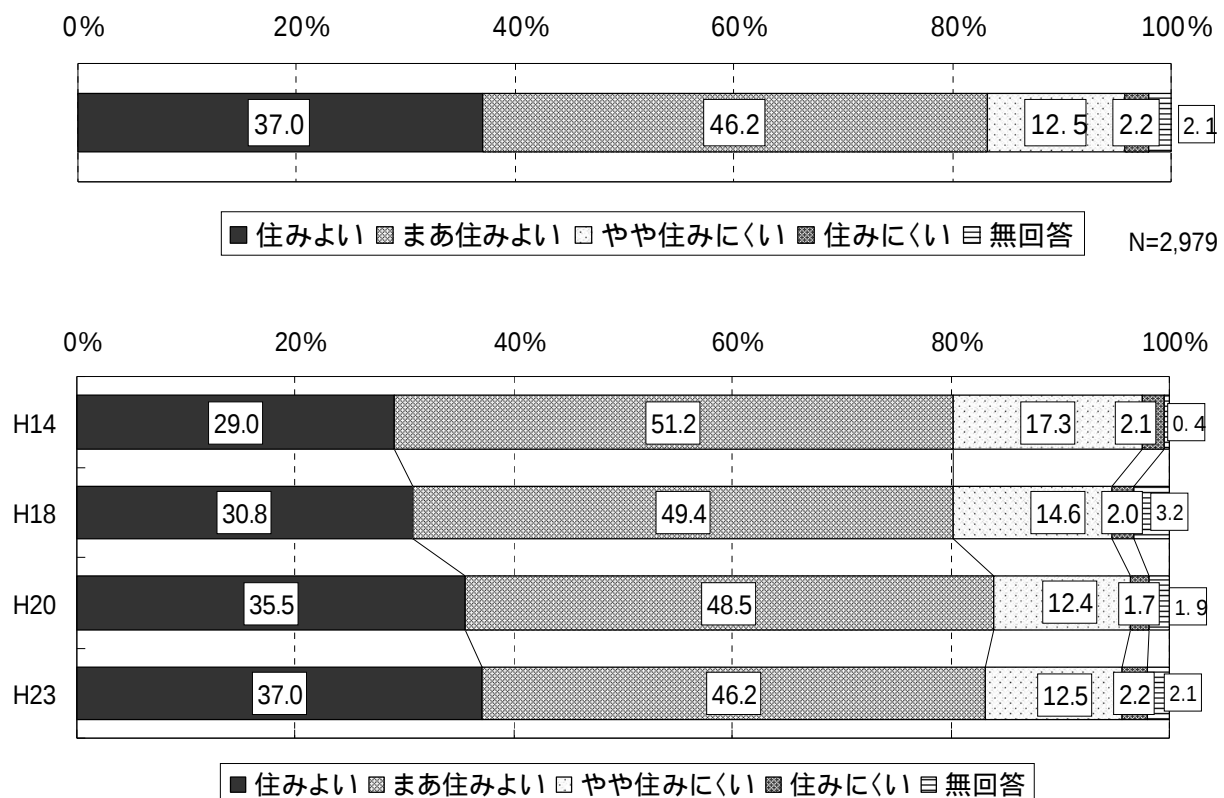
あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表1 岡崎市の住みやすさ

（単位：人、％）

	全 体	住みよい	まあ住みよい	やや住みにくい	住みにくい	無回答
回答者数	2,979	1,103	1,375	373	66	62
割合	100.0	37.0	46.2	12.5	2.2	2.1

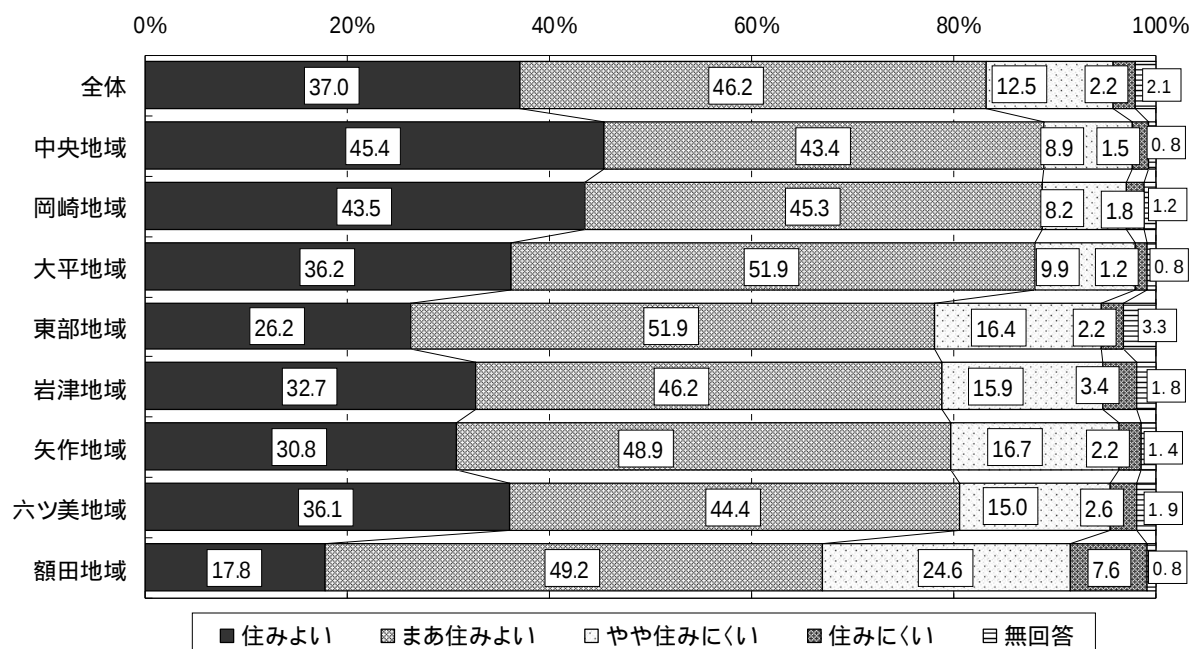
図1 岡崎市の住みやすさ（上段：単純、下段：経年変化）



< 地域別 >

地域別にみると、「住みよい」と答えた人の割合が高いのは中央地域（45.4％）、岡崎地域（43.5％）で、「住みにくい」と答えた人の割合が他の地域と比較して高いのは額田地域（7.6％）となっている。

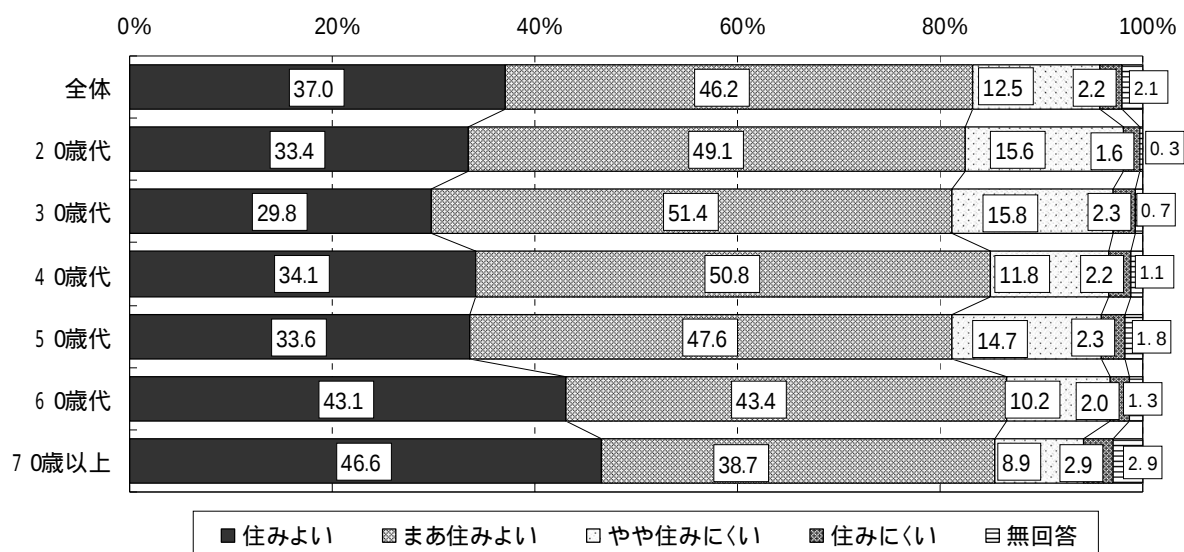
図 1 a 岡崎市の住みやすさ（地域別）



< 年齢別 >

年齢別にみると、「住みよい」と答えた人の割合は、年齢が高いほど高い傾向が現れており、60歳代、70歳代以上では、それぞれ43.1％、46.6％となっている。

図 1 b 岡崎市の住みやすさ（年齢別）



問 7 - 1 住みよいと思う理由

問 7 で「住みよい」「まあ住みよい」と答えた人に、住みよいと思う理由についてうかがったところ、「買い物が便利である」との回答が 50.4% ともっとも多く、次いで「交通の便がよい」との回答が 39.2% と多くなっている。

問 7 - 1 (問 7 で「住みよい」「まあ住みよい」と回答した方のみ)

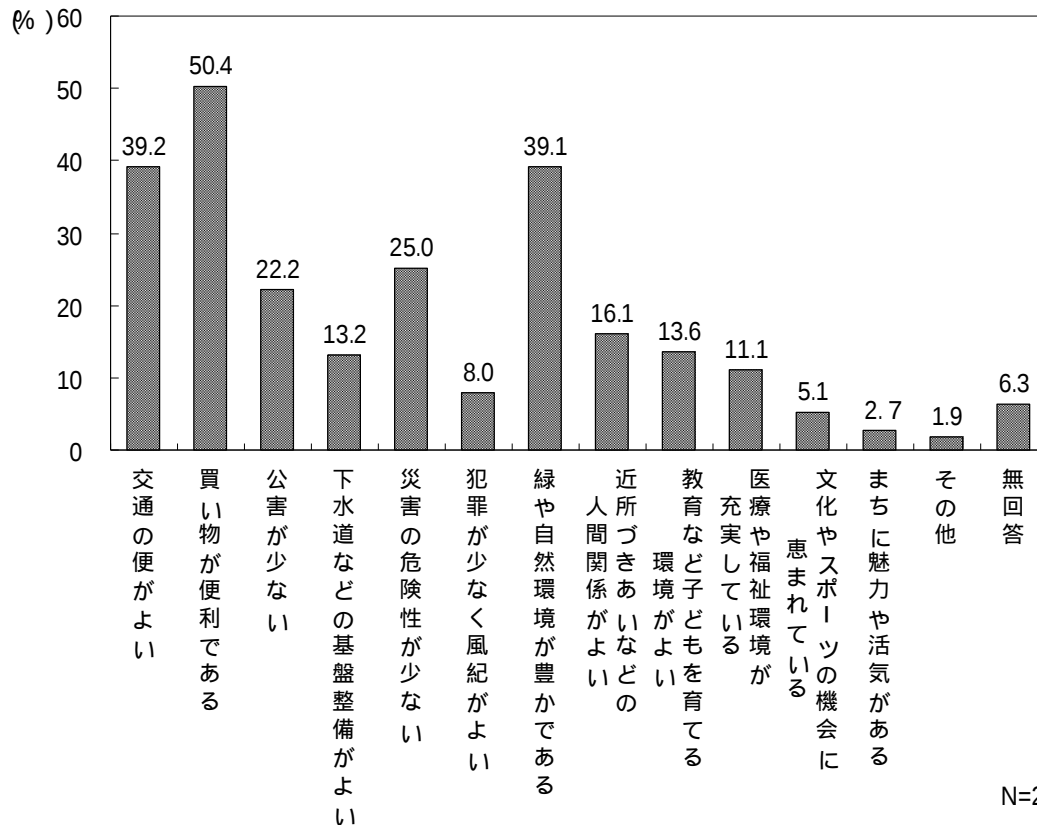
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 1 - 1 住みよいと思う理由

(単位：人、%)

	全 体	交通の便がよい	買い物が便利である	公害が少ない	下水道などの基盤整備がよい	災害の危険性が少ない	犯罪が少なく風紀がよい	緑や自然環境が豊かである	近所づきあいなどの人間関係がよい	教育など子どもを育てる環境がよい	医療や福祉環境が充実している	文化やスポーツの機会に恵まれている	まちに魅力や活気がある	その他	無回答
回答者数	2,478	971	1,248	549	328	620	198	968	399	336	275	127	68	46	157
割合	100.0	39.2	50.4	22.2	13.2	25.0	8.0	39.1	16.1	13.6	11.1	5.1	2.7	1.9	6.3

図 1 - 1 住みよいと思う理由

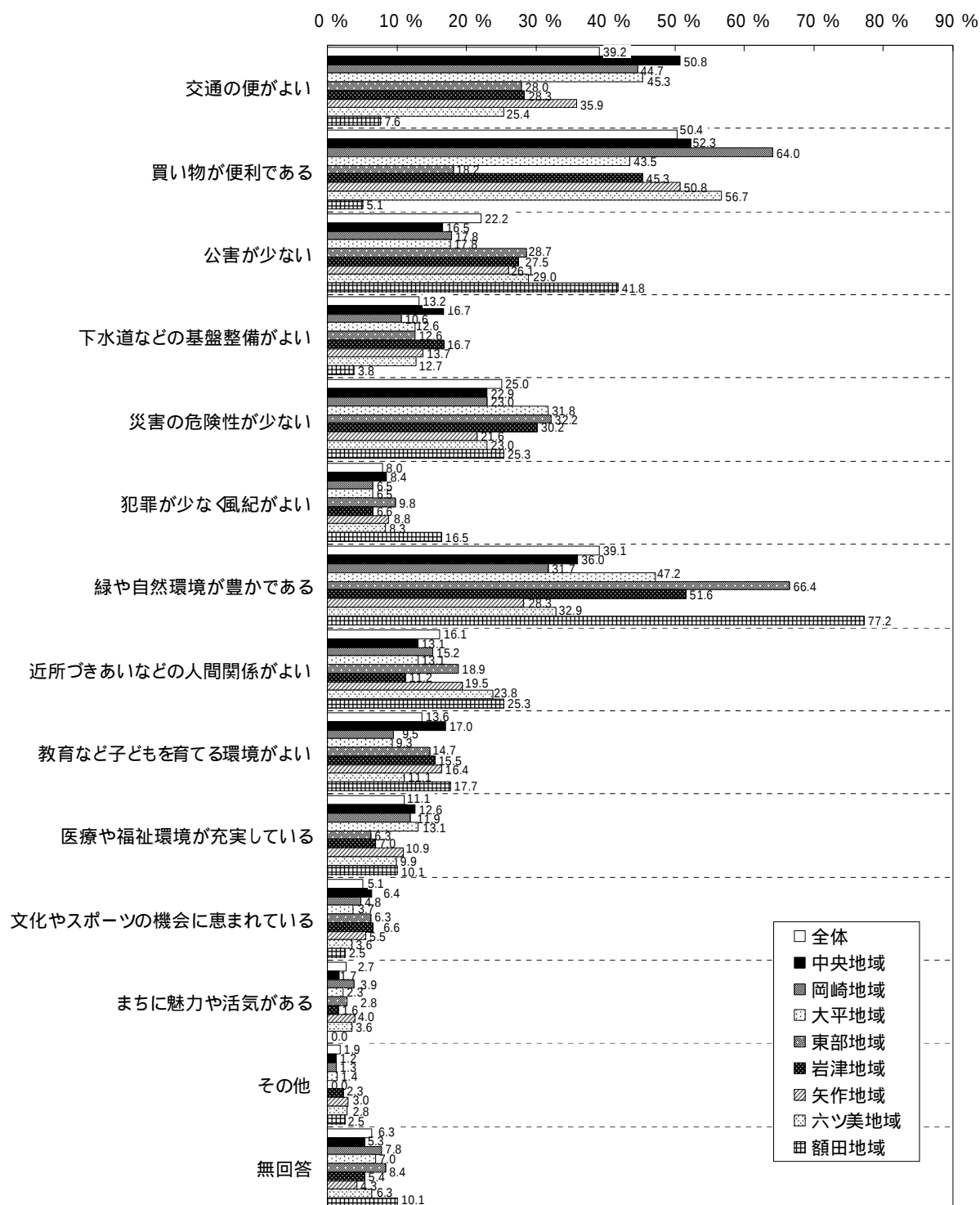


< 地域別 >

地域別にみると、全体でもっとも多かった「買い物が便利である」と答えた人は岡崎地域で多く、64.0%となっている。一方で、額田地域、東部地域においては、それぞれ 5.1% 18.2%と、全体の回答と比して 10 分の 1 程度、3分の 1 程度となっている。

全体で次に多かった「交通の便が良い」と答えた人は、中央地域で 50.8%、大平地域で 45.3%、岡崎地域で 44.7%となっている。

図 1 - 1 a 住みよいと思う理由（地域別）

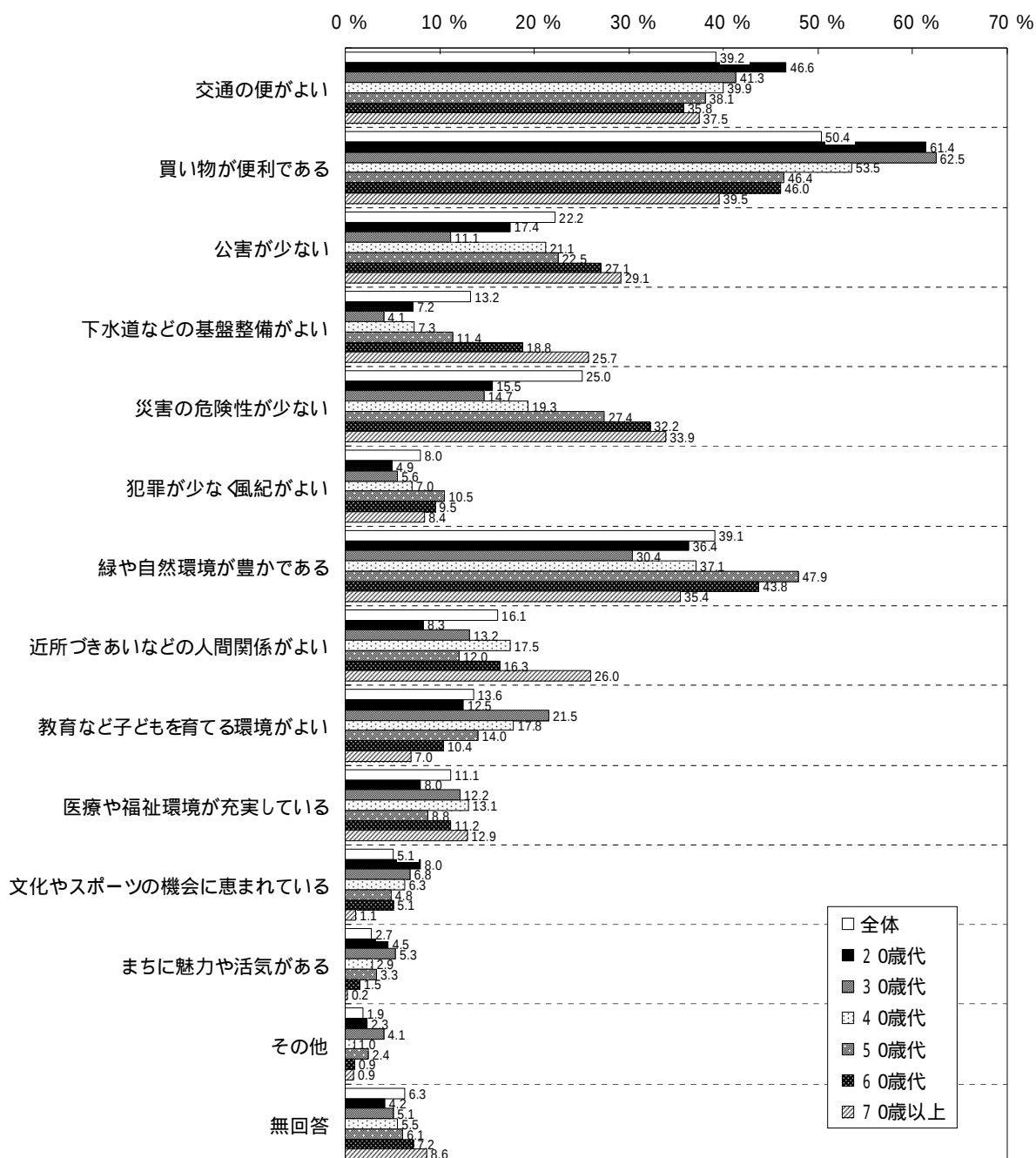


< 年齢別 >

年齢別にみると、全体でもっとも多かった「買い物が便利である」と答えた人は30歳代、20歳代で多く、それぞれ62.5%、61.4%と6割に達している。

一方、全体で次に多かった「交通の便がよい」と答えた人は20歳代で多く、46.6%となっている。

図1 - 1 b 住みよいと思う理由（年齢別）



問 7 - 2 住みにくいと思う理由

問 7 で「住みにくい」「やや住みにくい」と答えた人に、住みにくいと思う理由についてうかがったところ、「交通の便が悪い」「買い物が不便である」との回答がそれぞれ 59. 0% 39. 2% となっており、他の理由と大きく差が開いている。問 7 - 1 住みよいと思う理由では、「交通の便がよい」「買い物が便利である」との回答がそれぞれ 2 番目、1 番目に位置していることから、居住地域や年齢等の属性、自家用車の所有の有無等により、二分されていると考えられる。

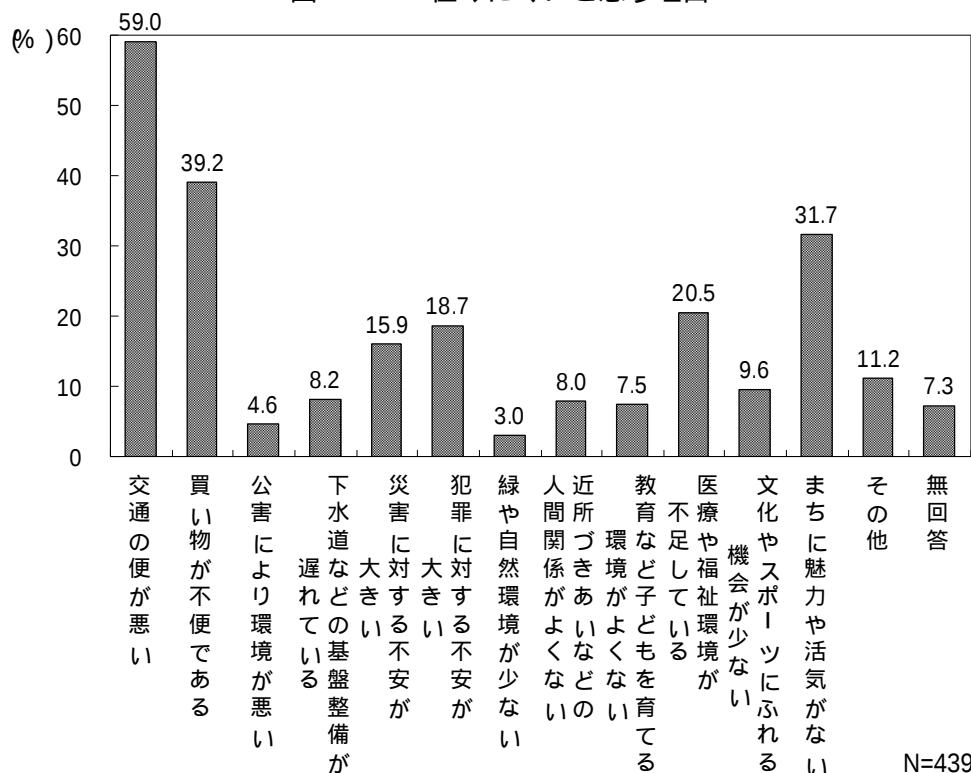
問 7 - 2 (問 7 で「やや住みにくい」「住みにくい」と回答した方のみ)
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 1 - 2 住みにくいと思う理由

(単位：人、%)

	全体	交通の便が悪い	買い物が不便である	公害により環境が悪い	下水道などの基盤整備が遅れている	災害に対する不安が大きい	犯罪に対する不安が大きい	緑や自然環境が少ない	近所づきあいなどの人間関係がよいくない	教育など子どもを育てる環境がよいくない	医療や福祉環境が不足している	文化やスポーツにふれる機会が少ない	まちに魅力や活気がない	その他	無回答
回答者数	439	259	172	20	36	70	82	13	35	33	90	42	139	49	32
割合	100.0	59.0	39.2	4.6	8.2	15.9	18.7	3.0	8.0	7.5	20.5	9.6	31.7	11.2	7.3

図 1 - 2 住みにくいと思う理由

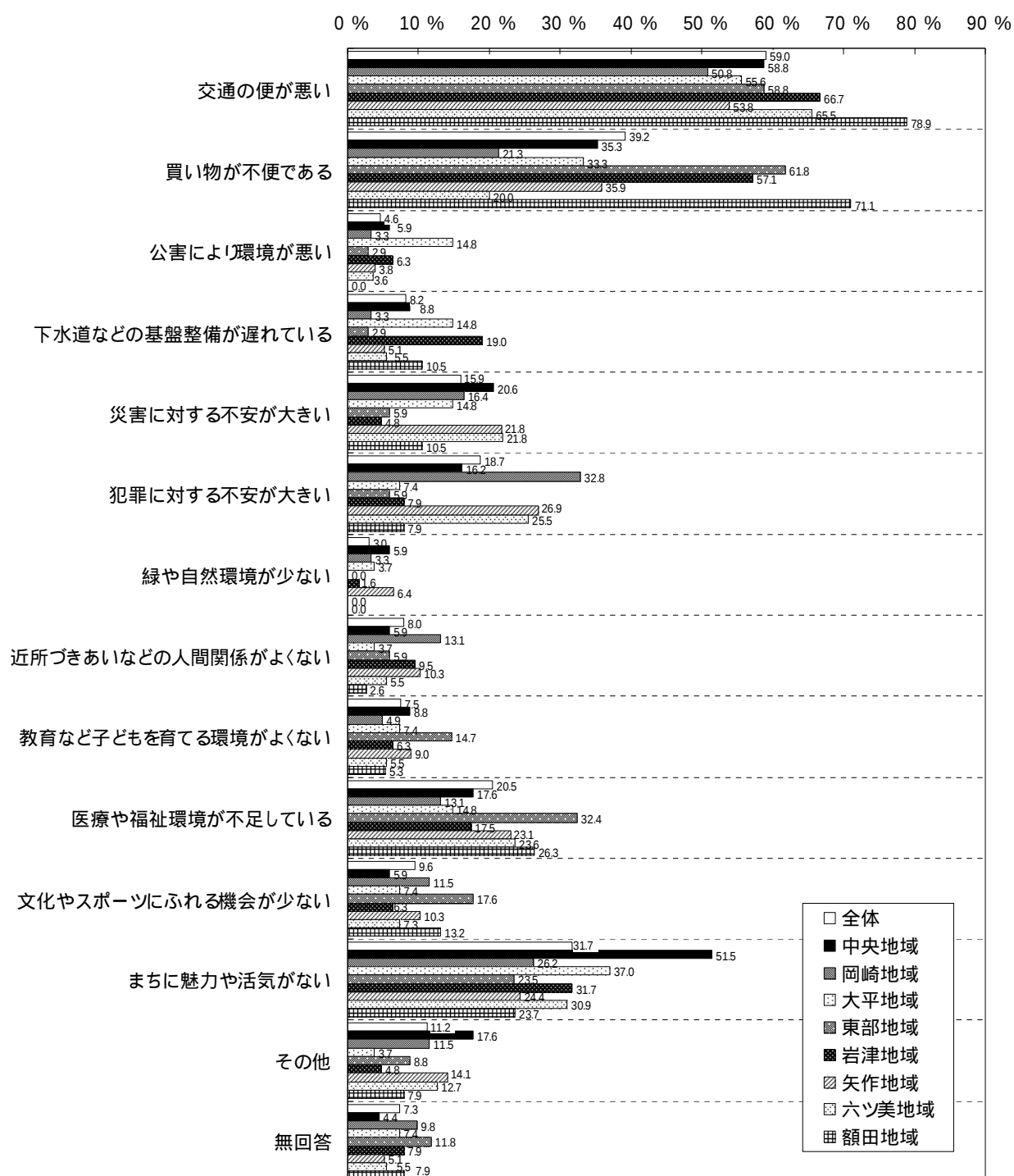


< 地域別 >

地域別にみると、「交通の便が悪い」との答えが多かったのは額田地域で、78.9%となっている。額田地域については、岡崎市中心部へ行く機会が多いものの、公共交通機関および幹線道路へのアクセスが悪いことが要因となっている可能性があると考えられる。

「買い物が不便である」との答えが多かったのは、額田地域（71.1%）、東部地域（61.8%）である。中央地域の市の中心部に近い地域で「まちに魅力や活気がない」との回答が多くなっており、中心部の賑わい再生が課題といえる。

図1 - 2 a 住みにくいと思う理由（地域別）

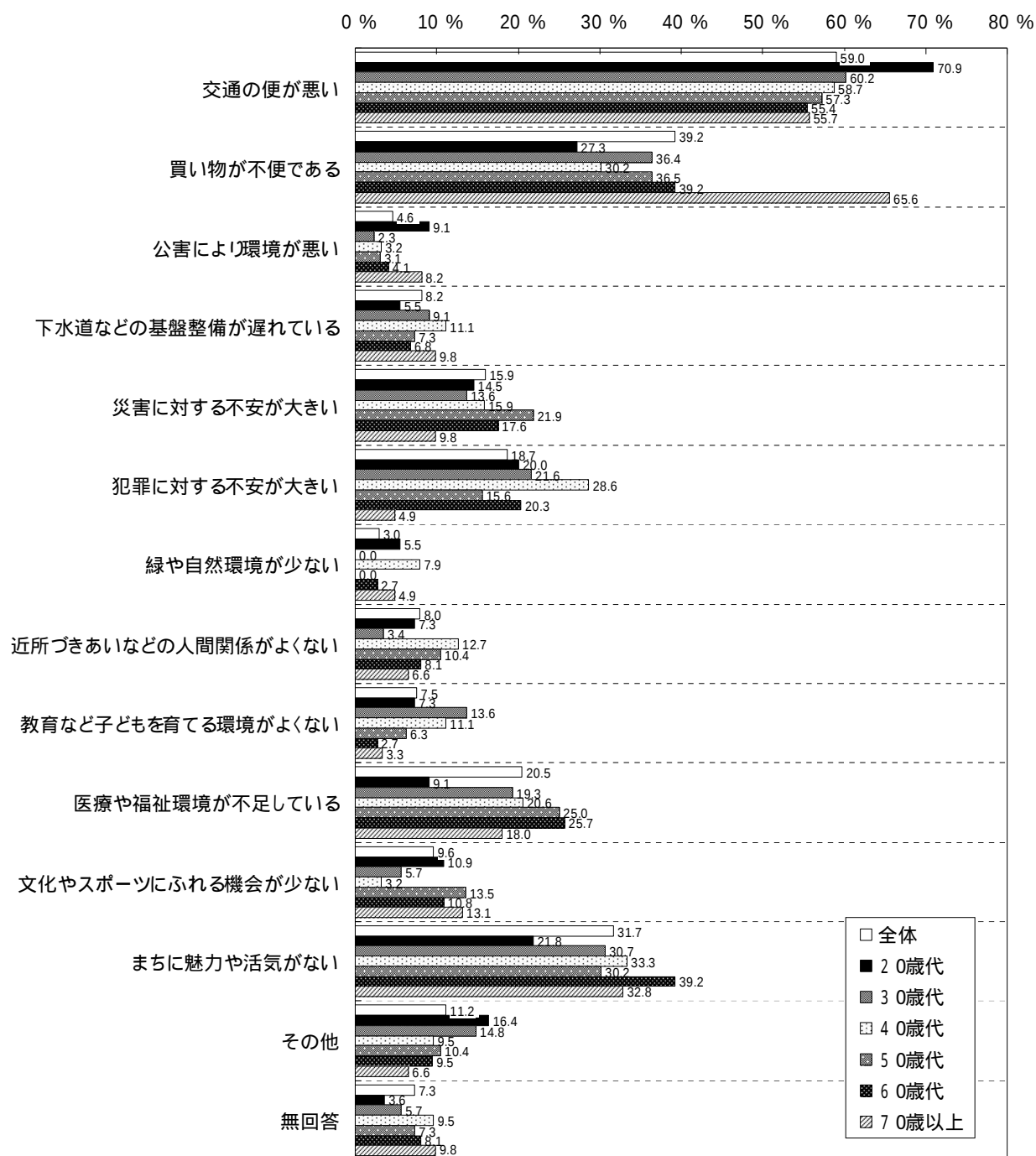


< 年齢別 >

年齢別にみると、「交通の便が悪い」と答えた人が多かったのは20歳代で、7割を超えている。これは、若年者層は公共交通機関の利用率が比較的高いため、公共交通機関の利便性を求めるからだと考えられる。他の年代層でもそれぞれ5割を超えている。

70歳以上では「買い物が不便である」と答えた人が65.6%と高い数値となっている。

図1 - 2 b 住みにくいと思う理由（年齢別）



問 8 居住継続意向

今後の居住継続に対する意向をうかがったところ、「ずっと住んでいたい」との回答が 60.8%と多く、「しばらくは住むつもりだ」(22.6%)、「市内の他の地域に移りたい」(2.3%)を含めて、8割以上の市民が引き続き岡崎市に住み続けたいと回答している。

過去3回(平成14年度、平成18年度、平成20年度)と合わせた4時点の経年変化をみると、「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」を合わせた市内居住に対する肯定的意見は、平成14年(83.1%)、平成18年(84.3%)、平成20年(84.4%)、平成23年(83.4%)とほぼ一定であり、8割を超えている。

一方、「市外に移りたい」という市内居住に対する否定的意見も、平成14年(2.8%)、平成18年(2.2%)、平成20年(2.3%)、平成23年(2.1%)でほぼ一定の低い値で推移している。

問 8

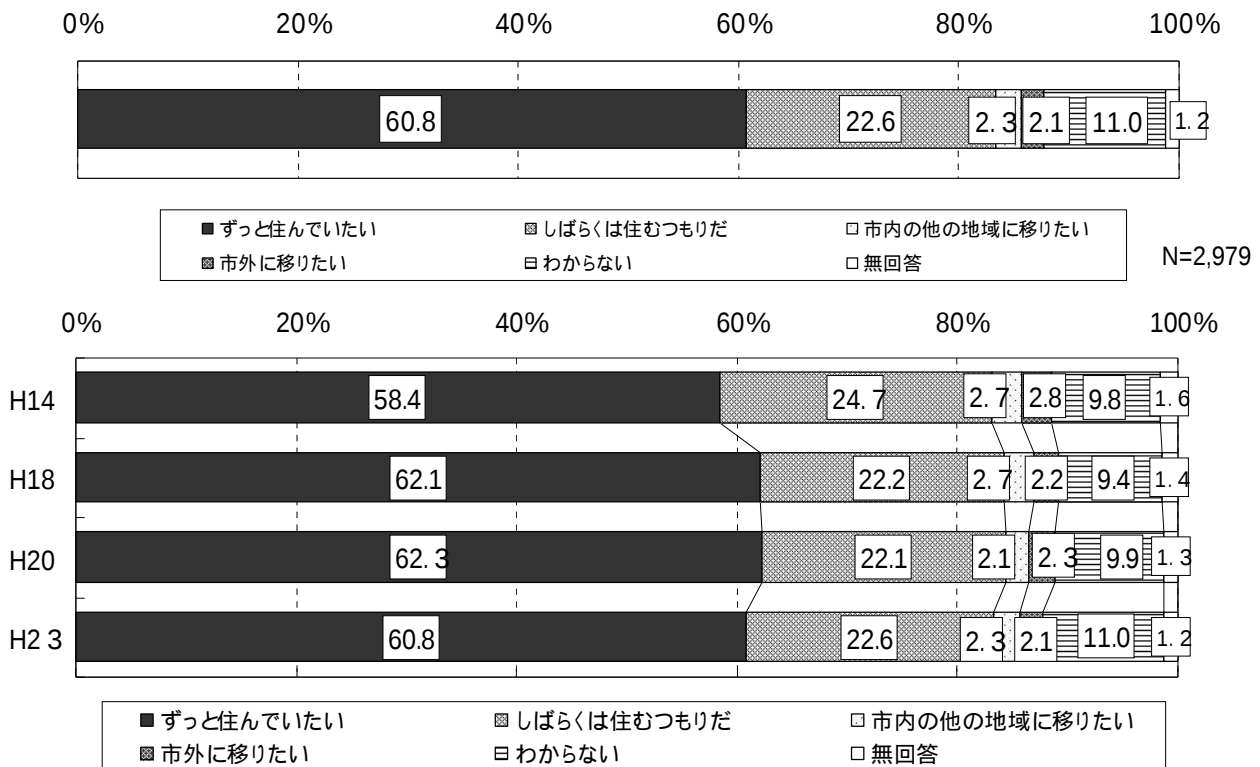
あなたは今後も岡崎市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 2 居住継続意向

(単位：人、%)

	全 体	ずっと住んでいたい	しばらくは住むつもりだ	市内の他の地域に移りたい	市外に移りたい	わからない	無回答
回答者数	2,979	1,811	672	70	63	329	34
割合	100.0	60.8	22.6	2.3	2.1	11.0	1.2

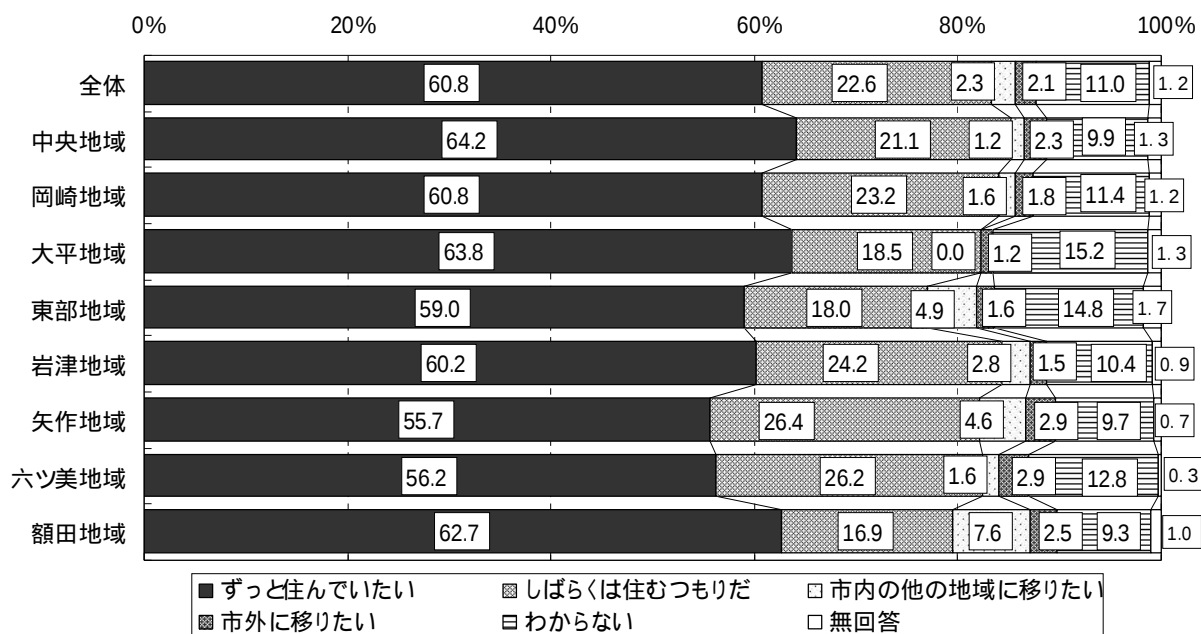
図 2 居住継続意向(上段：単純、下段：経年変化)



< 地域別 >

地域別にみると、「ずっと住んでいたい」と答えた人の割合が高いのは、中央地域（64.2％）次いで大平地域（63.8％）となっているのに対し、低いのは矢作地域（55.7％）次いで六ツ美地域（56.2％）となっている。

図 2 a 居住継続意向（地域別）

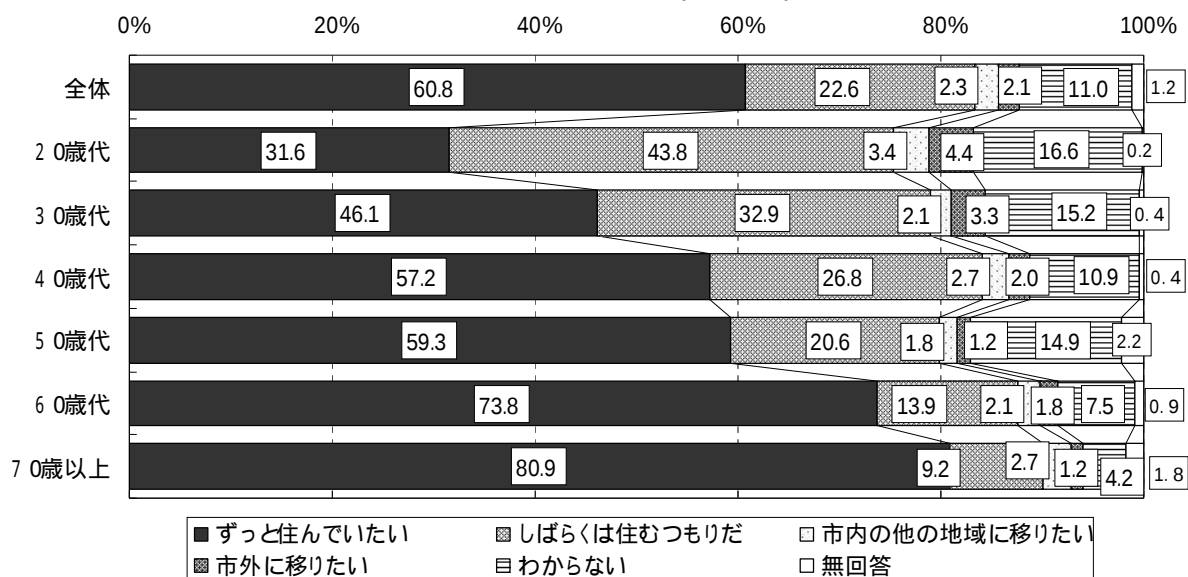


< 年齢別 >

年齢別にみると、「ずっと住んでいたい」との回答は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなっており、20歳代では31.6％となっているのに対し、70歳以上では80.9％となっており、約2.5倍の差がみられる。

一方で、「市外に移りたい」と答えた人の割合は20歳代で4.4％と他に比して高くなっている。

図 2 b 居住継続意向（年齢別）



問9 市政関心度

市政に対する関心度をうかがったところ、「ある程度関心がある」との回答が54.5%と最も多く、「非常に関心がある」と合わせて約7割の市民が市政に関心を寄せていることが読み取れる。

過去3回（平成14年度、平成18年度、平成20年度）と合わせた4時点の経年変化をみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた市政に対する関心のある層は、平成14年（66.8%）、平成18年（65.6%）、平成20年（69.2%）、平成23年（66.1%）と、概ね高水準にあるといえる。

一方で、「まったく関心がない」「あまり関心がない」を合わせた市政に対して関心のない層は、平成14年（32.5%）、平成18年（31.5%）、平成20年（28.4%）、平成23年（31.9%）と3割程度で推移している。

問9

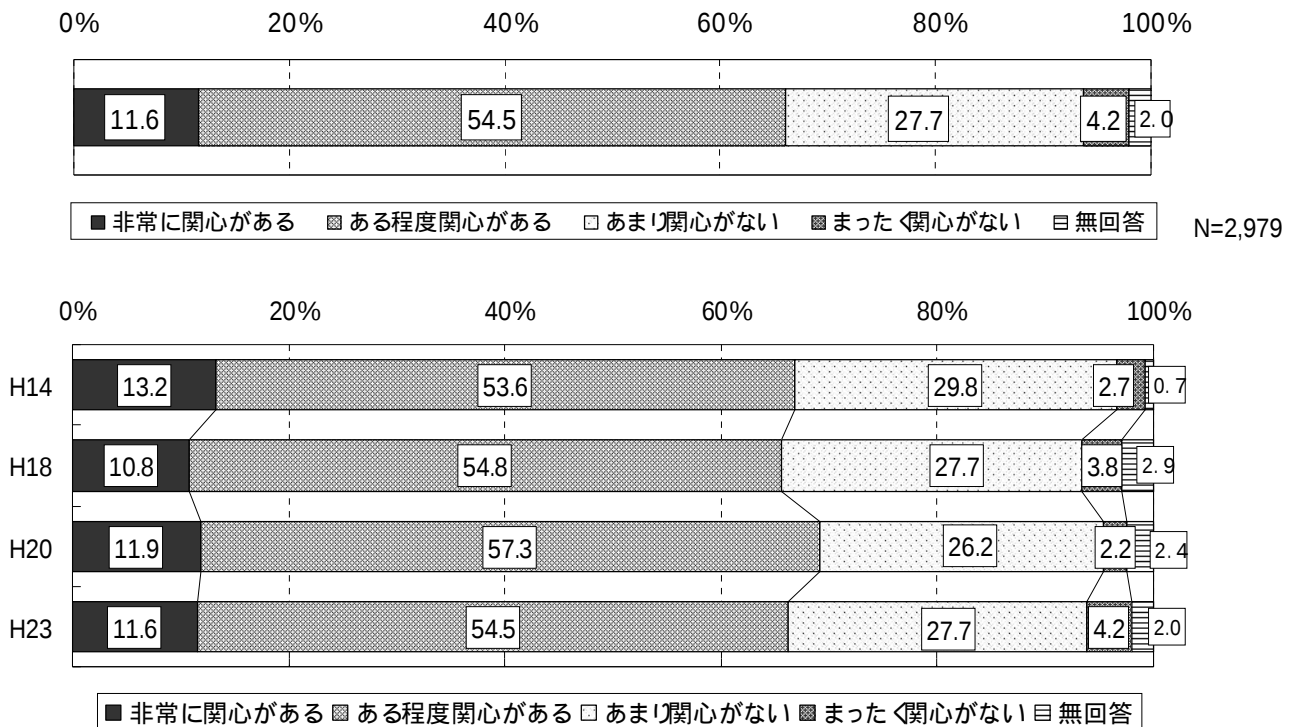
あなたは岡崎市の市政に関心をお持ちですか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表3 市政関心度

（単位：人、％）

	全 体	非常に関心 がある	ある程度関 心がある	あまり関心 がない	まったく関心 がない	無回答
回答者数	2,979	345	1,625	824	124	61
割合	100.0	11.6	54.5	27.7	4.2	2.0

図3 市政関心度（上段：単純、下段経年変化）

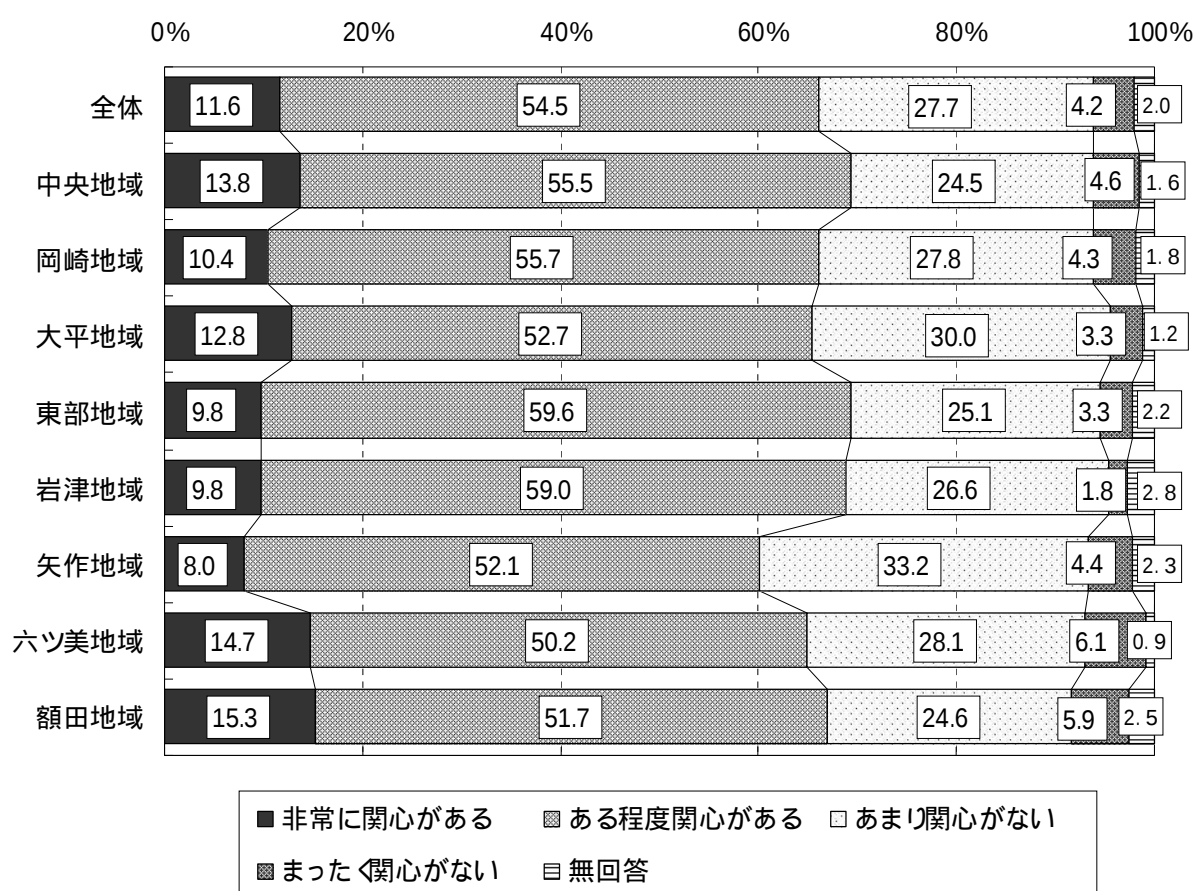


< 地域別 >

地域別にみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と答えた人を合わせると、東部地域（69.4%）、中央地域（69.3%）と岩津地域（68.8%）の順で高くなっている。なお、額田地域では「非常に関心がある」との答えが15.3%と最も高くなっている。

一方で、「あまり関心がない」「まったく関心がない」と答えた人を合わせると、矢作地域（37.6%）、六ツ美地域（34.2%）、大平地域（33.3%）の順で高くなっている。「まったく関心がない」との回答は、六ツ美地域（6.1%）、額田地域（5.9%）で多くなっている。

図3 a 市政関心度（地域別）

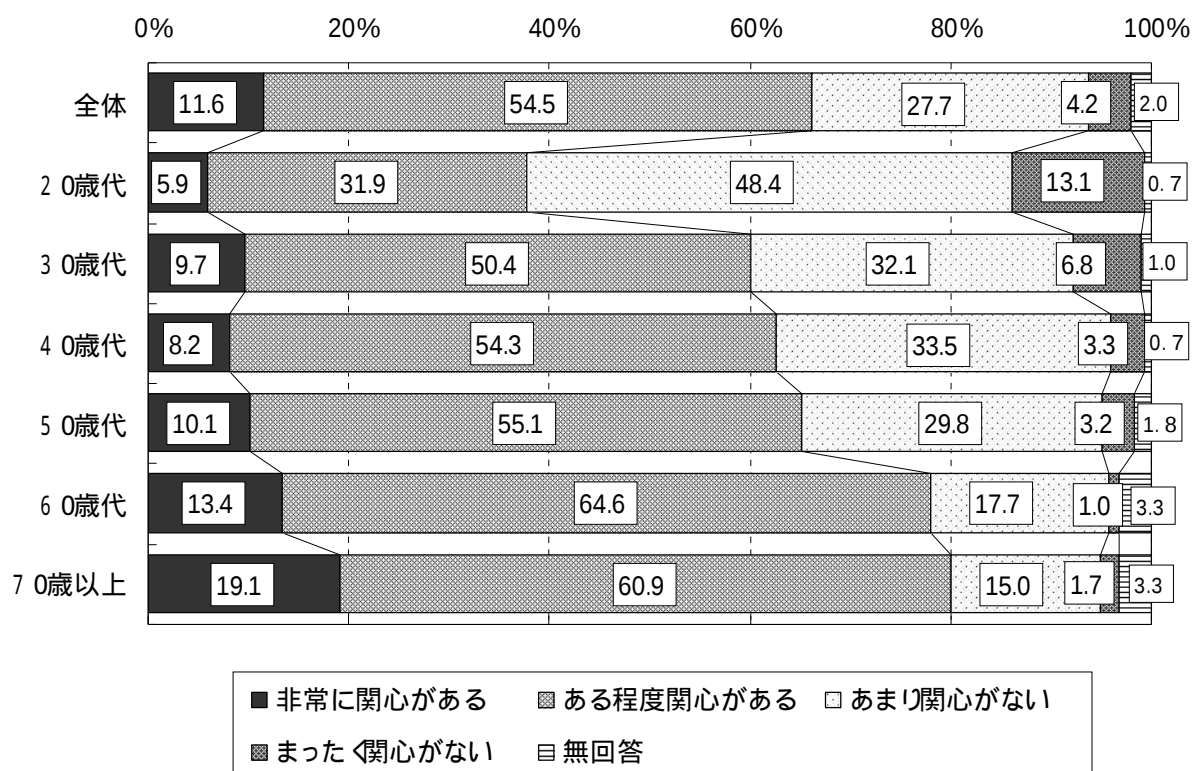


< 年齢別 >

年齢別にみると、「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と答えた人は、年齢が高くなるにつれ割合が高くなっている。20歳代では37.8%であるが、30歳代から50歳代は60%から70%、60歳代と70歳以上は約80%と、概ね三層構造になっていることが見て取れる。また、60歳代、70歳以上の年齢層では、「非常に関心がある」との回答が13.4%、19.1%と高い値を示している。

一方で「まったく関心がない」との回答は20歳代で非常に高く13.1%であり、全年代の平均（4.2%）の約3倍となっている。若年層に対して市政に関心をもってもらうための取組が課題といえる。

図3b 市政関心度（年齢別）



問 9 - 1 市政に関心がある理由

市政に「非常に関心がある」「ある程度関心がある」と答えた人に関心がある理由をうかがったところ、「自分の暮らし向きに直接関係がある」(48.3%)との回答と、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」(36.2%)との回答が大半を占めている。

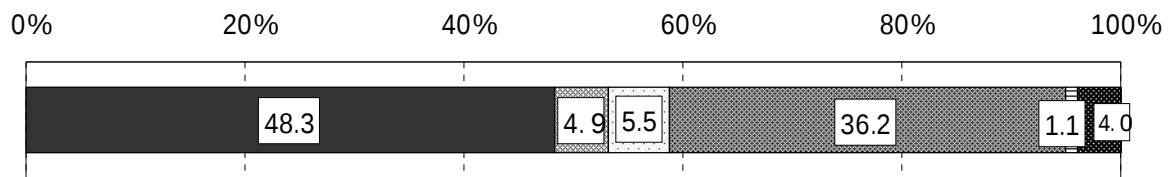
問 9 - 1 (問 9で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と回答した方のみ)
それはどういった理由からですか。次の中から主なものを1つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 3 - 1 市政に関心がある理由

(単位：人、%)

	全 体	自分の暮らし 向きに直接 関係がある	市政が身近 なものになっ てきた	市政に興 味がある	自分の住む 岡崎市をもっ とよくしたい	その他	無回答
回答者数	1,970	952	96	108	713	21	80
割合	100.0	48.3	4.9	5.5	36.2	1.1	4.0

図 3 - 1 市政に関心がある理由



N=1,970

- 自分の暮らし向きに直接関係がある
- 市政が身近なものになってきた
- 市政に興味がある
- 自分の住む岡崎市をもっとよくしたい
- 目 その他
- 無回答

< 地域別 >

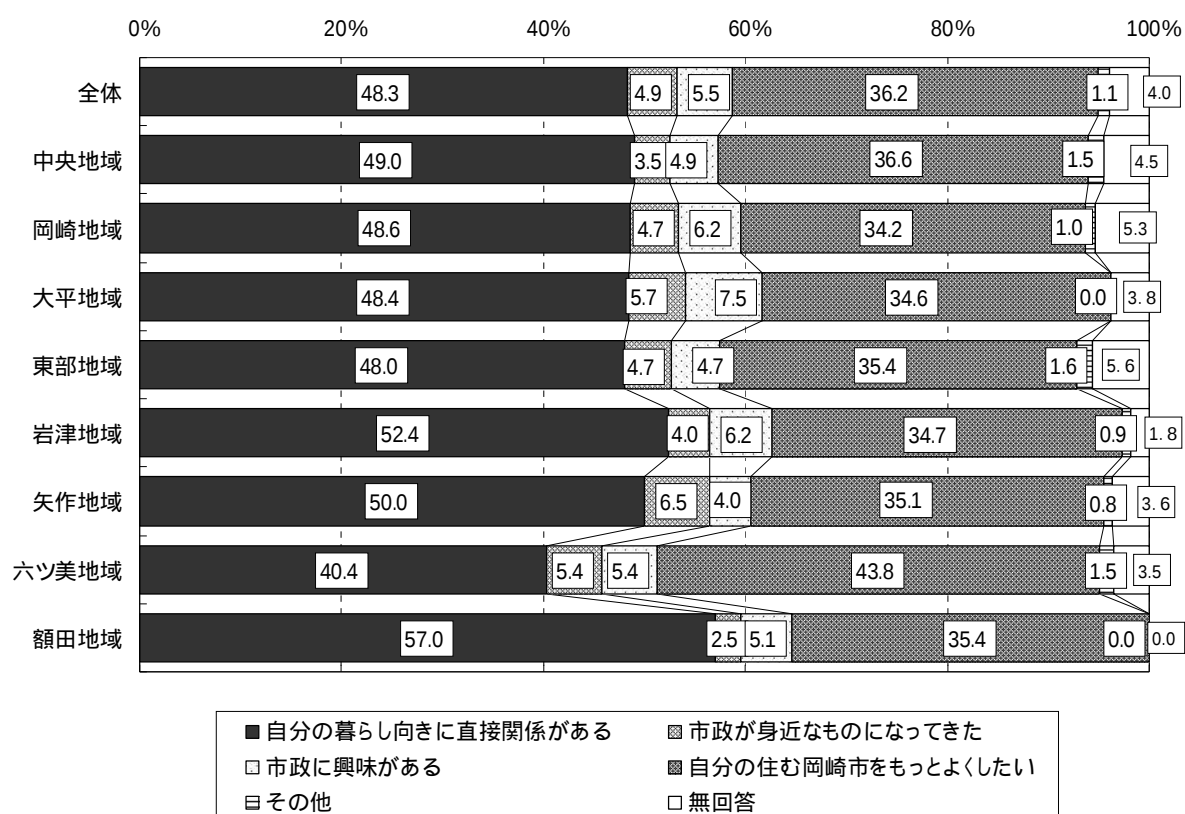
地域別にみると、「自分の暮らし向きに直接関係がある」と答えた人が多かったのは、順に額田地域（57.0％）、岩津地域（52.4％）、矢作地域（50.0％）となっている。

次に、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」と答えた人が多かったのは六ツ美地域（43.8％）、中央地域（36.6％）である。「自分の暮らし向きに直接関係がある」の回答では、回答率の高い地域（額田地域：57.0％）と回答率の低い地域（六ツ美地域：40.4％）との差が16.6ポイントである。

一方、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」の回答では、回答率の高い地域（六ツ美地域：43.8％）と回答率の低い地域（岡崎地域：34.2％）との差が9.6ポイントとなっている。

全体的に、「自分の暮らし向きに直接関係がある」の回答が、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」より多い傾向にあるが、六ツ美地域は逆になっている。

図3 - 1 a 市政に関心がある理由（地域別）



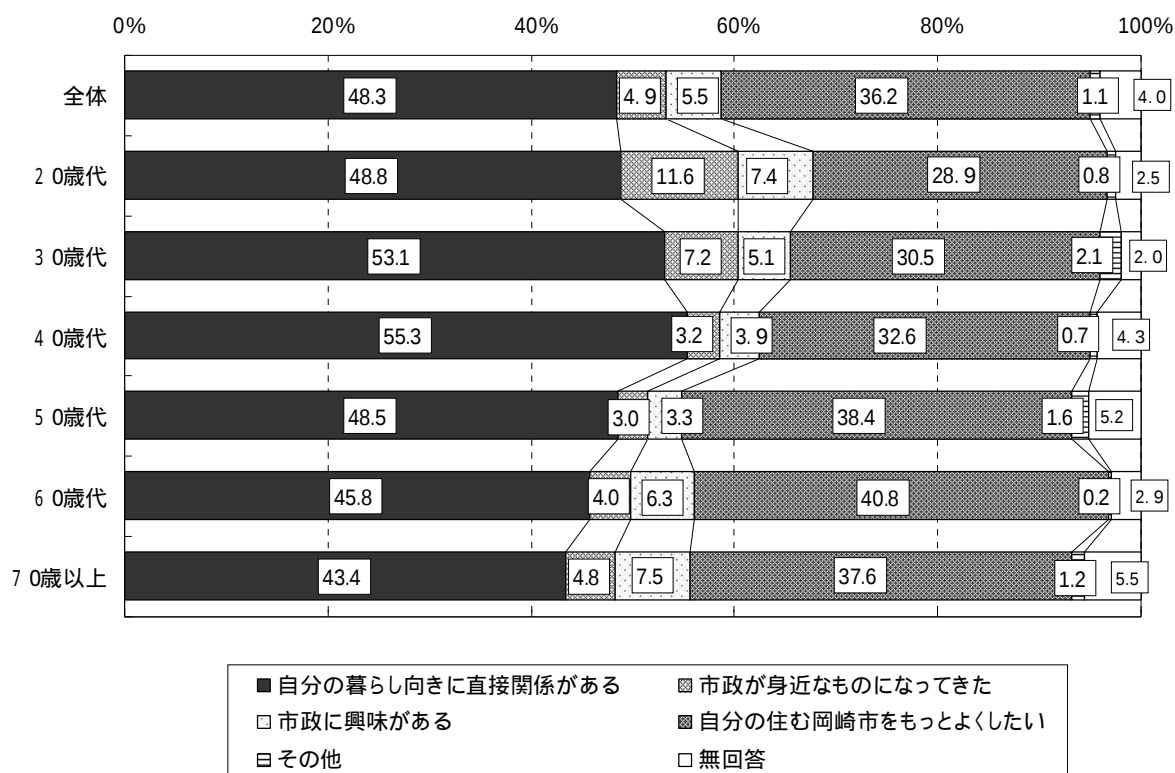
< 年齢別 >

年齢別にみると、30 歳代と 40 歳代では、「自分の暮らし向きに直接関係がある」と答えた人の割合が 50%を超えている。40 歳代をピークに、割合が低くなっている。

一方で、「自分の住む岡崎市をもっとよくしたい」と答えた人は、60 歳代が 40. 8%ともっとも高くなっている。

また、「市政が身近なものになってきた」と答えた人は、20 歳代が 11. 6%ともっとも多く、「市政に興味がある」と答えた人は、70 歳以上が 7. 5%ともっとも多くなっている。一方、これらの回答では、50 歳代の割合が低くなっている。

図 3 - 1 b 市政に関心がある理由（年齢別）



問 9 - 2 市政に関心を持ってもらう施策

現時点で市政に関心を持っていない方に対し、市政に関心を持ってもらうための施策についてうかがったところ、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が 35.7%ともっとも多く、次いで「いろいろなメディアを使って市政をPRする」が 14.1%となっている。

問 9 - 2 (問 9 で「あまり関心がない」、まったく関心がない」と回答した方のみ)

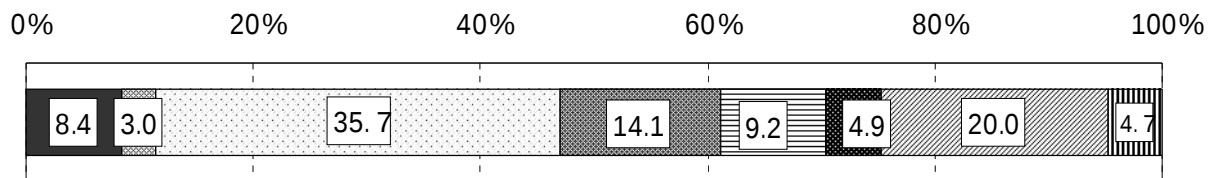
市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを 1 つ選び、その番号を○で囲んでください。

表 3 - 2 市政に関心を持ってもらう施策

(単位：人、%)

	全 体	市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する	市政について勉強会や講習を行う	岡崎市をもっと魅力的なまちにする	いろいろなメディアを使って市政をPRする	市政に対する市民参加の機会を増やす	その他	わからない	無回答
回答者数	948	80	28	338	134	87	46	190	45
割合	100.0	8.4	3.0	35.7	14.1	9.2	4.9	20.0	4.7

図 3 - 2 市政に関心を持ってもらう施策



- 市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する
- ▣ 市政について勉強会や講習を行う
- 岡崎市をもっと魅力的なまちにする
- ▤ いろいろなメディアを使って市政をPRする
- ▥ 市政に対する市民参加の機会を増やす
- その他
- ▨ わからない
- ▩ 無回答

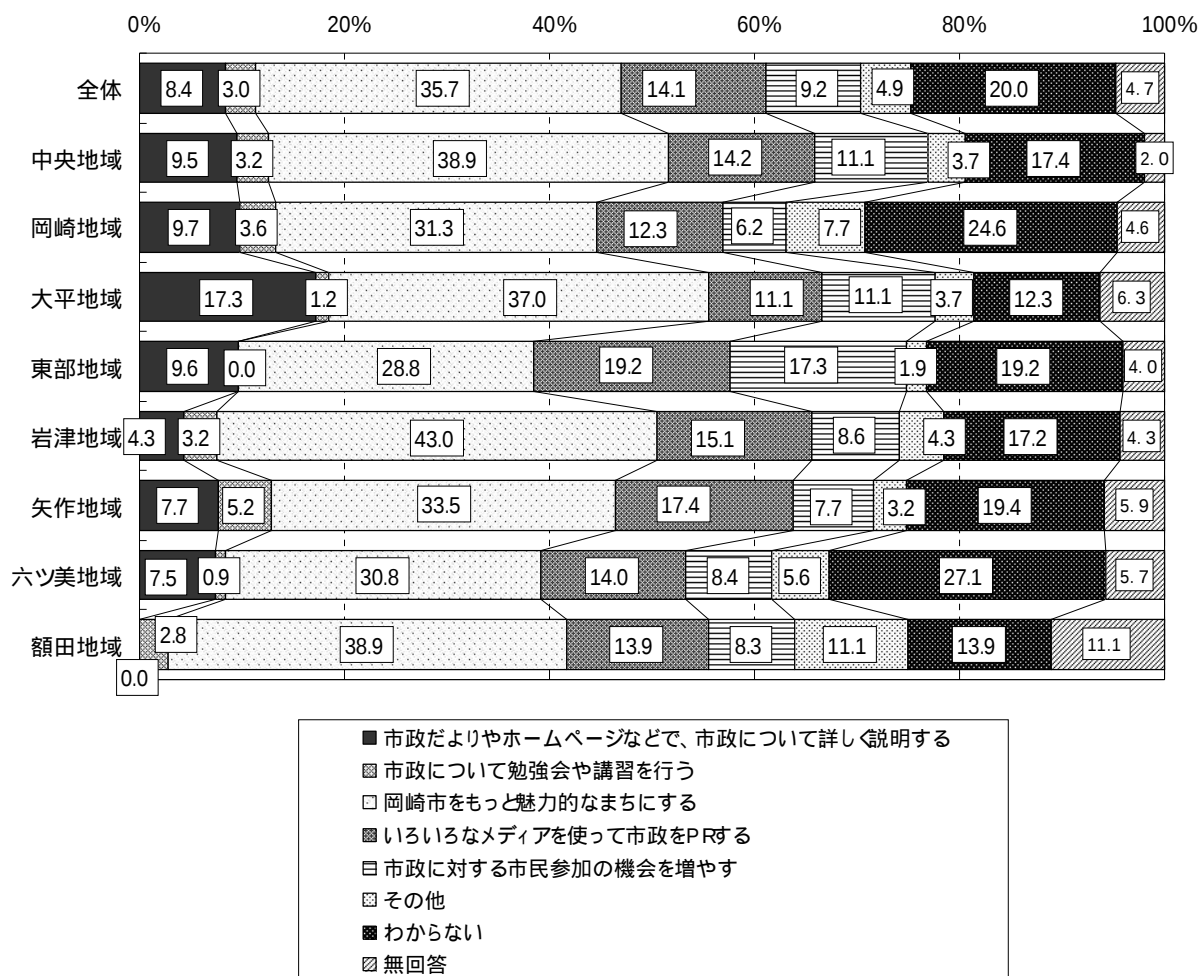
N=948

< 地域別 >

地域別にみると、「岡崎市をもっと魅力的なまちにする」との回答が多かったのは岩津地域（43.0％）中央地域（38.9％）額田地域（38.9％）であり、全体で次に回答の多かった「いろいろなメディアを使って市政をPRする」が多かったのは東部地域（19.2％）矢作地域（17.4％）である。

また、「市政に対する市民参加の機会を増やす」との回答が多かったのは東部地域（17.3％）中央地域（11.1％）大平地域（11.1％）である。

図3 - 2 a 市政に関心を持ってもらう施策（地域別）

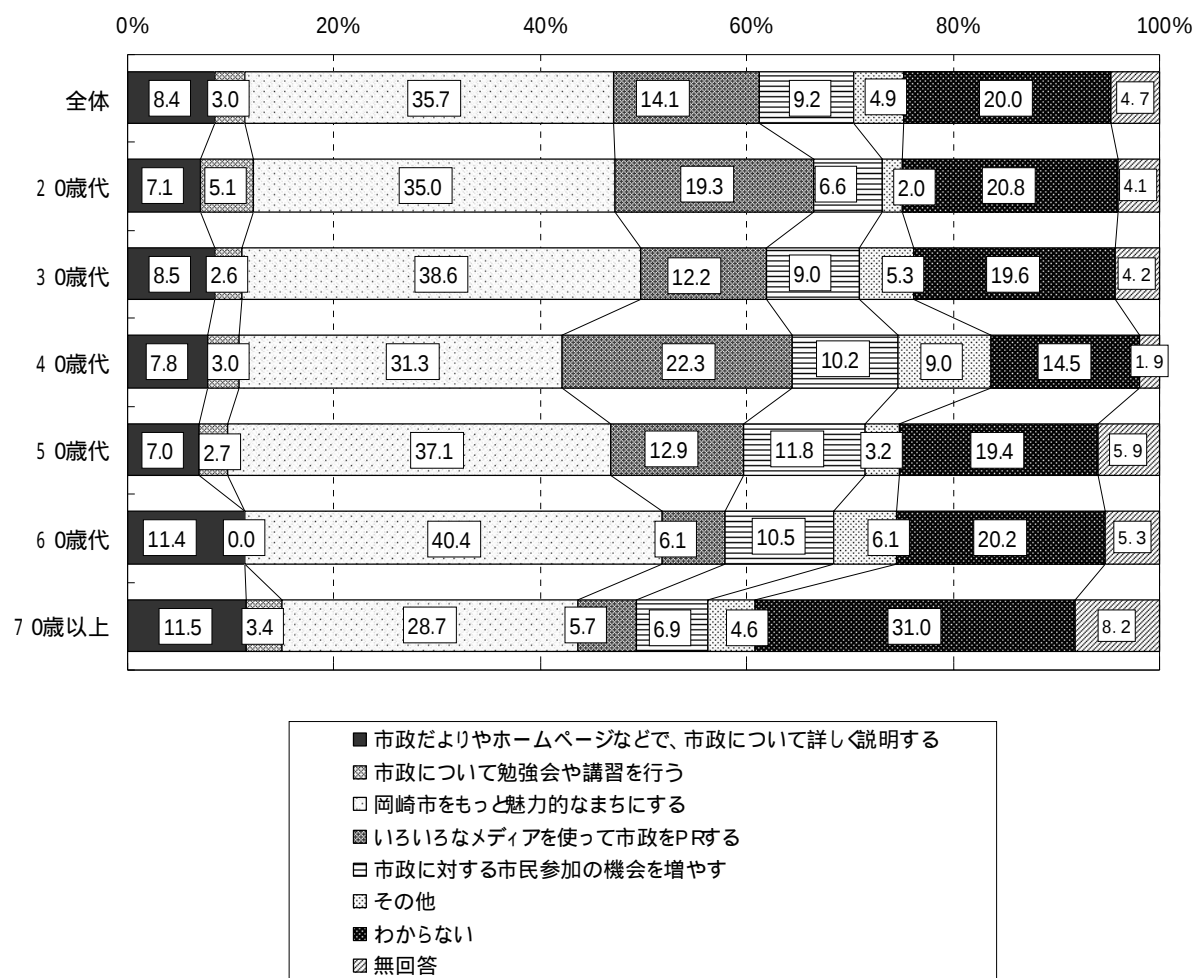


< 年齢別 >

年齢別にみると、「市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する」との回答は高年層で多くなっている。

また、40歳代では、いずれかの施策（その他含む）を行うべきと答えた人の割合が高く、83. 6%となっている。

図3 - 2 b 市政に関心を持ってもらう施策（年齢別）



C 市民参加のまちづくりについて

問 10 - 1 「市民参加によるまちづくりの取組」への過去 1 年間の参加

「市民参加によるまちづくりの取組」に過去 1 年間で参加したかをうかがったところ、「資源回収やごみの分別・リサイクル活動」への参加経験は高く 54.4%であり、2 番目に高い「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」は 44.1%となっている。そのほかの活動への参加経験はあまり高くない。

問 10 - 1

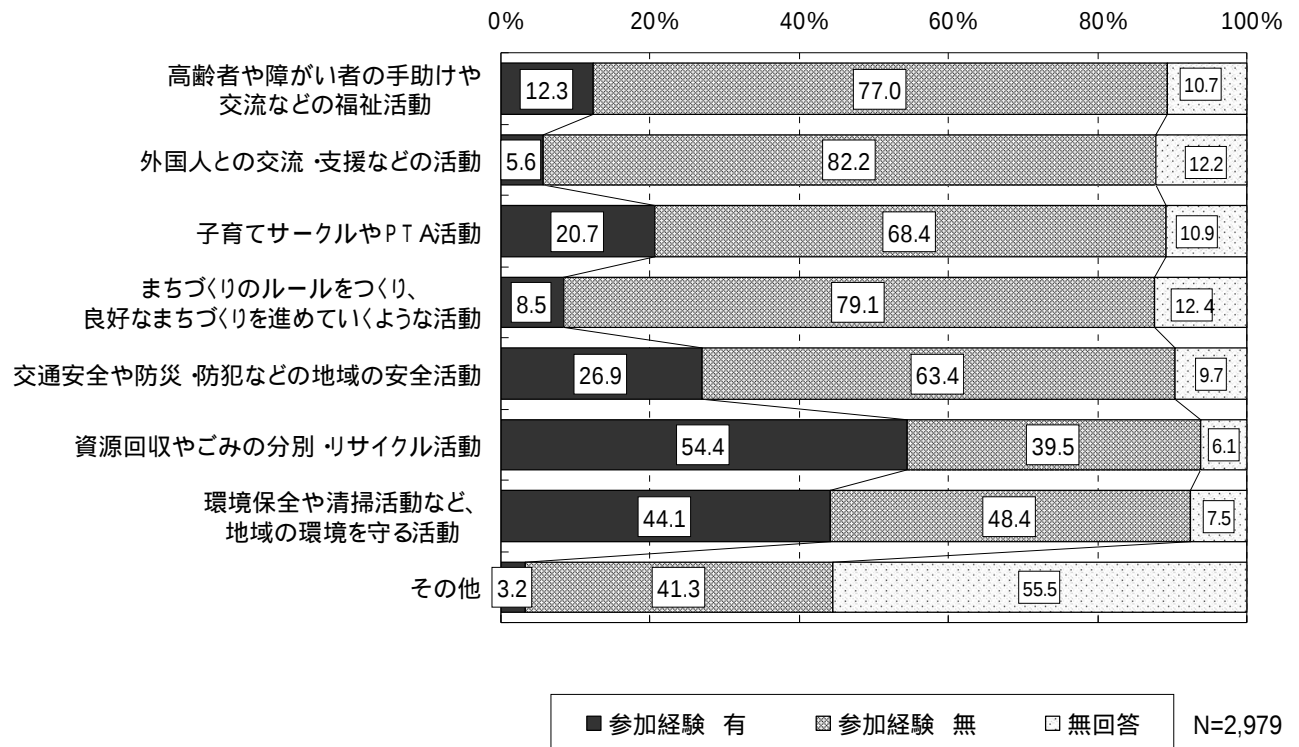
地域をより良くしていくための「市民参加によるまちづくりの取組」について、過去 1 年の間で参加したことがありますか。それぞれの項目について、1 度でもあれば「有」に、無ければ「無」に、○をつけてください。

表 4 - 1 「市民参加によるまちづくりの取組」への参加

(単位：人、%)

	全体	参加経験 有	参加経験 無	無回答
1 高齢者や障がい者の手助けや交流などの福祉活動	2,979	367	2,294	318
	100.0	12.3	77.0	10.7
2 外国人との交流・支援などの活動	2,979	166	2,449	364
	100.0	5.6	82.2	12.2
3 子育てサークルやPTA活動	2,979	617	2,037	325
	100.0	20.7	68.4	10.9
4 まちづくりのルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動	2,979	252	2,355	372
	100.0	8.5	79.1	12.4
5 交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	2,979	802	1,889	288
	100.0	26.9	63.4	9.7
6 資源回収やごみの分別・リサイクル活動	2,979	1,622	1,177	180
	100.0	54.4	39.5	6.1
7 環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動	2,979	1,314	1,442	223
	100.0	44.1	48.4	7.5
8 その他	2,979	95	1,230	1,654
	100.0	3.2	41.3	55.5

図４－１ 「市民参加によるまちづくりの取組」への参加

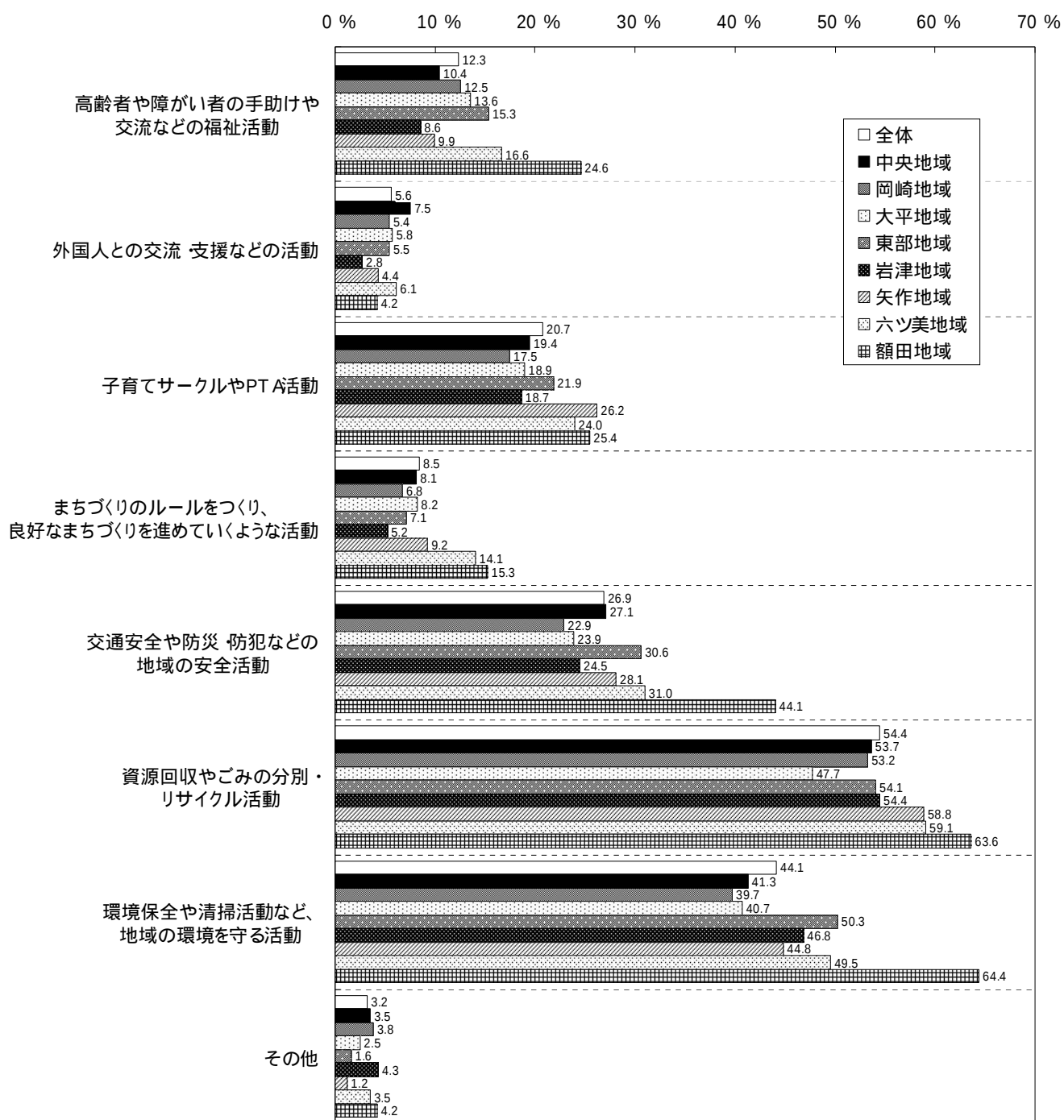


< 地域別 >

地域別にみると、額田地域では「外国人との交流・支援などの活動」、「子育てサークルやPTA活動」、「その他」以外の全ての活動において、他地域より参加経験の割合が高くなっている。「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」には64.4%の回答者が参加経験を有している。このことから、額田地域では、伝統的な地域コミュニティ内の相互互助が色濃く残っていることがうかがえる。

額田地域以外では、東部地域で「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」(50.3%)、六ツ美地域で「資源回収やごみの分別・リサイクル活動への参加」(59.1%)との回答割合が高い。

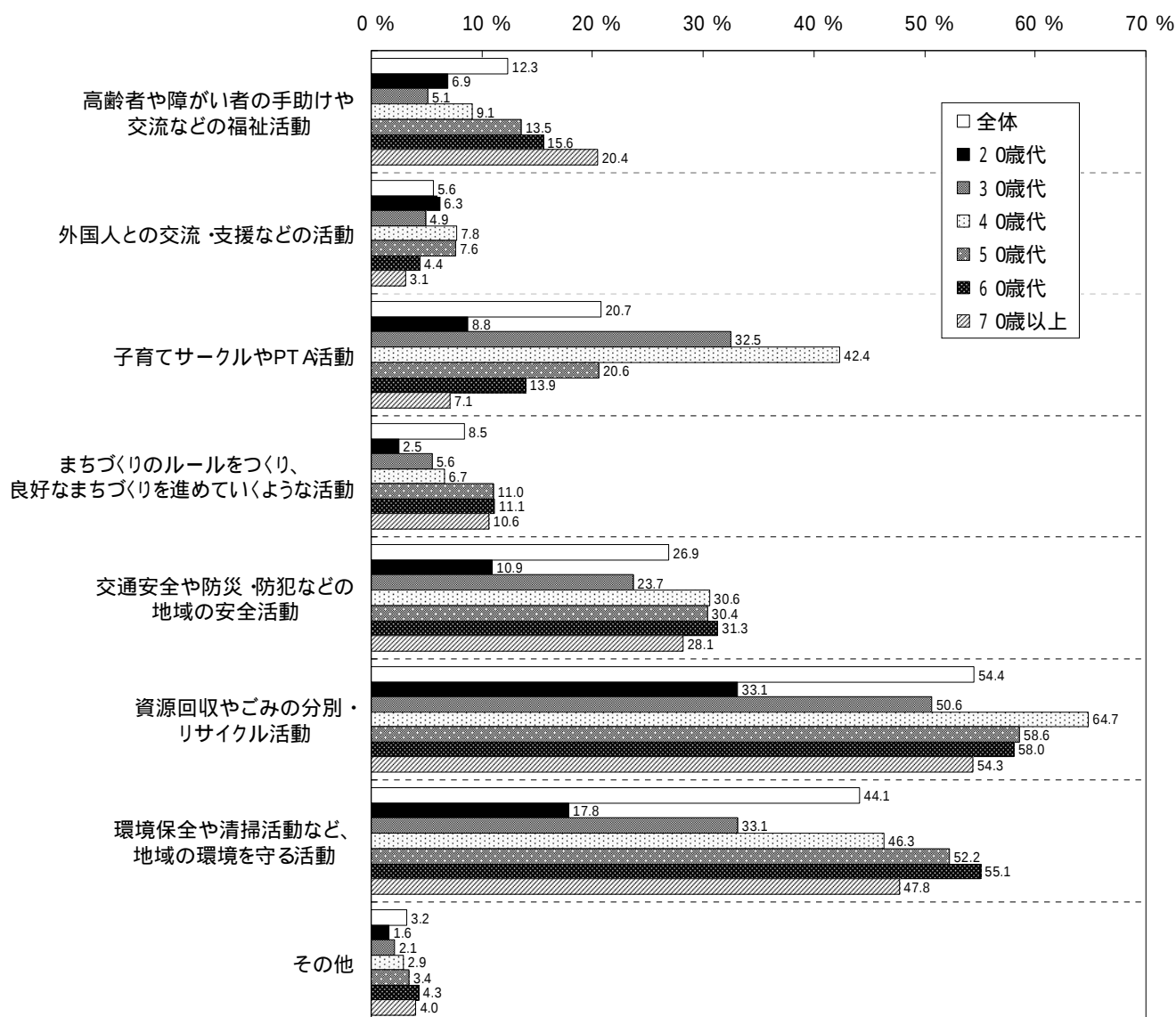
図4 - 1 a 「市民参加によるまちづくりの取組」への参加（地域別）



< 年齢別 >

年齢別にみると、「高齢者や障がい者の手助けや交流などの福祉活動」、「まちづくりのルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動」、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」は年齢が低くなるにつれ参加経験率が低くなる傾向にあり、特に20歳代の参加経験率は低い。

図4 - 1 b 「市民参加によるまちづくりの取組」への参加（年齢別）



問 10 - 2 今後参加したい市民活動

今後参加したい市民活動についてうかがったところ、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」がもっとも多く 36.6%となっている。現状でも 2 番目に参加経験率の高い項目であり、環境への関心の高さがうかがえる。次に、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」が 33.3%と多い。

問 10 - 2

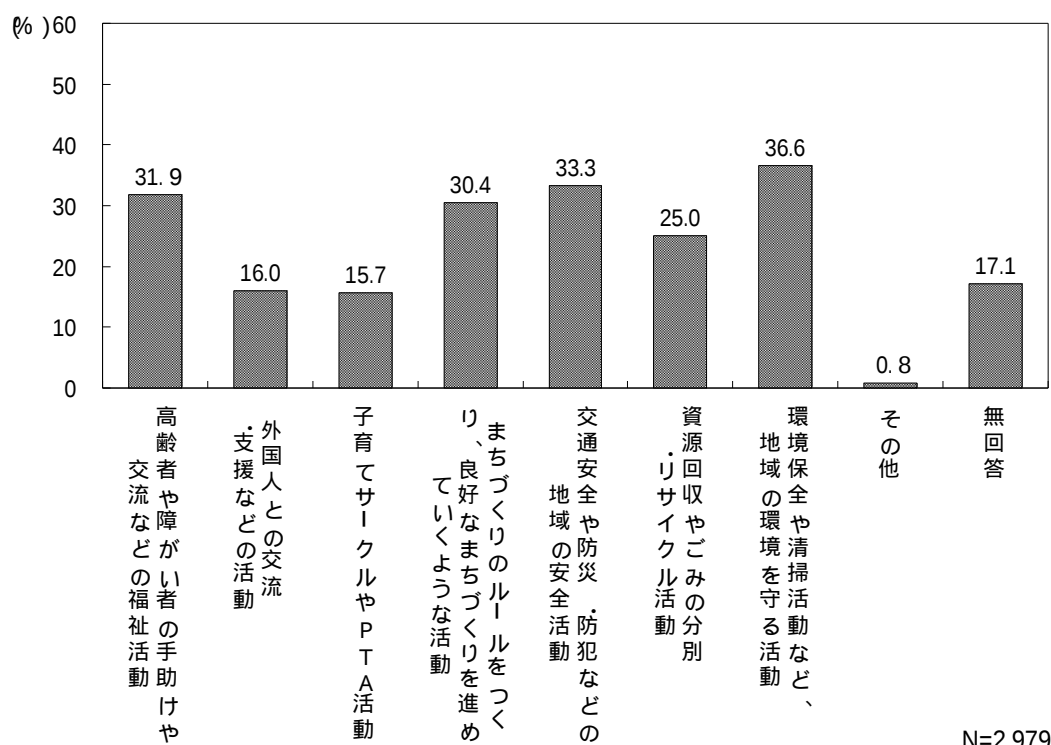
また、今後、どのような市民活動に参加したいとお考えですか。上記 1 ～ 7 の番号の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大 3 つまで選び、その番号を記入してください。

表 4 - 2 今後参加したい市民活動

(単位：人、%)

	全体	高齢者や障がい者の手助けや交流などの福祉活動	外国人との交流・支援などの活動	子育てサークルやPTA活動	まちづくりのルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動	交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	資源回収やごみの分別・リサイクル活動	環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動	その他	無回答
回答者数	2,979	950	478	467	906	993	745	1,089	25	509
割合	100.0	31.9	16.0	15.7	30.4	33.3	25.0	36.6	0.8	17.1

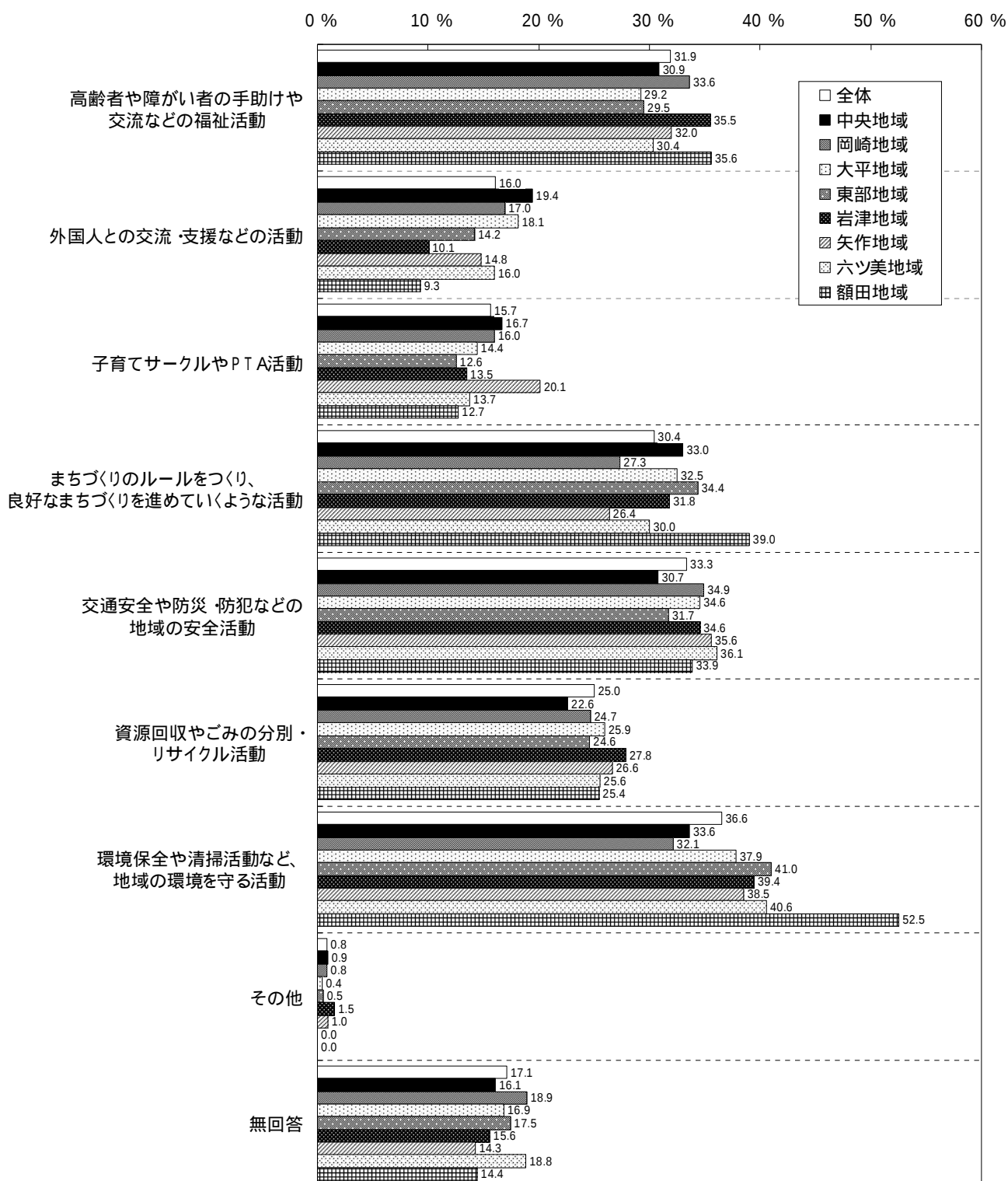
図 4 - 2 今後参加したい市民活動



< 地域別 >

地域別にみると、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」と答えた割合が高いのは、額田地域（52.5％）、東部地域（41.0％）である。「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」はどの地域でも30％を超えており地域間での差異はあまりないが、そのなかで中央地域（30.7％）、東部地域（31.7％）は若干低くなっている。

図4 - 2 a 今後参加したい市民活動（地域別）

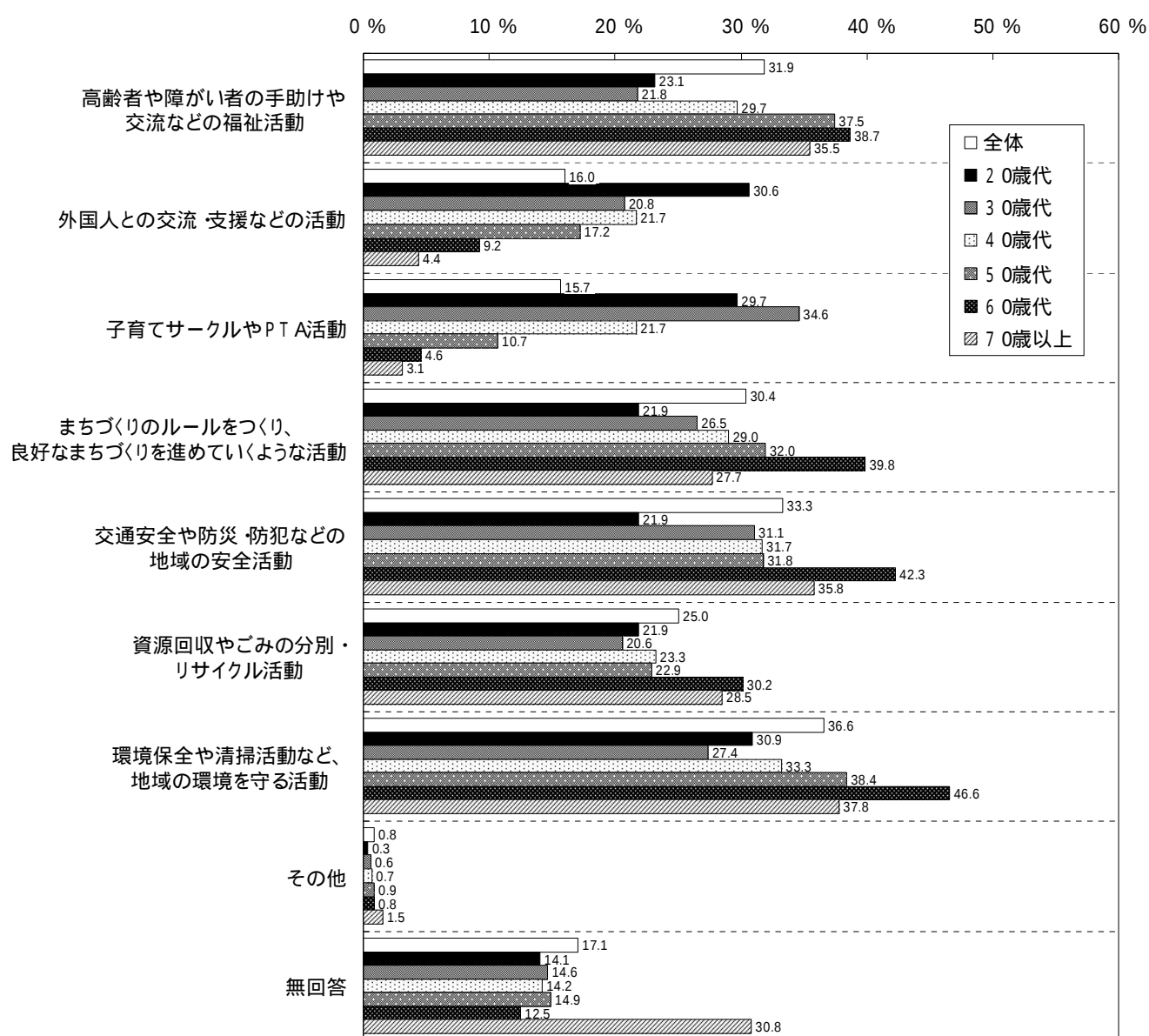


< 年齢別 >

年齢別にみると、「高齢者や障がい者の手助けや交流などの福祉活動」、「まちづくりのルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動」、「交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動」、「環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動」とも60歳代の割合がもっとも高くなっている。

一方、20歳代、30歳代で高いのは「子育てサークルやPTA活動」であり、この項目での世代間格差は他の項目と比して大きく、地域で住民が共に子どもを育てるという意識共有が求められるところである。

図4 - 2 b 今後参加したい市民活動（年齢別）



問 1 1 市民活動を活性化させていくために重要な「行政の支援」

「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために重要な「行政の支援」についてうかがったところ、「市の広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実」が 47.3% ともっとも多く、次いで、「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」が 36.6% となっている。

問 1 1

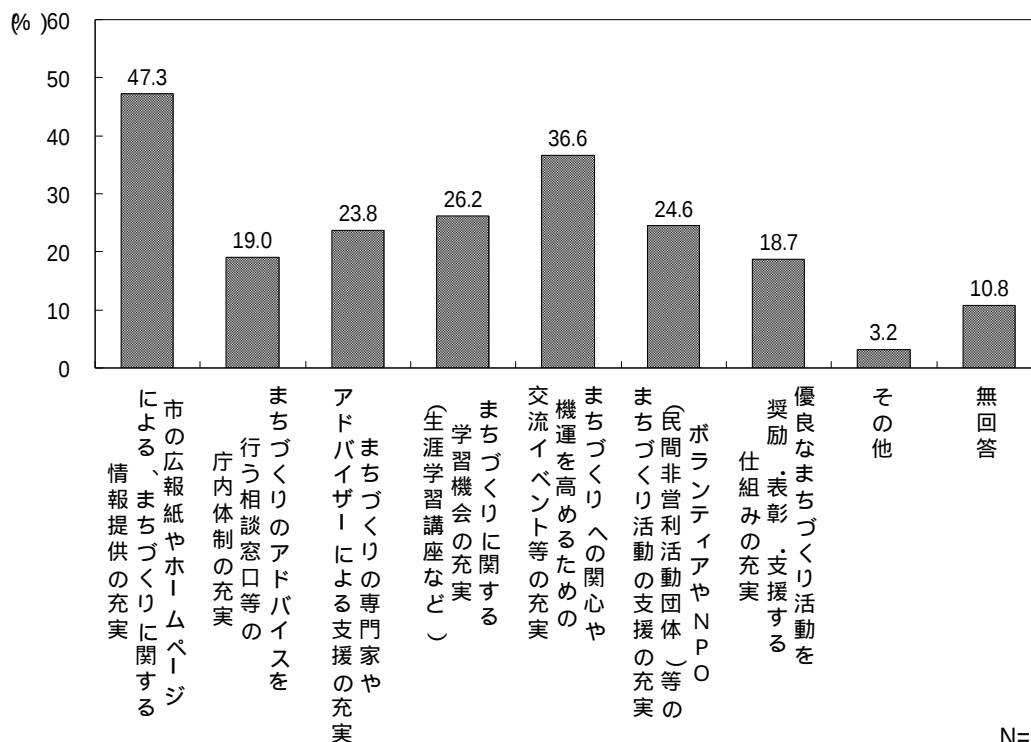
「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために、今後、どのような「行政の支援」が重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大 3 つまで選び、その番号を○で囲んでください。

表 5 市民活動活性化のために重要な行政支援

(単位：人、%)

	全 体	市の広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実	まちづくりのアドバイザー等を行う相談窓口等の庁内体制の充実	まちづくりの専門家やアドバイザーによる支援の充実	まちづくりに関する学習機会の充実（生涯学習講座など）	まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実	ボランティアやNPO（民間非営利活動団体等）のまちづくり活動の支援の充実	優良なまちづくり活動を奨励・表彰・支援する仕組みの充実	その他	無回答
回答者数	2,979	1,408	566	708	781	1,091	732	557	95	323
割合	100.0	47.3	19.0	23.8	26.2	36.6	24.6	18.7	3.2	10.8

図 5 市民活動活性化のために重要な行政支援



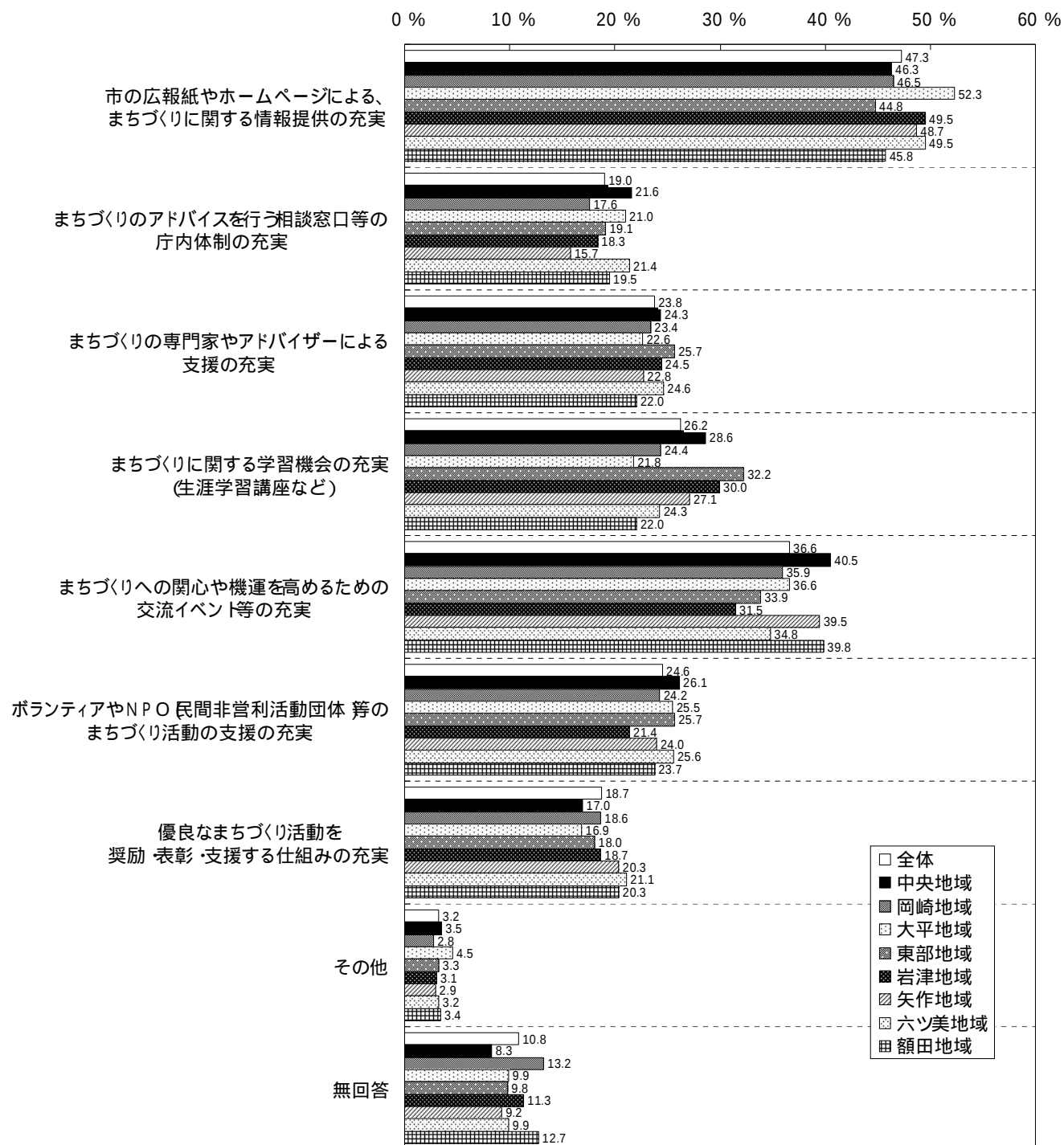
N=2,979

< 地域別 >

地域別にみると、「市の広報誌やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実」との回答はどの地域も多く、5割近くになっている。

一方、「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」と答えた人の割合は、中央地域(40.5%)、額田地域(39.8%)、矢作地域(39.5%)と高くなっているが、岩津地域(31.5%)では低くなっている。

図5 a 市民活動活性化のために重要な行政支援(地域別)

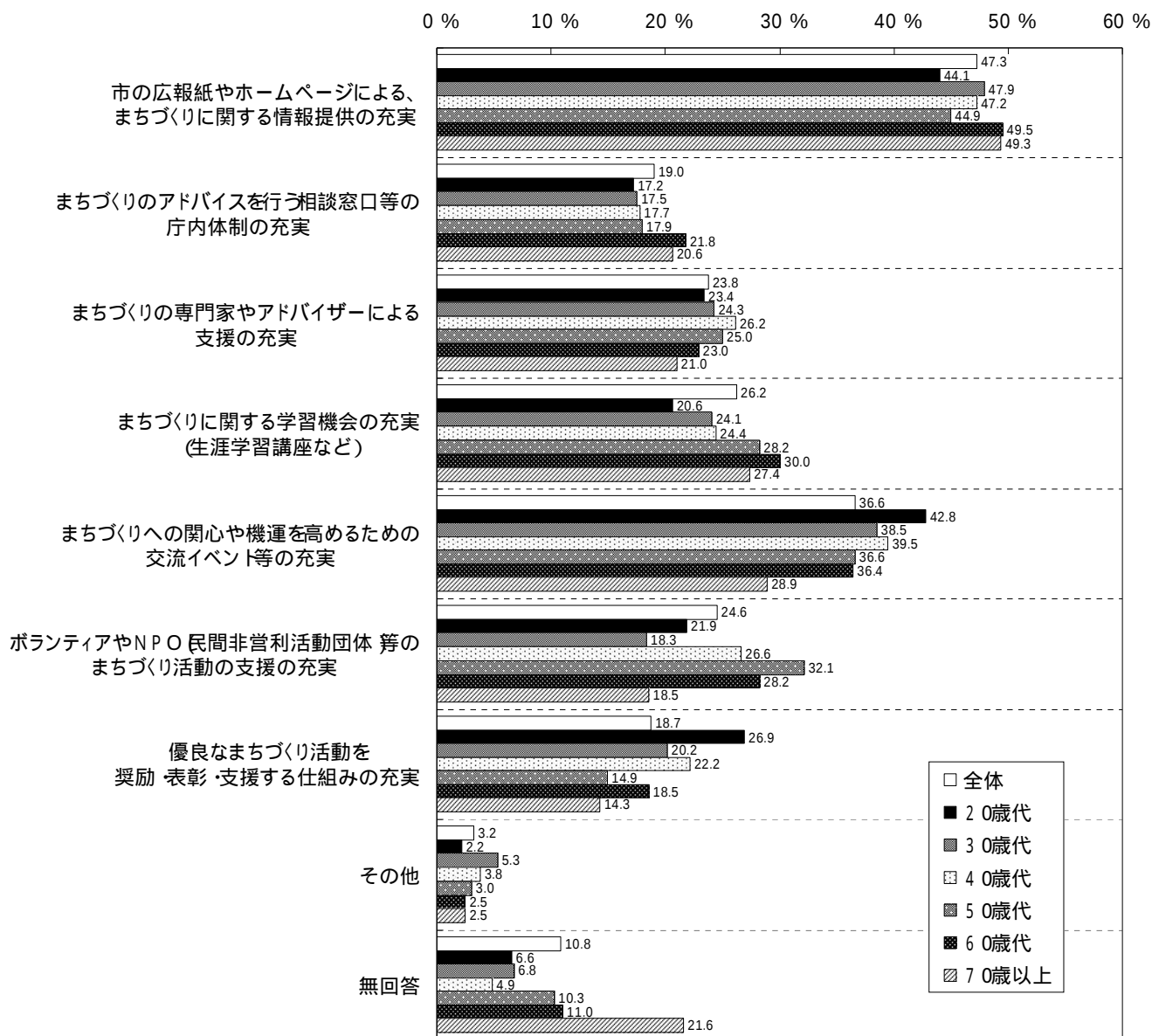


< 年齢別 >

年齢別にみると、「市の広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実」と答えた人の割合は、高年層で相対的に高く、60歳代（49.5%）、70歳以上（49.3%）となっている。

「まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実」と答えた人の割合は20歳代（42.8%）で高くなっている。イベント等の充実を求める声は若い世代で比較的多い。

図5b 市民活動活性化のために重要な行政支援（年齢別）



D 市の取組に対する満足度・重要度について

問 1 2 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」

市の行政施策に係る「現状の満足度」をうかがったところ、「5 保健衛生の充実」(43.9%)、「6 地域医療の充実」(42.1%)の項目で「満足している」「やや満足している」の回答割合が高くなっている。

一方、「20 快適移動社会の実現」(20.4%)、「19 都市魅力の向上」(19.5%)の項目で「不満である」「やや不満である」の回答割合が高く、満足度が低くなっている。

問 1 2

あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

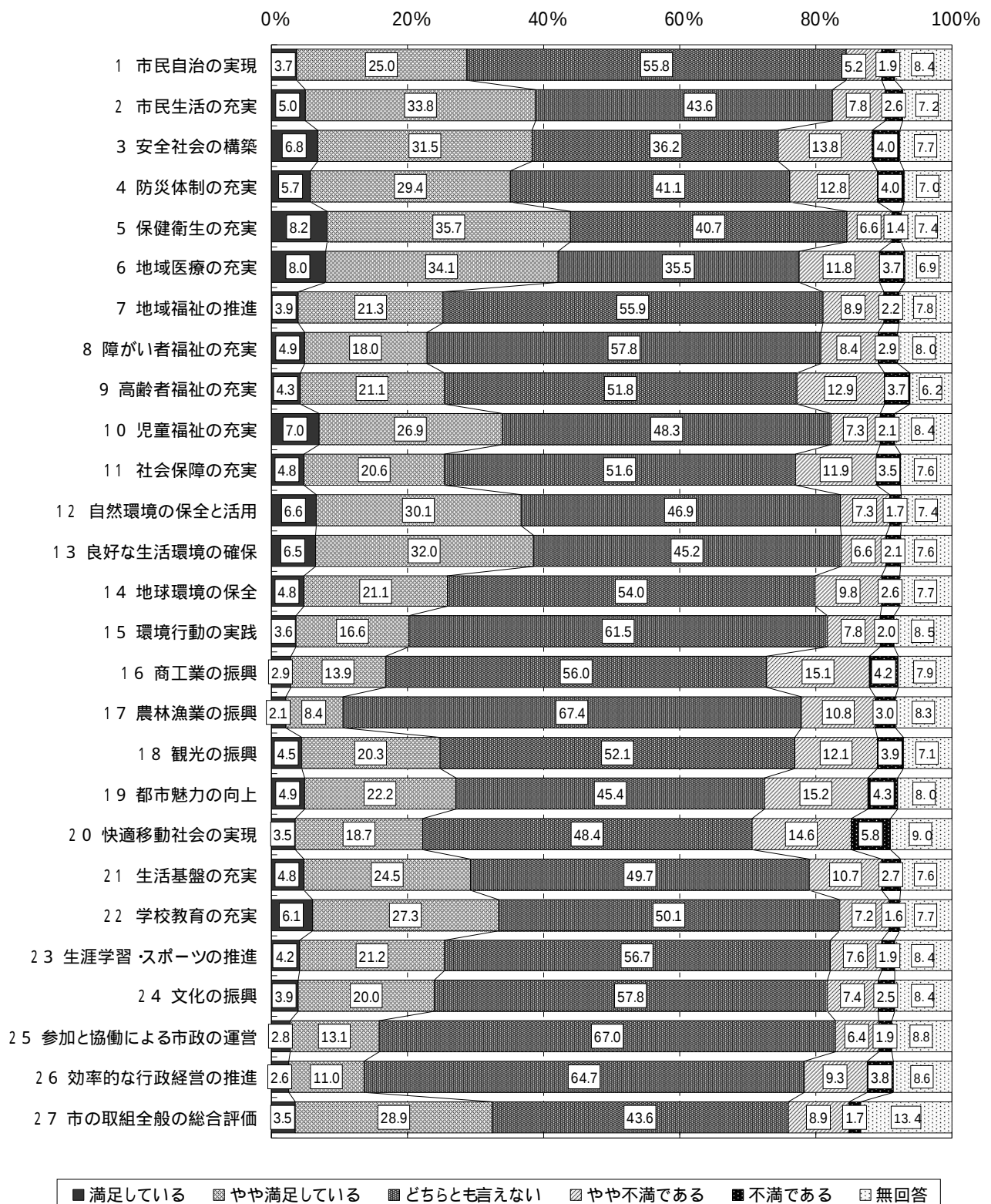
表 6 (1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」

(単位：人、%)

問 1 2 (1) 市の行政施策に係る 現状の満足度」	全体	満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	無回答
1 市民自治の実現	2,979	111	746	1,661	156	56	249
	100.0	3.7	25.0	55.8	5.2	1.9	8.4
2 市民生活の充実	2,979	148	1,006	1,298	232	77	218
	100.0	5.0	33.8	43.6	7.8	2.6	7.2
3 安全社会の構築	2,979	203	938	1,077	411	120	230
	100.0	6.8	31.5	36.2	13.8	4.0	7.7
4 防災体制の充実	2,979	171	875	1,225	381	119	208
	100.0	5.7	29.4	41.1	12.8	4.0	7.0
5 保健衛生の充実	2,979	244	1,064	1,213	198	42	218
	100.0	8.2	35.7	40.7	6.6	1.4	7.4
6 地域医療の充実	2,979	239	1,015	1,057	351	109	208
	100.0	8.0	34.1	35.5	11.8	3.7	6.9
7 地域福祉の推進	2,979	117	635	1,664	265	66	232
	100.0	3.9	21.3	55.9	8.9	2.2	7.8
8 障がい者福祉の充実	2,979	147	535	1,722	250	85	240
	100.0	4.9	18.0	57.8	8.4	2.9	8.0
9 高齢者福祉の充実	2,979	127	629	1,543	383	110	187
	100.0	4.3	21.1	51.8	12.9	3.7	6.3
10 児童福祉の充実	2,979	208	800	1,440	217	62	252
	100.0	7.0	26.9	48.3	7.3	2.1	8.4

問12 (1) 市の行政施策に係る 現状の満足度」	全体	満足し ている	やや満足 している	どちらとも 言えない	やや不 満である	不満で ある	無回答
11 社会保障の充実	2,979	142	613	1,538	354	105	227
	100.0	4.8	20.6	51.6	11.9	3.5	7.6
12 自然環境の保全と活用	2,979	198	898	1,396	217	52	218
	100.0	6.6	30.1	46.9	7.3	1.7	7.4
13 良好な生活環境の確保	2,979	195	953	1,346	196	64	225
	100.0	6.5	32.0	45.2	6.6	2.1	7.6
14 地球環境の保全	2,979	143	630	1,610	292	77	227
	100.0	4.8	21.1	54.0	9.8	2.6	7.7
15 環境行動の実践	2,979	106	496	1,833	231	60	253
	100.0	3.6	16.6	61.5	7.8	2.0	8.5
16 商工業の振興	2,979	87	414	1,667	451	126	234
	100.0	2.9	13.9	56.0	15.1	4.2	7.9
17 農林漁業の振興	2,979	64	250	2,009	321	88	247
	100.0	2.1	8.4	67.4	10.8	3.0	8.3
18 観光の振興	2,979	135	606	1,551	361	116	210
	100.0	4.5	20.3	52.1	12.1	3.9	7.1
19 都市魅力の向上	2,979	145	660	1,352	454	129	239
	100.0	4.9	22.2	45.4	15.2	4.3	8.0
20 快適移動社会の実現	2,979	105	557	1,443	435	173	266
	100.0	3.5	18.7	48.4	14.6	5.8	9.0
21 生活基盤の充実	2,979	142	730	1,480	319	80	228
	100.0	4.8	24.5	49.7	10.7	2.7	7.6
22 学校教育の充実	2,979	182	813	1,491	213	48	232
	100.0	6.1	27.3	50.1	7.2	1.6	7.7
23 生涯学習・スポーツの推進	2,979	124	633	1,689	227	58	248
	100.0	4.2	21.2	56.7	7.6	1.9	8.4
24 文化の振興	2,979	115	597	1,722	219	75	251
	100.0	3.9	20.0	57.8	7.4	2.5	8.4
25 参加と協働による市政の運営	2,979	84	390	1,995	190	58	262
	100.0	2.8	13.1	67.0	6.4	1.9	8.8
26 効率的な行政経営の推進	2,979	76	328	1,927	278	114	256
	100.0	2.6	11.0	64.7	9.3	3.8	8.6
27 市の取組全般の総合評価	2,979	103	861	1,300	265	50	400
	100.0	3.5	28.9	43.6	8.9	1.7	13.4

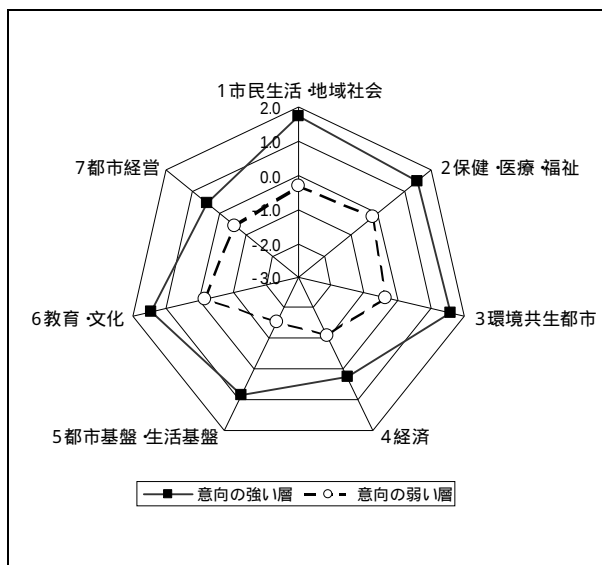
図6(1) 市の行政施策に係る「現状の満足度」



N=2,979

次に問１２（１）市の行政施策に係る「現状の満足度」について７つのカテゴリに分け、７つのカテゴリ別に問８の居住継続意向をグループ化して比較する。全体として居住継続意向が強い層は全ての項目に対し居住継続意向が弱い層よりも高い満足度評価をしている。特に「都市基盤・生活基盤」、「市民生活・地域社会」、「環境共生都市」のカテゴリについては意向の強い層と弱い層との間で現状満足度評価の得点に大きな差が見られた。

図６（１）－１ 居住継続意向別 満足度評価（カテゴリ別）

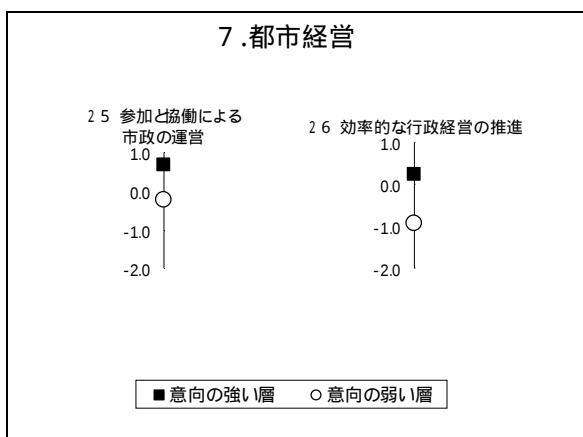
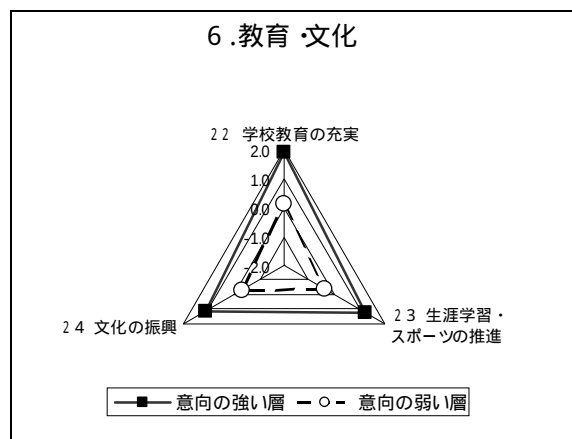
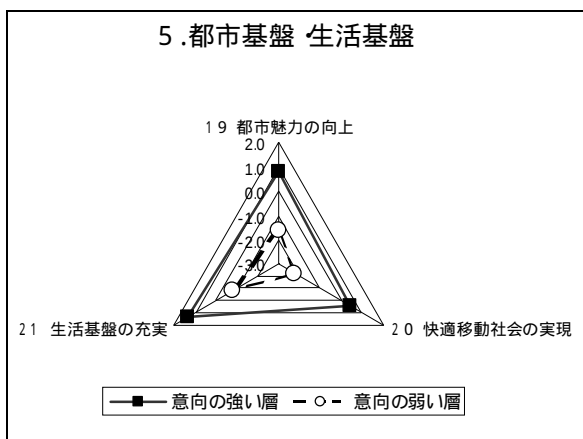
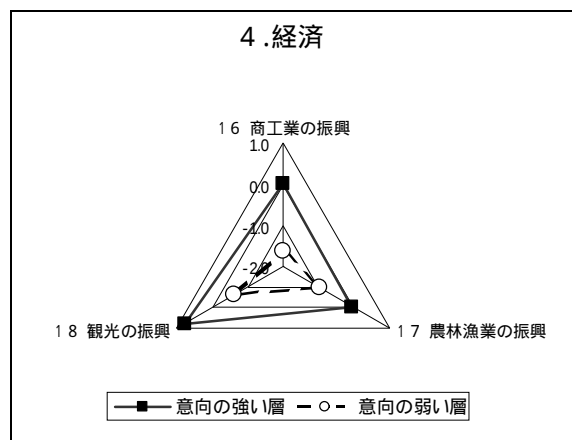
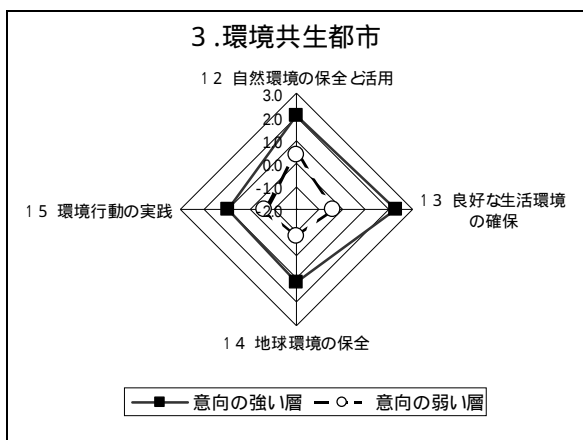
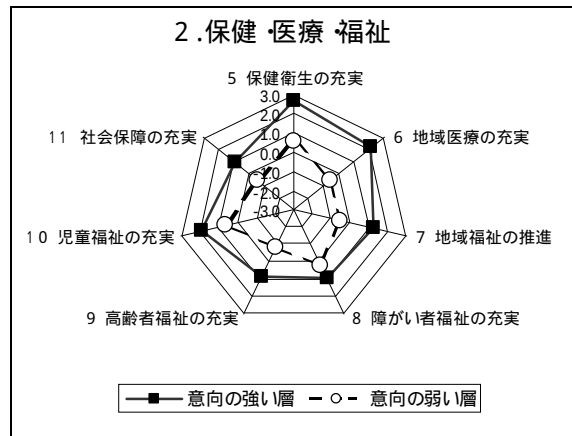
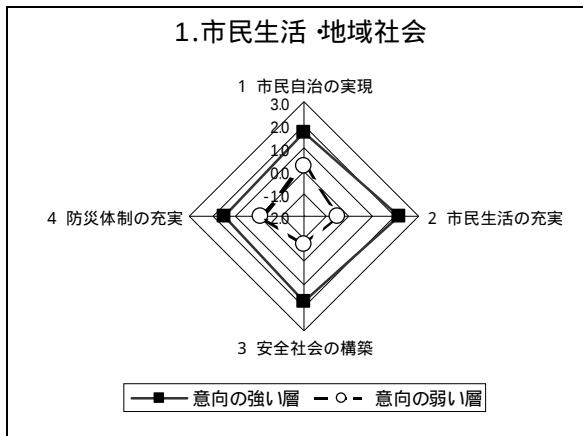


注：まず、居住継続意向が「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」の回答を意向の強い意見、「市内の他の地域に移りたい」「市外に移りたい」を意向の弱い意見とした。続いて問１２（１）現状の満足度についての１から２６までの２６項目を、その内容により「市民生活・地域社会」「保健・医療・福祉」「環境共生都市」「経済」「都市基盤・生活基盤」「教育・文化」「都市経営」の７カテゴリに分類し、カテゴリ別の平均点を算出した。問８の「ずっと住んでいたい」「しばらくは住むつもりだ」「市内の他の地域に移りたい」「市外に移りたい」の回答に、それぞれ２点、１点、－１点、－２点の得点を与え、各カテゴリの平均点にかけて算出した。なお、問１２（１）の各項目の満足度平均得点は『満足している』～『不満である』の回答数に、それぞれ、１０点・５点・０点・－５点・－１０点の得点を与え、合計得点を求め、有回答（『満足している』～『不満である』の何れかに回答があるもの）件数を母数として割り算を行っている。以降のチャートグラフの算出方法はこれに従った。

続いて問８の居住継続意向と、問１２（１）市の行政施策に係る「現状の満足度」とを合わせたものについて、各カテゴリについて項目ごとにみたものが次ページの図６（１）－２である。

各カテゴリ内で特にどの項目に満足しているかという傾向は、居住継続意向の強い層と弱い層とであまり違いは見られない場合が多い。強い層と弱い層で差が大きくなる傾向を示した項目は、市民生活・地域社会では「２ 市民生活の充実」「３ 安全社会の構築」、保健・医療・福祉では「６ 地域医療の充実」、環境共生都市では「１３ 良好な生活環境の確保」、都市基盤・生活基盤では「２０ 快適移動社会の実現」である。

図6(1)-2 居住継続意向別 満足度評価(項目別)



(参考) 居住継続意向別 満足度評価(項目別)

カテゴリ 1 . 市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1 市民自治の実現	1.64	0.17	1.47
2 市民生活の充実	2.13	-0.56	2.69
3 安全社会の構築	1.71	-0.79	2.50
4 防災体制の充実	1.45	-0.08	1.53

カテゴリ 2 . 保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5 保健衛生の充実	2.64	0.51	2.13
6 地域医療の充実	2.10	-0.58	2.68
7 地域福祉の推進	1.18	-0.56	1.74
8 障がい者福祉の充実	0.98	0.17	0.81
9 高齢者福祉の充実	0.82	-0.85	1.67
10 児童福祉の充実	1.91	0.61	1.30
11 社会保障の充実	0.92	-0.52	1.44

カテゴリ 3 . 環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12 自然環境の保全と活用	2.06	0.36	1.70
13 良好な生活環境の確保	2.27	-0.41	2.68
14 地球環境の保全	1.16	-0.84	2.00
15 環境行動の実践	0.95	-0.59	1.54

カテゴリ 4 . 経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16 商工業の振興	0.00	-1.61	1.61
17 農林漁業の振興	-0.04	-0.99	0.95
18 観光の振興	0.76	-0.64	1.40

カテゴリ 5 . 都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19 都市魅力の向上	0.80	-1.60	2.40
20 快適移動社会の実現	0.41	-2.26	2.67
21 生活基盤の充実	1.33	-0.82	2.15

カテゴリ 6 . 教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22 学校教育の充実	1.89	0.14	1.75
23 生涯学習・スポーツの推進	1.23	-0.39	1.62
24 文化の振興	1.14	-0.31	1.45

カテゴリ 7 . 都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25 参加と協働による市政の運営	0.69	-0.23	0.92
26 効率的な行政経営の推進	0.22	-0.92	1.14

問 1 2 (2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」

市の行政施策に関わる重要度については、「4 防災体制の充実」(78.8%)、「3 安全社会の構築」(76.4%)、「6 地域医療の充実」(76.0%)の項目で、「重要である」「やや重要である」の回答割合が高く、市民が重要性を感じている。

問 1 2

あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

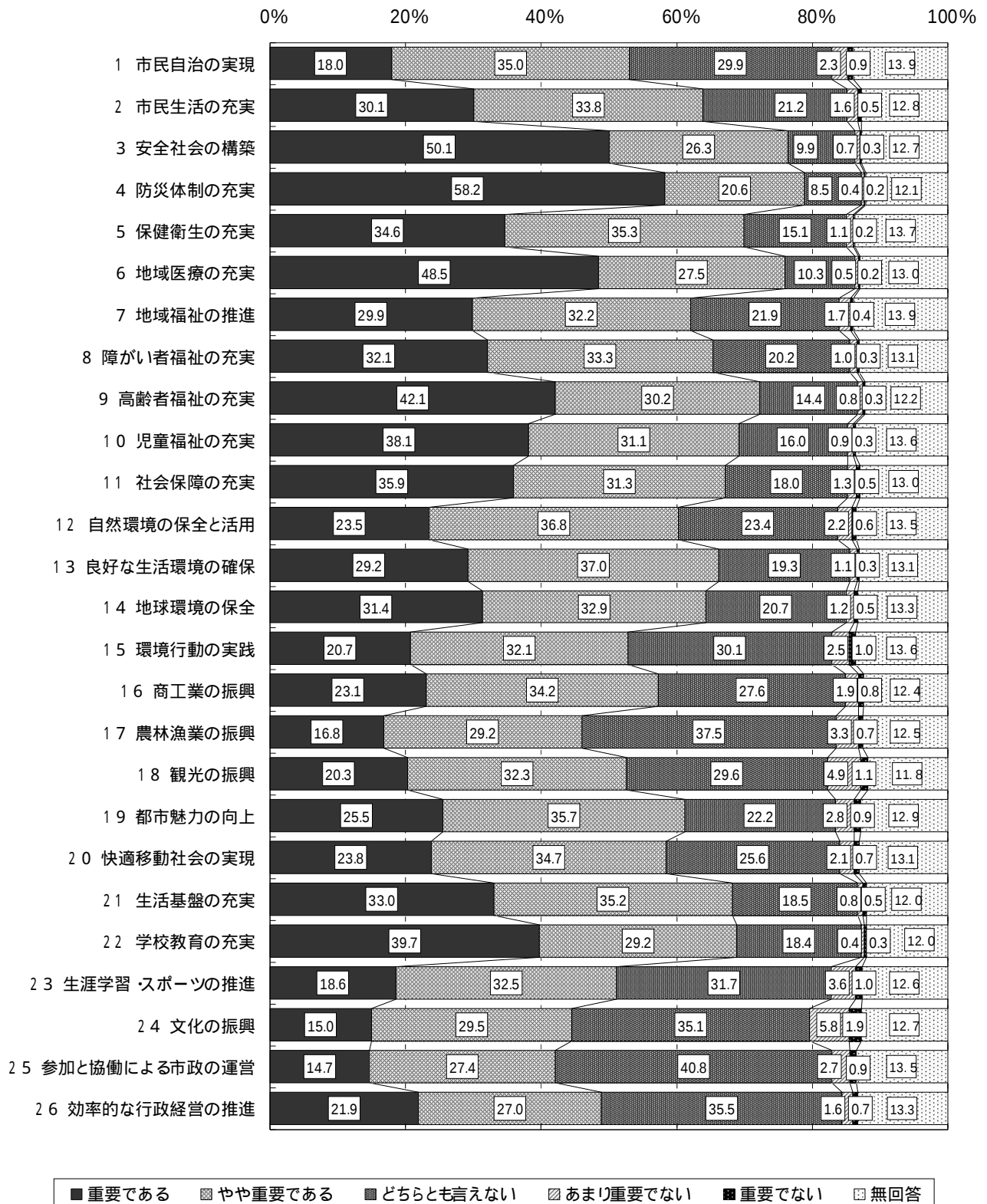
表 6 (2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」

(単位：人、%)

問 1 2 (2) 市の行政施策に係る 今後の重要度	全体	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない	無回答
1 市民自治の実現	2,979	536	1,044	891	70	27	411
	100.0	18.0	35.0	29.9	2.3	0.9	13.9
2 市民生活の充実	2,979	898	1,007	632	48	16	378
	100.0	30.1	33.8	21.2	1.6	0.5	12.8
3 安全社会の構築	2,979	1,491	782	294	21	9	382
	100.0	50.1	26.3	9.9	0.7	0.3	12.7
4 防災体制の充実	2,979	1,733	615	252	11	6	362
	100.0	58.2	20.6	8.5	0.4	0.2	12.1
5 保健衛生の充実	2,979	1,030	1,051	449	33	7	409
	100.0	34.6	35.3	15.1	1.1	0.2	13.7
6 地域医療の充実	2,979	1,444	820	306	14	7	388
	100.0	48.5	27.5	10.3	0.5	0.2	13.0
7 地域福祉の推進	2,979	891	958	652	51	12	415
	100.0	29.9	32.2	21.9	1.7	0.4	13.9
8 障がい者福祉の充実	2,979	955	993	602	29	10	390
	100.0	32.1	33.3	20.2	1.0	0.3	13.1
9 高齢者福祉の充実	2,979	1,255	899	429	24	9	363
	100.0	42.1	30.2	14.4	0.8	0.3	12.2
10 児童福祉の充実	2,979	1,136	927	477	27	9	403
	100.0	38.1	31.1	16.0	0.9	0.3	13.6
11 社会保障の充実	2,979	1,070	932	535	38	14	390
	100.0	35.9	31.3	18.0	1.3	0.5	13.0

問12 (2) 市の行政施策に係る 今度の重要度」	全体	重要で ある	やや重要 である	どちらとも 言えない	あまり重 要でない	重要で ない	無回答
12 自然環境の保全と活用	2,979	701	1,097	697	66	19	399
	100.0	23.5	36.8	23.4	2.2	0.6	13.5
13 良好な生活環境の確保	2,979	870	1,103	574	34	9	389
	100.0	29.2	37.0	19.3	1.1	0.3	13.1
14 地球環境の保全	2,979	936	981	616	36	14	396
	100.0	31.4	32.9	20.7	1.2	0.5	13.3
15 環境行動の実践	2,979	616	956	896	73	30	408
	100.0	20.7	32.1	30.1	2.5	1.0	13.6
16 商工業の振興	2,979	688	1,019	822	56	24	370
	100.0	23.1	34.2	27.6	1.9	0.8	12.4
17 農林漁業の振興	2,979	499	869	1,117	97	20	377
	100.0	16.8	29.2	37.5	3.3	0.7	12.5
18 観光の振興	2,979	606	963	882	147	33	348
	100.0	20.3	32.3	29.6	4.9	1.1	11.8
19 都市魅力の向上	2,979	761	1,064	660	82	26	386
	100.0	25.5	35.7	22.2	2.8	0.9	12.9
20 快適移動社会の実現	2,979	708	1,033	762	62	20	394
	100.0	23.8	34.7	25.6	2.1	0.7	13.1
21 生活基盤の充実	2,979	982	1,049	551	24	14	359
	100.0	33.0	35.2	18.5	0.8	0.5	12.0
22 学校教育の充実	2,979	1,183	869	548	12	9	358
	100.0	39.7	29.2	18.4	0.4	0.3	12.0
23 生涯学習・スポーツの推進	2,979	555	967	945	106	30	376
	100.0	18.6	32.5	31.7	3.6	1.0	12.6
24 文化の振興	2,979	447	878	1,046	174	57	377
	100.0	15.0	29.5	35.1	5.8	1.9	12.7
25 参加と協働による市政の運営	2,979	439	815	1,214	80	27	404
	100.0	14.7	27.4	40.8	2.7	0.9	13.5
26 効率的な行政経営の推進	2,979	653	803	1,059	49	20	395
	100.0	21.9	27.0	35.5	1.6	0.7	13.3

図6(2) 市の行政施策に係る「今後の重要度」

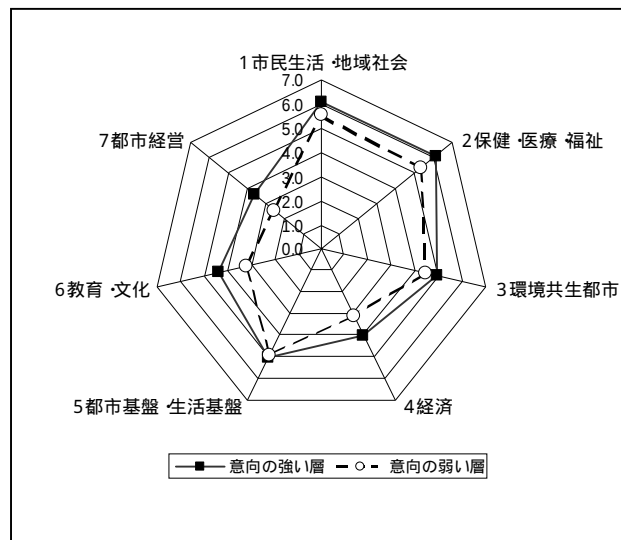


N=2,979

次に、問１２（２）市の行政施策に係る「今後の重要度」について７つのカテゴリに分け、７つのカテゴリ別に問８の居住継続意向をグループ化して比較する。

全体として、施策の中で特に何を重視するかについて、その重視する項目および重視度合いは、居住継続意向の強い層と弱い層でほとんど差はみられない。前掲の満足度評価では居住継続意向の強い層と弱い層の得点差は大きく、全ての項目において意向の強い層の方が、得点が高かったのに対し、重要度については意向の強い層と弱い層とで得点にあまり差異がないことが読み取れる。

図６（２）- １ 居住継続意向別 重要度評価（カテゴリ別）



各カテゴリ内の項目についての傾向は以下の通りである。

市民生活・地域社会について、他の項目と比較して、意向の強い層と弱い層で異なる傾向を示した（意向の弱い層が相対的に低い評価をした）項目は、「１ 市民自治の実現」である。また、「４ 防災体制の充実」において、意向の弱い層の方がより重要視している。

保健・医療・福祉については、どの項目においても、意向の強い層と弱い層でほぼ同等の差がみられる。

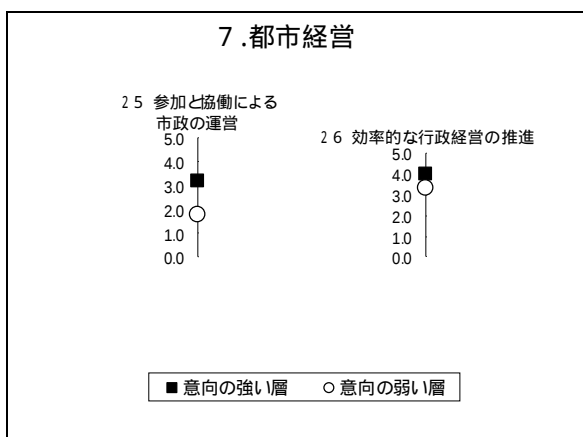
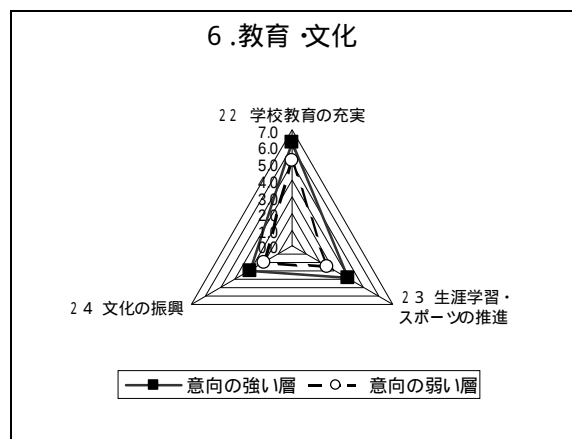
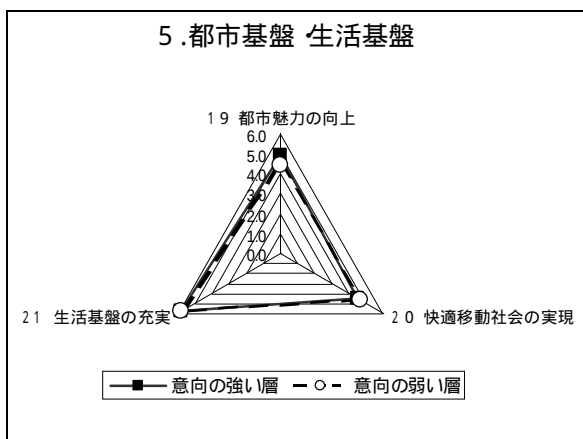
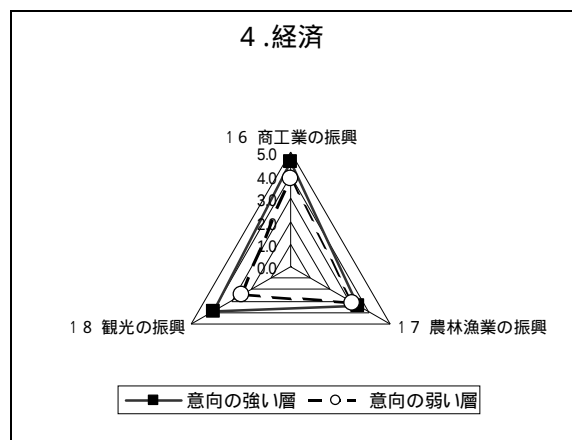
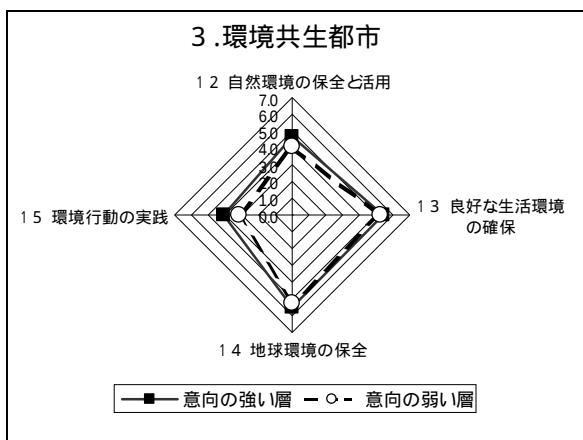
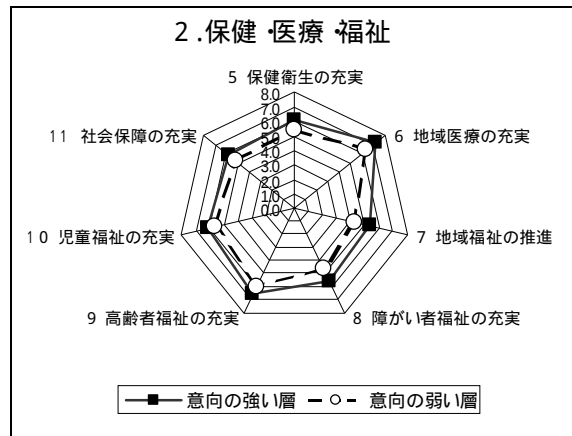
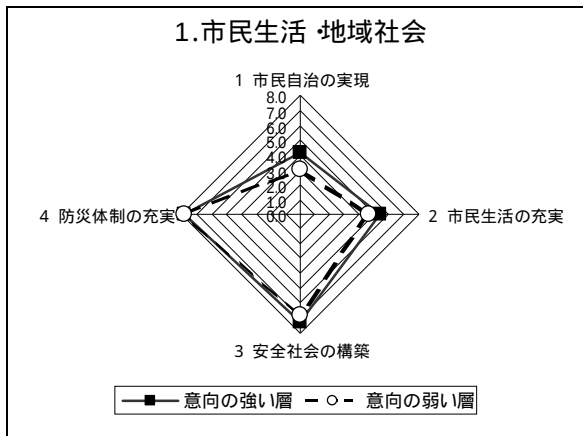
環境共生都市について、他の項目と比較して、意向の弱い層が特に低い評価をした項目は「１５ 環境行動の実践」などである。

経済について、「１８ 観光の振興」においては、双方の差が他の項目よりも大きくなっている。

都市基盤・生活基盤については、「２０ 快適移動生活の実現」において、意向の弱い層の方がより重要視している。

以上より、市民生活・地域社会や、都市基盤・生活基盤のカテゴリの一部の項目については、居住継続意向の弱い層の方が重要度を高く評価しているものの、その他のカテゴリにおいては、居住継続意向の強い層の方が全般的に重要度を高く評価している。

図6(2) - 2 居住継続意向別 重要度評価(項目別)



(参考) 居住継続意向別 重要度評価(項目別)

カテゴリ 1 . 市民生活・地域社会	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
1 市民自治の実現	4.12	3.05	1.07
2 市民生活の充実	5.32	4.58	0.74
3 安全社会の構築	7.20	6.82	0.38
4 防災体制の充実	7.78	7.79	*0.01

カテゴリ 2 . 保健・医療・福祉	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
5 保健衛生の充実	6.03	5.41	0.62
6 地域医療の充実	7.24	6.34	0.90
7 地域福祉の推進	5.30	4.21	1.09
8 障がい者福祉の充実	5.61	4.64	0.97
9 高齢者福祉の充実	6.55	6.02	0.53
10 児童福祉の充実	6.15	5.56	0.59
11 社会保障の充実	5.88	5.19	0.69

カテゴリ 3 . 環境共生都市	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
12 自然環境の保全と活用	4.69	4.06	0.63
13 良好な生活環境の確保	5.44	5.25	0.19
14 地球環境の保全	5.48	5.22	0.26
15 環境行動の実践	4.12	3.19	0.93

カテゴリ 4 . 経済	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
16 商工業の振興	4.55	3.82	0.73
17 農林漁業の振興	3.40	3.12	0.28
18 観光の振興	3.92	2.46	1.46

カテゴリ 5 . 都市基盤・生活基盤	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
19 都市魅力の向上	4.89	4.42	0.47
20 快適移動社会の実現	4.48	4.60	*0.12
21 生活基盤の充実	5.72	5.69	0.03

カテゴリ 6 . 教育・文化	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
22 学校教育の充実	6.25	5.17	1.08
23 生涯学習・スポーツの推進	3.85	2.46	1.39
24 文化の振興	2.94	1.96	0.98

カテゴリ 7 . 都市経営	意向の強い層	意向の弱い層	意向の強弱による差
25 参加と協働による市政の運営	3.16	1.77	1.39
26 効率的な行政経営の推進	4.00	3.31	0.69

居住継続意向と満足度および重要度との関係について

下図は前掲の図を再掲したものである。これらの図より、居住継続意向について、意向の強い層は市の行政施策に対する満足度が相対的に高く、意向の弱い層は満足度も相対的に低いことがわかる。

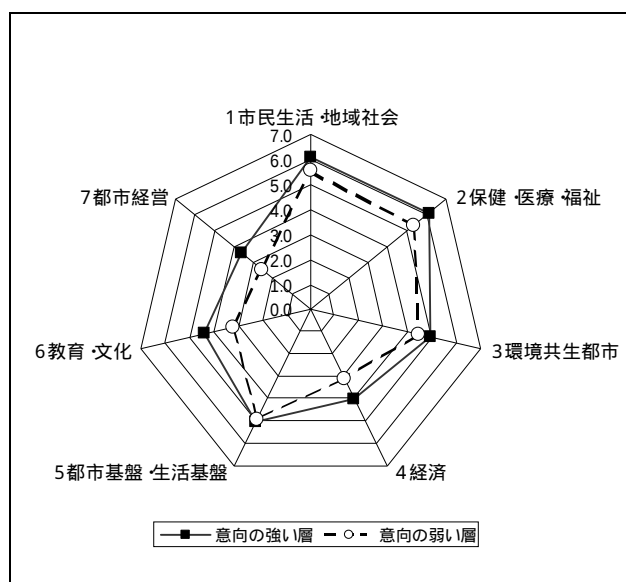
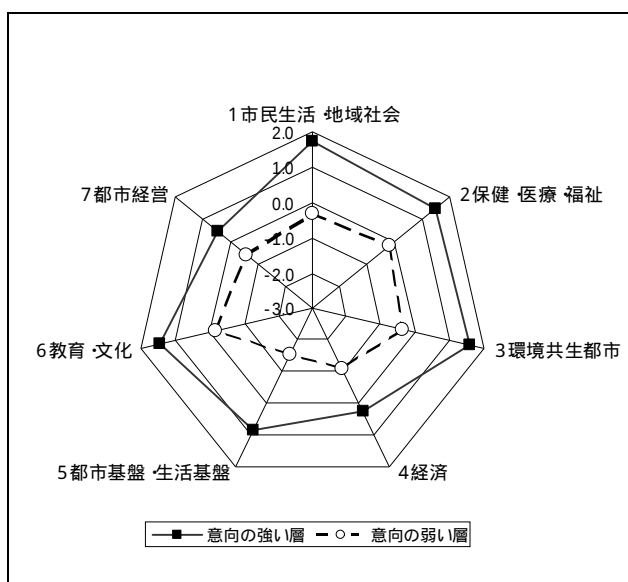
一方で、重要度について、居住継続意向による違いは満足度ほどは見られない。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、教育・文化では重要度が相対的に低くなっている。

居住継続意向の強い層で満足度の高いカテゴリのうち、市民生活・地域社会、保健・医療・福祉では重要度も高くなっている。現状に満足していてもなお、今後の重要度が高い。

意向の弱い層では都市基盤・生活基盤の満足度が他のカテゴリと比して低くなっているが、重要度の評価は他のカテゴリと大差ない。

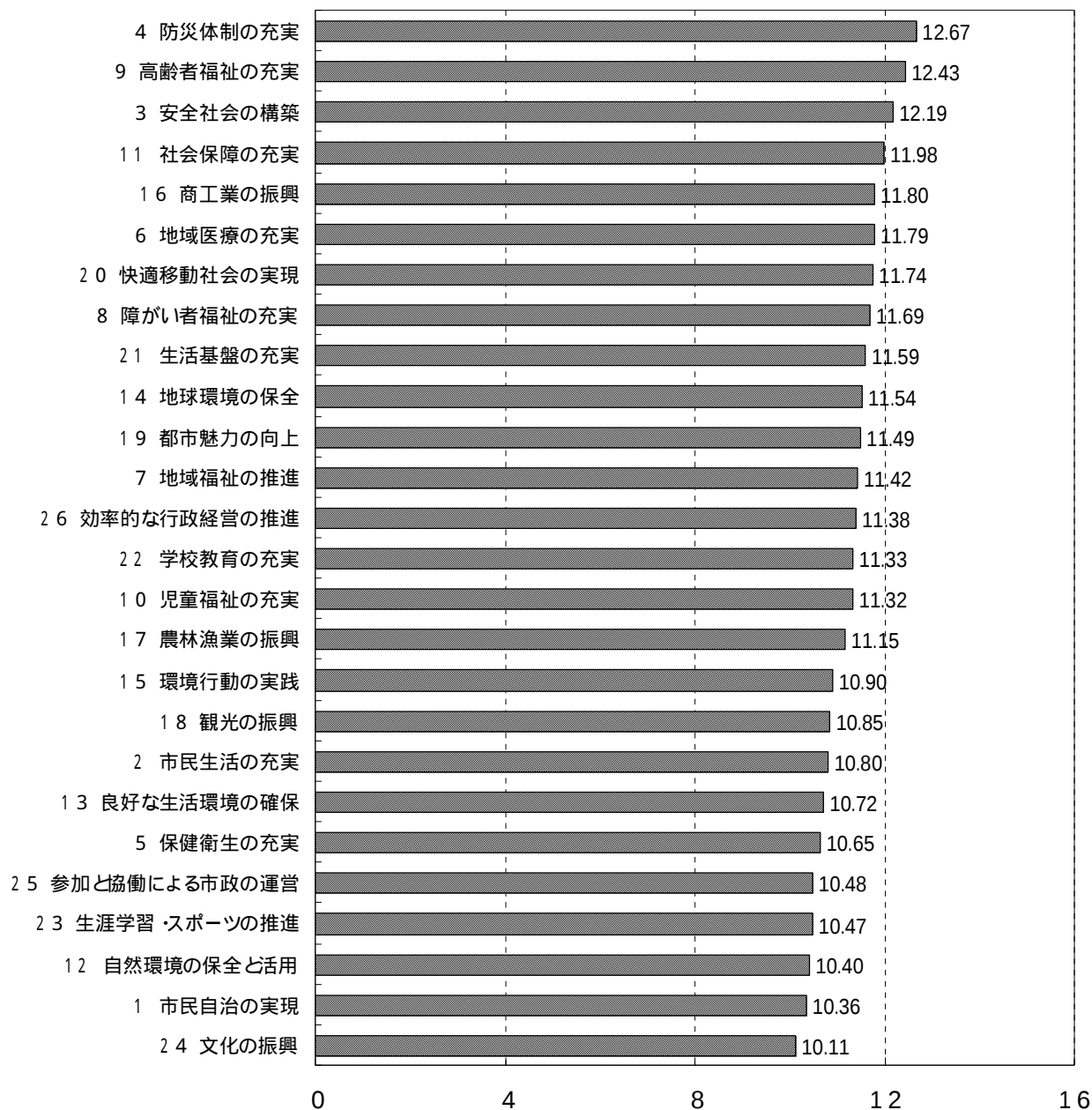
図4 - 2 居住継続意向別 満足度（左）と重要度（右）（それぞれ再掲）



ニーズ得点について

満足度と重要度から総合的に市民のニーズを測る「ニーズ得点」をみる。今回、ニーズ得点の高い項目としては、「４ 防災体制の充実」(12.67)、「９ 高齢者福祉の充実」(12.43)、「３ 安全社会の構築」(12.19)、「１１ 社会保障の充実」(11.98)、「１６ 商工業の振興」(11.80)が挙げられる。これら上位の項目については、市民のニーズが高く、優先的に取り組むべき課題として認識する必要があるといえる。

図６（４） ニーズ得点



(参考) ニーズ得点

ニーズ得点は、下式により算出される回答者ごとの得点の全体平均であり、ニーズ得点が高い項目は、その行政施策・サービス等に対する住民のニーズが高いものととらえることができる。式中の「満足度得点」、「重要度得点」は問12の回答内容によって決まり、下表のように設定した。

$$\text{ニーズ得点} = \text{重要度得点} \times (6 - \text{満足度得点})$$

注) 満足度及び重要度に、次のように5段階のポイントをつける。

満足度	重要度	ポイント
満足	重要	5
やや満足	やや重要	4
どちらとも言えない	どちらとも言えない	3
やや不満	あまり重要でない	2
不満	重要でない	1

ここで(6 - 満足度得点)は不満度を意味し、また、ニーズ得点の範囲は1～25点となる。ニーズ得点は、重要度が高くなるほど、また満足度が低くなるほど(不満度が高くなるほど)高くなる。

内閣府国民生活局「国民生活選好度調査」より

E 自由回答

岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案をうかがったところ、あらゆる分野について 1,008 件の意見が寄せられた。

< 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり（市民生活・地域社会の充実） >

（市民自治、市民生活）

- ・小学生の子どもがおり、学校を通じて地域とかかわることが出来るが、子どものいない夫婦、未就学児のいる家庭、16 歳以上の子どもがいる家庭など、地域活動に参加してもらえる施策が必要に思う。参加している世代が高齢化しており、高齢化ゆえの若い世代の負担が多くなっていると感じる。
- ・多種多様な人がいれば、摩擦も多くなります。ゴミの出し方、車の運転の仕方など、特に高齢者と若い人とのトラブルも多いように感じます。避けられない事ではありますが、子供と老人がふれあい、お互いに理解を深める機会が増えていけば、こういったトラブルも少しは減るのでは。
- ・高齢者が出掛ける時に手助けしてくれるボランティアの登録制度や、援護する制度があったらありがたい。出来る人が出来るときに援護するような地域の助け合いのシステムが実現できたら、素晴らしい町になると思う。
- ・子どものために、地域に様々な職業に就いている人が住んでいることを知らせたいので、老若男女問わず近所や市内に住む人と出会える機会があるとうれしく思う。市がそのための催し物を企画してくれるとうれしい。
- ・年に 2 回くらい清掃の日として、町内とか公園などを 500 円くらいの罰金を取っても一軒から 1 人出て掃除してほしい。
- ・市民ができることは、市政もどんどん市民の協力をお願いして良いと思います。市民清掃も、もっと参加して道や川の土手をきれいにしていくと、岡崎のイメージアップにつながるとおもいます。それと市民同士の交流にもつながると思います。これからは、遠慮しないで、もっと市民参加の岡崎市を目指してください。
- ・地域の福祉委員会が立ち上がったが、正直なところ予算を使う為に行事をこなすという、押しつけ感がある。町民の自発的な行動になるようにしたい。
- ・各町自治会に入らない人（特に高齢者が心配）をフォローしていくようにしたいし、市ももっと力をいれてほしい。
- ・福祉委員も 65 才以上で名ばかりで、もっと若い人でやってもらいたいと思います。高齢者であり役を引き受けている人がいるが、それではだめだと思います。
- ・高齢者を含め、ボランティア活動にもっと積極的な起用をしてもらいたい。
- ・げんき館や地域交流センターなどの施設は整っており、そこで多くの市民活動が行われている。ただ、積極的な方はよく参加するが、消極的な人にも参加を促すような何かが欲しいように思う。せっかく立派な施設があるのだから、施設整備だけでなく、人と人との関わり合いを進めていく施策を考えていって欲しい。

（安全社会、防災体制）

- ・額田地区では、昼間の老人が住む家に、変な訪問販売員がうろついていて危ない。
- ・治安があまりよくないので、子供の帰宅時間になると心配で送迎をしています。
- ・街路灯を青にするだけでも犯罪が減ると言われています。だんだん岡崎市も事件が起こっています。効果があるといわれていることは、モデル地区を作って進めてみては？

- ・夜は道が暗くとても危険ですので、もっと街灯を設置し、警察はよりパトロールに出て欲しいです。
- ・3月の震災や8月末の豪雨を受けて、各市民に緊急避難先を示したハザードマップ等を配るべきである。また、市として防災訓練等を行うのか？市だけではなく、県や国の大規模な訓練を行わないのか？
- ・矢作川の決壊に対する、学校（大門小学校など）の設備の充実（救命道具の備えなど）を望みます。矢作川の決壊に、想定外ですと言わないでください。
- ・一昨年起きた豪雨災害のとき、避難警報が出たとテレビなどで発表されていたが、まわりに聞いても誰も知らないと言っていた。今回の震災や大津波をみても、防災ということはとても大切で重要なことなので、もっと実質的で効率的な自主防災や警報システムを構築して欲しい。
- ・東北地方では未曾有の大地震により、復興がいつになるか分からない状況である。岡崎も市が防災体制の充実を推進しているが、地震が起きた時の最悪の状況を想定し、その際の再建など、広く市民の意見を聴いて議論してほしい。また、市政だよりでは、防災対策について詳しく内容を知らせるようにして欲しい。
- ・東日本大震災の被災地の状況から、常日頃から市民と役場の距離が近い（交流がなされている）地域ほど復旧が早いと感じました。具体的には、「市民相談」を充実させることが、いざという時の対応に直結すると思うので、今後の改善をお願いします。
- ・名鉄東岡崎駅のビルの耐震化をすべきだと思います。毎日、たくさんの市民が利用していると思いますので、安全性を高めていただきたいと思います。
- ・町内に防災スピーカーがない。
- ・防災について。早期広域（岡崎市）情報伝達手段の一つとして、防災ラジオは大変有効です。しかし、現状は電波出力が微弱で、かつアンテナ設置場所が岡崎市全域をカバーしておらず、受信できない（困難な）場所があります。東日本大震災の教訓からも、防災ラジオの普及より、放送施設の改善を早期に実現すべきと考えます。
- ・学生の自転車運転は目に余るものがあります。自動車がいくら気をつけても防げない事故も数多いです。学校での徹底した予防、また罰則も考えて欲しいです。
- ・交通事故多発地点の交差点でのカラー化は、見やすくとてもいいと思う。路地などの狭い道路についても、見やすくして安全な対策をお願いしたい。

< 健やかに安心して暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉の充実） >

（障がい者福祉、高齢者福祉、児童福祉）

- ・高齢者の病院通院率を下げるために、もっと「げんき館」で高齢者の機能改善の為に計画的なプログラムを立案し、運動してもらうことが必要かと思います。
- ・今後高齢者がますます増加するため、施設の増設と施設の運営内容の開示、高齢者に対する国の予算を明確にする必要あり。
- ・介護や支援が必要な高齢者施設に対して色々思うことがあります。特養や老健などの施設が足りていないと思います。有料老人ホームはいくつも認可されていますが、本人の年金だけで入所できる施設が必要だと思います。
- ・高齢者住宅を市が主体となって造ってってもらえるのがいいのではと考えます。市営住宅にエレベーター（ストレッチャーが乗る大きさが必要）を設置し、車イスでも移動が出来る間取りで造ってもらい、給食センターからの配食や、寮母のような管理人もしくはケアマネージャーの事業所を設置する。そのような高齢者団地が今後必要になってくるかと思います。

- ・高齢化時代に見合った、老後を安心して生活できる老人福祉施設を増やして欲しい。たとえば、使用しなくなった公共施設を老人施設に改装するなど、有効な使い方をして欲しい。
- ・岡崎市独自で年金のようなものを作り、安心して年を取ることを出来るようにしてもらいたいです。そのために市民税が上がるのなら賛成です。
- ・市が運営する施設を利用する際の、高齢者への優遇措置が欲しい。
- ・女性の高齢化に伴う健康対策として、病気や介護状態にしないため、女性が行き易いフィットネスをつくる。
- ・重度の障がい者の受け入れ施設が少なすぎると思います（特に入所）。身内に、両親も亡くなり他の市にお世話になっている者がおります。大変肩身がせまく、なんとか岡崎市でももう少し「力」を入れて欲しいと切に望みます。
- ・ファミリーサポートセンターなどの公共の子育て支援が、障がい児にほとんど対応できていません。保育園でも断られてしまいます。言葉の上では協力できるように言われるのですが、実際にはほとんど支援してただけません。健常児だけでなく、障がい児の子育てもしやすいまちになるといいと思います。
- ・障がい者雇用ネットワークを作してほしい。
- ・今年度から赤ちゃんサークルが無くなってしまいましたが、小さい子供を持つ母親にとっても必要な場だったので、残念です。既存のサークルに途中から入るのは入りづらい事も多く、一斉に集まった新規の方々だと入りやすく、行きやすいです。他のサークル活動の支援と同様に、また開催する方向で検討いただくと、今後の子育てに大きなメリットが生まれる気がします。
- ・住民の高齢化が進行している現在、高齢者を活用して若者が安心して働けるよう、幼児託児所を作ったかどうか。
- ・岡崎市の市内には、げんき館やりぶら、太陽の城、子育て支援センターなど、子供と一緒に出かけることのできる場所が多くあると思います。しかし東部地域では、子供と子育て中の母親が出かけるには、車で40～50分程度かけないと上記の施設までいけないので、利用しにくいです。
- ・延長保育の園をもっと増やしてほしい。子育てのしやすい街づくりをしてほしい。月1度、午前中でもいいので土、日のどちらか開園してほしい。
- ・岡崎出身でない人間にとって、知り合いがいない子育ては孤独に感じてしまうので、他のお母さん・お父さんとコミュニケーションがとりやすい、オープンな機会をもっと増やしてほしい。
- ・子育て支援の充実を望みます。今年児童育成センターを利用したくて申し込みをしたが抽選だったり、学区外（小学校）だったりなど問題点があります。申し込んだ全員が利用できるようにして欲しいです。
- ・育成センターの利用可能年齢は、小学校3年生までなのですか。長期休みの時のみ、6年生まで預かっていただけないでしょうか。もしくは、育成センターで預かっていただけない時、どこか預かって頂ける所を紹介、または提供していただければと思います。
- ・生活保護費を誰にでも支給するのはやめる。健康な人には、市でゴミ拾いや下草刈りなど、仕事をやってもらい、その対価として払う。
- ・外国人の高齢者と子どもに対して、岡崎の住民であることのメリットに関する、より多くの情報がほしい。特に外国人の住民については、法的な事柄と住民が求めるニーズについては、行政が立ち会って支援する必要がある。

(保健衛生、地域医療)

- ・土曜日の午後、市民病院は別として病院が休みの所が多く困る。医師会のホームページを見ても、日・祝日の当直医の案内はあっても、土曜日の情報が全くないため、こういう点は何とか改善できないものだろうか？土曜日の午後は特に休診の病院が増えてきている。何か良い方法を検討していく必要があると思われる。
- ・岡崎市民病院から県内大学病院へ行く患者があるが、同程度の医療を市内で受けられるように希望します。
- ・市の責任で市民病院を移転したのですから、日中のバスを15分に1本走らせて頂きたいです。車でいけない人、検査で車を運転しては行けない人等のケースは少なくありません。
- ・特定層に利益が偏らないような医療の充実が、長期的な安心につながります。
- ・岡崎では在宅医療についてどのようになっているのでしょうか。いずれ、病院に行くのも身体的に大変になり、また、病院に入院へも不可能となったときには、往診していただけると良いと思います。医師会のネットワークを作り、介護する老人を助けて欲しいと思います。

< 自然と調和した環境にやさしいまちづくり（環境共生都市の実現） >

(自然環境)

- ・昨年、県外から引っ越して来て思ったのですが、以前に住んでいた所よりも街路樹が少なく、徒歩で買い物に行くにもとても辛い目にあいました。すべての人が車で移動しているのではないのです。今年も平日（特に夏です！）買い物へ行くのが辛いと思うと、やっていられません。街路樹を増やして下さい。
- ・近辺にある“キトノ公園”ですが、野芝や雑草が地面の3/4以上を覆っています。子供さん達のボールけりや、自転車遊びにも不具合なくらいで、表面をけずり、土を入れ替える等の大幅な手入れをしない限り、公園の体をなしていません。確かに、近隣の利用者のボランティアでの管理・運営が建前かはわかりませんが、昔にみられたお年よりの方々が清掃する姿は見られません。このような状況について、行政の方の指示や指導を受けるなり、行政主導を願うものです。
- ・山間部の保全や林業への補助のため、住居新築の場合は地元の材木を20~30%以上使用させるとか、改築の場合には地元の材木の使用量に応じて補助金を出すとかの条例を作って欲しい。
- ・下水道共用区域の各戸、各法人の浄化槽の撤去を期限を決めて義務付け、河川浄化を進めて欲しい。豊橋市を手本とすれば、市内の河川（伊賀川など）をせせらぎに出来と思う。
- ・地元の木材を使い家を建てれば、減税優遇措置となる市の条例をつくる。木造住宅は、木材の底辺の広い需要を作り出し、間伐に税金を出さなくても良くなる。在来工法に行政がテコ入れしてほしい。より具体的な案としては、木造の大工さんを育成する、杉・桧の製品の価格維持に税金を使う、間伐に補助をしない。
- ・自然環境の活用（岡崎は額田地区等も含め自然が多い）。親子ふれあいの場づくりとして、岡崎の面積の約40%ある自然の利用法、場所を考えて、もっとPRしてほしい。

(生活環境)

- ・ゴミ出しについて、期日や時間が守られず、又分別されないまま置いていかれる人もいる為、行政のPRも必要と考えます。
- ・外国人市民にごみ分別を理解する為のセミナーを開いて欲しい。
- ・町の環境面ですが、ゴミや収容器のポイ捨てが多すぎます。これは市民のモラルが欠けたり、郷土愛の不

足からとを考えます。行政面で美化の指導を行ってほしい。

- ・ 準工業地帯に住んでいるが、工場の騒音になやまされている。何度か市役所に相談をしたが、一向に改善されない。市として騒音問題に真剣にとりこんでほしい！！少なくとも市条例を守られるようにしてほしい！！

(地球環境、環境行動)

- ・ 車で移動することが前提の街づくりになっていると感じます (図書館も市役所もシビックセンターも駅から離れているので)。環境衛生都市をうたうなら、公共交通機関の充実、無理ならせめて自転車道、歩道の整備をきちんとして、マイカー利用を減らして CO2 を削減するための制度を導入するくらいやらないと、と思います。
- ・ ガソリン車から電気自動車へと移行していくのに関して、対応が出来るまちを早く整備する必要性を感じる。
- ・ クリーンセンターへ持ちこまれるゴミは日々たくさんです。そのうち、100%木くず、落ち葉、枝などのゴミ、大型の機械を導入して、細かいチップとして再利用したらいいと思うのですが。再利用は、肥料として畑などで利用したり、他にも使い道は色々あるかと思います。
- ・ クリーンセンターの余熱を利用した温水プールを作り、エネルギーの活用と市民の健康増進を図って欲しい。プールの使用料を市民から得て、業務の改善に向けてがんばって欲しい。
- ・ 代替エネルギーによる公的施設の電力量確保を望む。
- ・ 太陽光発電に興味があるので、耐用年数や不用になった時の処分方法について、その金額を含め具体的に知りたい。また、新エネルギーについて市民の意見を幅広く聞いて、市独自のエネルギー対策について本気で取り組んで欲しい。
- ・ 電力不足が予想される中で、電力不足を補う為の対策や、自然のエネルギーをもっと活用してほしいです。例えば、太陽光パネルの設置や、新しく建てる住宅やマンションなどに太陽光パネルの推進を積極的に取り組み、購入者には優遇処置をする。利用者が増加すれば電力不足の解消に役立つし、産業の活性化にもつながると思います。
- ・ 東海、南海、東南海地震に対する備蓄のためにも、自家発電を推奨し、さらに補助金を出して増額してほしい。また、水確保の為に井戸の掘り削りを推奨し、補助金を出して欲しい。井戸は特に町内の人口にあわせいくつ必要かを把握し、積極的に取り組んで欲しい。

<賑わいと活力あるまちづくり(経済の振興)>

(商工業、農林漁業)

- ・ 岡崎市は、自動車産業に偏った市だと思います。いろんな企業がもっと充実した市になって欲しい。
- ・ 市の建設物には、地元の業者を使って欲しい。
- ・ 市民農園のような貸し出し場所を作って欲しい。
- ・ 岡崎市は農地の保全にもっと力を入れて下さい。特に、有機栽培の後押しを強力に進めて欲しい。個人で取り組んでいる農家が対象になりにくいと思います。
- ・ 地元農家による産直野菜市場を増やして欲しい。例えば、幸田町の農園の様な売り場は、安さと食の安全、新鮮さ、色々な面において魅力があると思います。岡崎市は住宅が増えたと言っても、まだまだ農家の方も多く、近年はエコライフとして農業も身近なものになってきていると思います。
- ・ 名産品を開発して雇用を増やしてほしい(税収も上がる)。また、そういう会社を援助するシステムも必要。

- ・岡崎にある農業支援センター（旧農業バイオセンター）など、農業施設をもっと民間のみなさまに知っていただけるように、利用できる機会を増やすことで、岡崎の農業自給率を向上させることが出来れば、これからの市の働きへの強みになるのではないかと考えます。
- ・せっかく、額田地域には山林がたくさんあるので、林業を充実して木材で岡崎ブランドみたいなものをつくり、全国にアピールできるような働きかけをすれば良いのではないかと。里山再生のお手本になるような活動の充実を望む。
- ・岡崎市の中で市民がお金を落とし、経済活動が出来る仕組みを考えていきたい。名古屋でなく豊橋でなく豊田でなく、岡崎。地元の商店住民による企業の活性化を望む。
- ・町を盛り上げるきっかけとして、大規模なクラフト手作り市やフリーマーケット、屋台出店などのイベントを増やしてほしい。
- ・比較的豊かな土地だと思うが、林業や農業をもっとサポートして、若者が就業できる（しょうと）様な施策を行う。市民が参加して岡崎市を少しでも活性化する活動をふやす努力が必要。
- ・リタイア後の高齢者の人材活用と交流の活発化促進対策を。リタイアはしているが、体力もまだまだ元気で有能な方が大勢いるように感じます。一日の活動時間は短時間でも、皆で交代で活動すれば、立派に社会貢献できる上、社会問題になっている孤独化も防げると思います。貢献した分、ポイント制で将来自分に戻ってくるようなシステムをあらゆる面から検討して制度化して下さい。
- ・商工業の振興について。若者の職業的自立サポートには、費用対効果に疑問を感じる。年間創業者数が20件を超えているが、全てが事業を継続しているのか？ 次回はデータを示して欲しい。創業支援もよいが、既存の企業をもっと迎え入れる策を講じて雇用の創出に力を入れ、活気のある市にして欲しい。
- ・若者の就労支援を充実して欲しい。中途退職者、発達障がい者に、アルバイト、就労前活動などを紹介して、何とか生きていける収入を得られるようにしてほしい。また、不登校ニートの若者に対して、軽い作業などで就労につながる場や、相談窓口などをつくって欲しい。
- ・仕事上で外国人と日本人の権利を一緒にして欲しい。

（観光）

- ・10～20代の若者向けの観光施設を充実させて欲しい。
- ・もっと観光PRに力を入れるべきです！ホテル、旅館など同行PR 主要都市でのPR説明会、インバウンド誘致、観光バス駐車場の充実、公衆トイレの見なおし、豊川市の様にB級グルメの考案、武将隊とともに他県へPR、岡崎市は観光PRが「下手」だと思います。
- ・岡崎市は観光事業に力を入れるべきだ。岡崎城、八丁味噌、大樹寺、真福寺、滝山寺、奥殿神社、岩津天神、六所神社など、これほど寺や神社の多い都市はなく、何よりも徳川家康の生まれ故郷である。これだけの歴史名所がありながら、市の観光事業がパッとしないのは、市が歴史文化に力を入れていないからでは。大切なことは「岡崎とは何か」であろう。岡崎にしかできないことを考えるべき。
- ・他県へ行って、岡崎について聞かれても八丁味噌以外自慢できるものがなく、何も言えない。今の岡崎の中心街は寂れて活気がない。昔の岡崎が懐かしい。歴史がある町なのに、それが生かされていない。町を歩いて楽しくなるような街づくりをして欲しい。城に行きたくるよう周囲を整備して欲しい。
- ・歴史という貴重な資源があるので、もっと活用すべき。特に、「家康公検定」などを行っておきながら、行っただけで終わってしまっただけではもったいない。成績優秀者を人材として活用する方法を考えてもいいのではないかと。旧東海道への歴史を活かした街づくりやイベント等、何とかならないのか。

- ・岡崎は自慢できるものがたくさんあるのに、アピールが下手なのか、しないのか…もったいないと思う。催事でも後から新聞で知ったりする事が多く、もっと事前に宣伝してほしいと思う。
- ・他府県からの来客に、岡崎市の見所や魅力を的確にPRできるツールがない。幹線道路沿いの事業所全てに、市のPR見所のパンフを置いてはどうか。
- ・毎年、都市対抗野球を見に中総の野球場へ出かけます。その際、他県、他都市の車が沢山参ります。その人達に岡崎のお土産を買っていただくように、一時的にでも出店をしたらと思っています。私たちが他都市へ行くとその土地のお土産を買います。岡崎でもそういうことができないのでしょうか？

< 快適で魅力あるまちづくり（都市基盤・生活基盤の整備） >

（都市魅力、生活基盤）

- ・岡崎市の人口は分布が南部に過剰なため、交通の混雑が起こる。文化施設を北部へも誘致して、人口分布のバランスを適正化するべき。
- ・『げんき館』、『りぶら』と施設があっても、中心部の人は利用しやすいが、東部のはずれから行く人は少ないように思います。
- ・子どもを遊ばせる安全な公園作りをしてほしい。
- ・家の近所に児童公園がありません。幸田の町民会館の中にあるような安くて大勢入れる喫茶店、特に中高年の人が気軽に行ける店があるといいです。趣味でなくてもちょっとお茶を飲んでお話しのできる場所がほしいと思います。
- ・市内に公園があっても、駐車場が不十分なため路上駐車が多く、地域住民の迷惑になっている。公園を造る段階で、行政がもっと駐車場について整備すべきだったと思う。今からでも早急に整備を進めるべきだと思う。
- ・岡崎市には、誰にでも利用できる大きなプールがない。夏がくると、わざわざ幸田のプールまで子供たちをつれていきます。ぜひ岡崎にも市民が気軽に利用できるプールをつくってほしい。
- ・安城市の様に、図書館と並んで建っている公民館など、小学校の子供が遊べる室内施設があると助かる（乳児の施設はすごくあって大変良いと思う）。
- ・中学生や高校生の遊び場（自由に使える、自習室のようなもの）の充実をお願いしたいです。我が子が中学生になったとき、集う場がカラオケボックスやゲームセンターでは安全とは思えません。
- ・市内に市民会館のような大きなホールがない為、他市町への利用をしている。勉強のための研究会・講演会が出来るところ（例えば名古屋の芸術創造センターのような）がほしい。
- ・住み良い町を作るのに施設は必要ない。本当に住み良い町、犯罪の無い町を考えるのなら、施設ではなく、岡崎市のど真ん中に大きな公園を造るなど、なぜ考えないのか不思議に思う。
- ・市の施設が多すぎるのは今後の維持コストなど心配。本当に必要なものを残し、稼働率UP、使用頻度の充実に図り、効率的な施設運営を。
- ・公園内に車イスで自由に入れる様に整備してほしいです。
- ・岡崎城の階段が急なところは、高齢の観光者には無理があると思われます。
- ・陸上競技場がまともなものがなく、大会で刈谷、安城など、他市へ移動しなければならず不便である。
- ・市街化区域と市街化調整区域を見直してほしい。時代とともに農業の跡継ぎも少なく、農地を利用したくても、建物（アパート マンションなど）が建てられず困っている方が多い様に思います。
- ・昔の市の中心街であった康生、伝馬のあたりの寂れようをみると、都市計画から全く見捨てられたように感

じられます。また、中心部に比較的近いところであっても、戦後60年も経つのに未だに消防車も入れないような地域が存在します。

- ・市の中心部に全く活気がない。市の中心部には岡崎城や岡崎公園など、市の代表的観光スポットがあるにもかかわらず、それに見合った賑わいのある街ではない。
- ・東岡崎の開発に伴って、周辺の街も大切だと思います。ヨーロッパの町並みのように、歩いていて魅力や統一感を感じる、おしゃれでセンスある町づくりがこれからは重要だと思います。従来のように個々で店を並べても、すぐに潰れてしまうと思います。
- ・『文化都市岡崎』という言葉聞いたことがありますが、岡崎の中心市街地にはそのような香りがしません。康生周辺を歩いていても、立ち止まって『ほっ』とするようなところ、腰をおろして街をながめてみようとする場所が見あたりません。散歩していてもつまらない街です。歩道や車道でさえ、もっと自由に市民に使わせたらどうですか。
- ・康生地区の有益な利用方法を早急に検討して欲しい。特に松坂屋跡地の有効利用を考えて欲しい。岡崎の文化を守るためにも、文化会館などの建設が出来ればよいと思っている。
- ・山間地域の生活環境の改善が遅れている。
- ・中山間地の振興策をお願いします。岡崎市内の山間地は、土地・環境・観光資源として魅力のあるものと考えております。

(快適移動社会)

- ・岡崎の総合駅を作って欲しい。場所は中岡崎ぐらいしかないかもしれないが、JRと名鉄が離れていて不便です！
- ・東岡崎駅が不便すぎるので一刻も早く改善して欲しい。階段では、ベビーカー、お年寄り、車椅子、スーツケースを持って移動するのは極めて困難です。
- ・針崎に新中学校ができますが、それに伴う周辺道路の渋滞対策や道路計画はどうなっているのか？今現在でも朝、夕は特に車が渋滞を起こすため、自転車通学になるだろう子供たちの交通事故が、大変心配である。歩道の確保や架橋を増やす等して安全を確保して欲しい。
- ・道路がぐねぐねして、狭くて走りにくい。踏切も多く、通行しにくい。車の多い市なので、道路の管理、整備など大変かと思いますが、住みやすい町になってもらいたいです。
- ・市幹線道路の拡幅を望みます。旧248号線(通称 蒲郡街道)の日清紡跡地あたりから南方面への道路が狭いため、今後新設される中学校や団地などによって、交通量の増加が予想されます。この道路は県道とありますが、市としても是非実現する様に働きかけて頂きたい。南部地域の発展には欠かせないと考えます。
- ・道路の整備について少し無駄が多いと思います。渋滞している道が所々にありますが、例えば右折レーンを2本にすれば、追い越し車線に車があふれずに渋滞が緩和されると思います。ただ広い歩道も良いですが、実際そういうふうになっている町や県もあります。以前、稲熊の辺りで右折レーンを造ったら、慢性的な渋滞が解消されたように、少しの工事でもとても快適な道になると思います。これからも良い町づくりをお願いします。
- ・年度末に道路工事を集中するのは渋滞を加速させるだけ。工程表を見直し工事を分散させるべき。
- ・車道と歩道の間の街路はとても緑が多く良いのですが、車道に出るとき、自動車が目にくく感じます(例、248号線等)。
- ・車道の整備はよく行なわれているが、歩道の整備は全く行なわれていない。自転車は歩道を走ることにな

っているのか、危なくて大抵の人は歩道を走っている。これからの省エネを考えれば、自転車専用ゾーンを造るべき。また、高齢者が増えることを考えれば、歩道の整備にもっと力を入れるべき。自動車に片寄り過ぎている。

- ・市内では大きな町のわりに市民病院は遠いし、消防署も遠く、大手スーパーもなく、全て車がないと生活出来ない状態です。
- ・主な施設はすべて市の中心及び公共の交通環境の整った場所に集められ、額田地区等、およそ車でもない限り施設へ出かける事の出来ない人との格差がものすごくあります。
- ・まちバスはあまり意味が無いと思います。毎日すれ違うのですが、ほとんど空っぽです。5分も歩けばバス通りなのに、税金の無駄使いだと思います。本当に困っている人のためにバスの路線を考えて下さい。
- ・まちバスは、もっと通勤向けに運行を考えてもいいと思う。また、イオンやアピタなどを経由するなど買物向けのコースを作れば利用が増えると思う。
- ・公共機関をもう少し充実されると、もっと高齢の方に便利になるかと思います。例えば安城の「あんくるバス」のような形で、「こんな所も、バスが通るんですか？」というようなルートも作って下さると、思いもよらない利用者があるかもしれません。
- ・額田地域にだけ補助を受けてバスが走っているが、常磐地区や六ツ美地区も必要だと思う。
- ・バスに時々乗りますが、バス停に椅子・屋根があるといいなと思います。お年寄りの方が、不便そうです。
- ・現在は運転できるけど、乗れなくなったら交通機関を不安に思う。
- ・額田地域など、町の中心から離れてずっと暮らしている人が、高齢になったり何らかの理由で病院や買い物、市役所などの他の施設にも行けなくなった時に困らないように、交通の便利をよくして、暮らしをあまり変えずに過ごしていけるようにしてほしい。
- ・住んでいる矢作町は交通の便が良くないので、高齢者には不便である。市の200円均一バスのようなものがあればいいと思う。康生町に行きたくてもバスがないため、ハイヤーを利用するしかなく、お金が掛かるのでなかなか外に出れない。

< 未来を拓く人を育むまちづくり（教育・文化の振興） >

（学校教育）

- ・教育環境の整備、優先順位が適正であるのか？
- ・子供の教育が心配です。授業時間は足りているのでしょうか？学校の授業だけでは心配なので、学習塾に行かせたり通信教育などさせたりしています。担任の先生によって宿題などの量が違います。先生によって格差があるような気がします。他、先生によっては暴言を吐く方がいらっしゃいます。教育のプロとして言葉は正しくて欲しいものです。学校内の対応が大変なのは理解できますが、人間として、教育者（プロ）として、子どもだけに厳しいだけでなく、先生方自身の言葉使いを正して欲しいと願っています。
- ・少子高齢化が進んでいるため小学生の数が激減しており、目を覆うばかりです。スクールバスなどを活用し、学校を統合して多くの子どもたちが一緒に学び、遊べたらよいと思う。小学校の職員も減らすことができ、経費節減にもつながる。
- ・岡崎市に、国立又は公立の4年生大学校を設置してほしい。若者が大勢いる事が岡崎市に活気を与える事になる。また、文化教育の点からも刺激を受け、好ましいと思われる。
- ・現在、松坂屋跡地・セルピ跡を市が買収され、市の昔館なる類の施設を作る案が出ていると聞いております。これからの岡崎市に必要となってくるのは、未来を担う子供達への教育（科学への興味、世界に目を

向けての行動)だと考えます。昔館という懐古する気持ちも必要かとは思いますが、科学館という発展的な場を街中に作り、自発的に子供達が公共交通機関を利用し、発想し楽しんで、理科を理解していく場が必要かと思います。

- ・ 子どもの為の日本語とポルトガル語の教育をもっとサポートして欲しい。週末の幅広い時間帯に、無料の教室を開催して欲しい。

(文化)

- ・ 内田さんの宝である「JAZZ」をもっと深く、広く進展させるために、JAZZ基金なるものを創設して、小・中・高の音楽部でJAZZバンドをつくり、年一回のJAZZフェスティバルを開催しましょう。今やっているJAZZフェスティバルでは、まだまだ地域住民の参加が少ないので、もっともっと地域住民が参加できるような、参加型のフェスティバルにしよう。野外あるいは路上でのコンサートが良いと思う。人々に根づくような、ゆっくり、じっくり、しっかりとした運動にしたい。
- ・ 文化行事を充実させて欲しい。一つの分野や方向に偏っていると思う。岡崎の伝統文化を生かした行事や事業を充実させて欲しい。
- ・ 歴史に関する案内板を設置したり、岩津地区の古墳時代のアピールなど埋もれている歴史を掘り起こして、文化都市としての存在を高めれば良いと思う。
- ・ 市が文化的な都市を作ろうとしているのは、難しいのではないかと思う。中途半端な形になるよりは、住みよい町づくりに重点を置くべきだと思う。
- ・ ポルトガル語のセミナー (外国人市民が興味のある内容のもの)を開催して欲しいです。私たちの抱えている課題に関心のある人々と交流したいです。

(生涯学習、スポーツ)

- ・ 生涯学習について、市民の中にはあまり浸透していないのが現状だと感じています。私は Libra が好きで、週末になるとよく行きますが、情報発信の拠点としてもっと活かせたらいいと思います。あと、生涯学習のレパートリーを増やしてほしいです。
- ・ 生涯学習で、60才以上や70才以上の人の料理講習会も開いて下さい。また、70才以上のパソコン教室 最も簡単なものも開いて下さい。携帯の扱い方もお願いします。
- ・ 文化財教室へも応募してみますが、なかなか当選できず、残念な思いをしています。もう少し回数を増やしていただけると嬉しく思います。
- ・ 増大する高齢者の生きがいを目的に、健康・教養・趣味をカリキュラムとして、高齢市民大学の開講を提案します。
- ・ 岡崎市民駅伝の活性化を望む。私は11年間、市の駅伝に参加しているが、コースの手直しがあったり部門の種類が増えたりしており、毎回楽しんでいる。そこで提案として、地区別対抗の部門を作ったらどうか。地域一丸となって駅伝に取り組むことによって、地域住民の繋がりが深くなり、また地域を活性化することにもなると思う。
- ・ 高齢者用「一万歩 walking map」の作成。コース、距離、コースの特徴など記載。出発地点付近のバス停・駐車場も付記。岡崎市全域をカバーするものがよい。
- ・ 中央総合公園内でのスケートボードを中止するのではなく、若い人のやれる場所を提供してあげるといいと思います。
- ・ 市政だよりでしか、行事などがわからない。岡崎球場での催し物 (高校野球、都市対抗野球など)を積極的にアピールしてほしい。

< 将来まで自律した状態が続く都市経営（自律した都市経営の実践） >

（参加と協働）

- ・ 傍聴したいと思うのですが、なかなかきっかけが作れないので、町単位で議会を見に行こうみたいな組織があるといいなと思います。
- ・ 市議会議員が常にどんな活動を地域にしているのか、活動内容を期間ごとに報告してほしい。
- ・ テレビ岡崎チャンネルで定例議会等見えています。岡崎の今を知る良い機会だと思います。
- ・ ホームページに掲載している市政のサービスが、市民にどれくらい伝わっているのかなと思います。私はパソコンを使いこなせませんが、他の人々は皆さん活用されているのでしょうか。
- ・ 市政だより、ホームページについて、子供でも分かりやすく、読みやすくしてほしい。特にホームページは、そういう工夫（分かりやすく、リンクして、詳しく説明する等）ができると思うので。
- ・ 計画性のない街づくり・道路づくりが多く、市民の意見は二の次になっているような面がある。何のための、誰の為の街づくりなのか。さまざまな施策を行っているようだが、市民認知度はどれくらいあるのか。今回の資料をみて初めて知った取り組みが多くあった。もっと広く知ってもらうべきではないか。せっかく良い施策があっても、認知度が低ければもったいない。
- ・ 市の職員の方は愛想がない人が多いです。窓口でも、事務的に対応されている感じがします。
- ・ 他都市との交流がお粗末。特に豊田市。
- ・ 日頃余り興味のない者に対して、紙面によるアンケートの信頼性をどの様に考えているのか。真に市民の意向を把握するなら、聞き取り調査をやるべき。このような調査で評価するのは時間・費用の無駄。この位の事は、市の窓口の職員が日々のサービスの中で把握すべき事と思う。
- ・ 各地域で20～30人を抽出し、今回のアンケート内容を一日かけて話し合うことにより、自然体の問題点や方向性を理解することが可能である。抽出されたメンバーが各地域で中心となり、活発な働きをすることが想像される。
- ・ 一般市民が意見を言える場がほとんど無い。大声で強気にものをいう人の意見が通って、公共施設が建ったり道路整備がなされたりしているようにも思える。市内のどこに住んでいても平等にサービスが受けられるように、行政に携わる人には考えて欲しい。
- ・ 行政が市民の身近な者に感じないし、意見とか不満があっても、誰にどこに行ってもいいのかも、はっきりしていないので、あきらめる方が多い。もっと市民の一人一人の意見が取り入れられる仕組みにもらいたい。
- ・ 危機管理が非常に良くない気がします。大都市でも良くないが、住み良い岡崎市に必要なことや物の優位性は、常にタイムレスが大事である。大きな計画性ばかりでなく、そのときに必要な物や事に対するポテンシャルを良くしてほしいと思います。
- ・ 岡崎市は本当に住みやすく素晴らしい所だと思っています。子供たちの将来のために改善すべきところは改善し、良いところはより良くなるように、行政と市民との共働が大切だと思います。
- ・ まちづくりに積極的な市民団体、例えばJCなどの協働を積極的にしていただきたい。
- ・ 次代を担う若者に、大事な事を伝える責任が大人にはあると思います。ボランティア、高齢者、障がい者とのふれあい、商業に実際に興味をむけさせるイベント、地元を愛し盛り上げることへの関心、中学生の市政の参加等は、本当にいい企画だと思いました。

- ・従来の行政施策から、新たな視点でのビジョンに基づいた行政に改革する時代になっている為、思い切った施策と市民の期待に少しでも答えられる行政であって欲しい。皆で知恵を出し合い、よい町作りに努めたいものです。全精力で頑張りましょう！！
- ・岡崎市には1500人以上の中国人がいます。なぜ市役所には中国人向けのサービスがないのですか？市役所が何らかの対策を講じてくださる事を願っています。例えば、市役所内に「中国人悩み相談室」があればいいと思います（もちろん、中国人スタッフが良いです）。

（効率的な行政経営）

- ・税金の使い道がハート面に偏ってる気がしている。ソフト面、特に高齢者や障がい者など社会的弱者と言われる人達が住みやすい街づくりを目指して欲しい。
- ・個人、法人からの税収が少なくなってきている昨今、市として何が重要なのか、何が必要なのかをしっかりと分析して、予算の編成を行い、行政施策を推進してほしい。まず使うものありきで考えるのではなく、入ってくる収入（税収等）から自身の体力を見極め、ムダな事を排除し、健全な行政を推進してほしいです。背伸びせず身丈に合った行政を期待します。
- ・都市計画税が高額すぎる（算出方法が良くわからない）。固定資産の一括払い込みのメリットがなくなり、戻して欲しい。
- ・本町から能見通りは若い人はいません。それなのに固定資産税だけは多額で、年金生活者にかかっています。
- ・予算案を広報に出す際は、もっと細部まで載せて欲しいです（例えば民生費の内訳など）。そうすれば市民税も喜んで納めると思います。
- ・東岡崎駅前計画について、シンプルに費用を最小限にする。本当に実施する必要があるか再検討してほしい。
- ・公務員の給料が高い。景気が悪いのにボーナスを例年通り支給するのはいかなものか。景気にあった給金を支給するべき。

参考：調査票

平成 23 年度市民意識調査

- あなたの声をお寄せください -

日頃は、市政にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

このたび郵送させていただいた市民意識調査は、岡崎市の市政について市民の皆さんからご意見やご提言をいただき、本市のまちづくりに反映していくことを目的として実施させていただくもので、市内にお住まいの 20 歳以上の方から無作為に選ばせていただいた 5,000 人の方にご協力をお願いしております。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただけますようよろしくお願い申し上げます。

平成 23 年 6 月

岡崎市長 柴田 紘一

ご記入にあたって

できるだけあて名のご本人が、ご回答くださいますようお願いします。

本人が回答できない場合は、ご家族がお答えいただいても結構です。

回答は、この調査票の 2 ページ以降に、直接、記入してください。

ご記入が済みましたら、6月20日(月)までに、同封の返信用封筒に入れて、切手をはらずに、ご投函ください。

アンケートの結果は、統計的に処理しますので、回答していただいた方にご迷惑をおかけすることはありません。

問い合わせ先

岡崎市役所 企画課企画班 電話(0564)23-6812

A あなた自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|---------|----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 |
| 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳以上 |

問3 あなたの職業をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|------------------------------|------------|
| 1. 勤め人(常勤) | 2. 学生 |
| 3. 自営業・家業(農林業、商業、工業、サービス業など) | |
| 4. パート・アルバイト | 5. 専業主婦(夫) |
| 6. 無職 | 7. その他() |

問4 あなたが、市内(旧額田町含む)にお住まいになっている年数(市外へ転出され戻られた方は通算の年数)をお答えください(番号を○で囲んでください)。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年以上10年未満 |
| 3. 10年以上20年未満 | 4. 20年以上30年未満 |
| 5. 30年以上 | |

問5 一緒に住んでいるあなたの家族構成は、次のうちどれに当てはまりますか(当てはまるもの全ての番号を○で囲んでください)。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 3歳以下の同居家族がいる | 2. 4～18歳の同居家族がいる |
| 3. 19～64歳の同居家族がいる | 4. 65歳以上の同居家族がいる |
| 5. 夫婦のみである | 6. 同居家族はいない(単身である) |

問6 あなたはどちらにお住まいですか。お住まいの地域(支所区域)をお答えください(番号を○で囲んでください)。別添の参考資料の表紙に掲載している地図を参考にしてください。

- | | |
|----------|---------|
| 1. 中央地域 | 2. 岡崎地域 |
| 3. 大平地域 | 4. 東部地域 |
| 5. 岩津地域 | 6. 矢作地域 |
| 7. 六ツ美地域 | 8. 額田地域 |

↓

お住まいの地域名が分からない場合は、町名をご記入ください。() 町)

B 岡崎のまちについておたずねします

問7 あなたは、岡崎市を住みよいまちだと思いますか。次の中から1つ選び、その番号を○で囲んでください。

A flowchart with two parallel paths. The top path starts with a dashed box containing '1. 住みよい' and '2. まあ住みよい'. An arrow points down from this box to the text '問 7 - 1 にお進みください'. The bottom path starts with a dashed box containing '3. やや住みにくい' and '4. 住みにくい'. An arrow points down from this box to the text '問 7 - 2 にお進みください'.

問 7- 1 それはこういった理由からですか。
 次の中から主なものを最大3つまで選び、
その番号を○で囲んでください。

1. 交通の便がよい
2. 買い物が便利である
3. 公害が少ない
4. 下水道などの基盤整備がよい
5. 災害の危険性が少ない
6. 犯罪が少なく風紀がよい
7. 緑や自然環境が豊かである
8. 近所づきあいなどの人間関係がよい
9. 教育など子どもを育てる環境がよい
10. 医療や福祉環境が充実している
11. 文化やスポーツの機会に恵まれている
12. まちに魅力や活気がある
13. その他 ()

問 7- 2 それはこういった理由からですか。
 次の中から主なものを最大3つまで選び、
その番号を○で囲んでください。

1. 交通の便が悪い
2. 買い物が不便である
3. 公害により環境が悪い
4. 下水道などの基盤整備が遅れている
5. 災害に対する不安が大きい
6. 犯罪に対する不安が大きい
7. 緑や自然環境が少ない
8. 近所づきあいなどの人間関係がよくない
9. 教育など子どもを育てる環境がよくない
10. 医療や福祉環境が不足している
11. 文化やスポーツにふれる機会が少ない
12. まちに魅力や活気がない
13. その他 ()

問 8 あなたは今後も岡崎市に住み続けたいと思いますか。次の中から 1つ 選び、その番号を○で囲んでください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. ずっと住んでいたい | 2. しばらくは住むつもりだ |
| 3. 市内の他の地域に移りたい | 4. 市外に移りたい |
| 5. わからない | |

問 9 あなたは岡州市の市政に関心をお持ちですか。次の中から 1つ 選び、その番号を○で囲んでください。

1. 非常に関心がある 2. ある程度関心がある ↓ 問 9 - 1にお進みください	3. あまり関心がない 4. まったく関心がない ↓ 問 9 - 2にお進みください
--	--

問 9 - 1 それはこういった理由からですか。次の中から主なものを 1つ 選び、その番号を○で囲んでください。

- | |
|----------------------|
| 1. 自分の暮らし向きに直接関係がある |
| 2. 市政が身近なものになってきた |
| 3. 市政に興味がある |
| 4. 自分の住む岡崎市をもっとよくしたい |
| 5. その他 () |

問 9 - 2 市政に関心を持ってもらうには、どのようにしたらよいと思いますか。次の中から主なものを 1つ 選び、その番号を○で囲んでください。

- | |
|----------------------------------|
| 1. 市政だよりやホームページなどで、市政について詳しく説明する |
| 2. 市政について勉強会や講習を行う |
| 3. 岡崎市をもっと魅力的なまちにする |
| 4. いろいろなメディアを使って市政をPRする |
| 5. 市政に対する市民参加の機会を増やす |
| 6. その他 () |
| 7. わからない |

C 市民参加のまちづくりについておたずねします

問10-1 地域をより良くしていくための「市民参加によるまちづくりの取組」について、過去1年の間で参加したことがありますか。それぞれの項目について、1度でもあれば「有」に、無ければ「無」に、○をつけてください。

設問項目	参加の有無
1.高齢者や障がい者の手助けや交流などの福祉活動	有 ・ 無
2.外国人との交流・支援などの活動	有 ・ 無
3.子育てサークルやPTA活動	有 ・ 無
4.まちづくりのルールをつくり、良好なまちづくりを進めていくような活動	有 ・ 無
5.交通安全や防災・防犯などの地域の安全活動	有 ・ 無
6.資源回収やごみの分別・リサイクル活動	有 ・ 無
7.環境保全や清掃活動など、地域の環境を守る活動	有 ・ 無
8.その他 (具体的に)	有 ・ 無

問10-2

また、今後、どのような市民活動に参加したいとお考えですか。上記1～7の番号の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大3つまで選び、その番号を記入してください。

今後参加したい取組
(番号を最大3つまで記入)

→

問11 「市民参加によるまちづくり」を活性化していくために、今後、どのような「行政の支援」が重要だとお考えですか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを最大3つまで選び、その番号を○で囲んでください。

1. 市の広報紙やホームページによる、まちづくりに関する情報提供の充実
2. まちづくりのアドバイスをを行う相談窓口等の庁内体制の充実
3. まちづくりの専門家やアドバイザーによる支援の充実
4. まちづくりに関する学習機会の充実(生涯学習講座など)
5. まちづくりへの関心や機運を高めるための交流イベント等の充実
6. ボランティアやNPO(民間非営利活動団体)等のまちづくり活動の支援の充実
7. 優良なまちづくり活動を奨励・表彰・支援する仕組みの充実
8. その他(具体的に)

D 市の取組に対する満足度・重要度についておたずねします

問12 あなたは市の行政施策について、どのようにお考えですか。以下のそれぞれの取組に係る「現状の満足度」と「今後の重要度」について、あなたのお考えに最も近いものをそれぞれ1つずつ選び、その番号を○で囲んでください。

なお、各施策についてこれまで行ってきた取組を別添の参考資料に紹介していますので、そちらを参考に回答ください。

設 問 項 目 満足度・重要度 それぞれ1つを選択		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
	(例)○○の整備	1		3	4	5	1		3	4	5
地域社会・市民生活	1.市民自治の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2.市民生活の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3.安全社会の構築	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4.防災体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
保健医療福祉	5.保健衛生の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6.地域医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	7.地域福祉の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8.障がい者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9.高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10.児童福祉の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	11.社会保障の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境共生都市	12.自然環境の保全と活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13.良好な生活環境の確保	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14.地球環境の保全	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	15.環境行動の実践	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設 問 項 目 満足度・重要度 それぞれ1つを選択		現状の満足度					今後の重要度				
		満足している	やや満足している	どちらとも言えない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらとも言えない	あまり重要でない	重要でない
経済	16. 商工業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 農林漁業の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 観光の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活基盤・都市魅力	19. 都市魅力の向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 快適移動社会の実現	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 生活基盤の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
教育・文化	22. 学校教育の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 生涯学習・スポーツの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	24. 文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
経営都市	25. 参加と協働による市政の運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 効率的な行政経営の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 市の取組全般の総合評価 (上記1から26全体の評価)		1	2	3	4	5					

E あなたの自由なご意見をお聞かせください

問13 岡崎市の行政施策について、ご意見・ご提案がございましたら下欄にご記入ください。

設問は以上です。最後までご回答いただき、ありがとうございました。

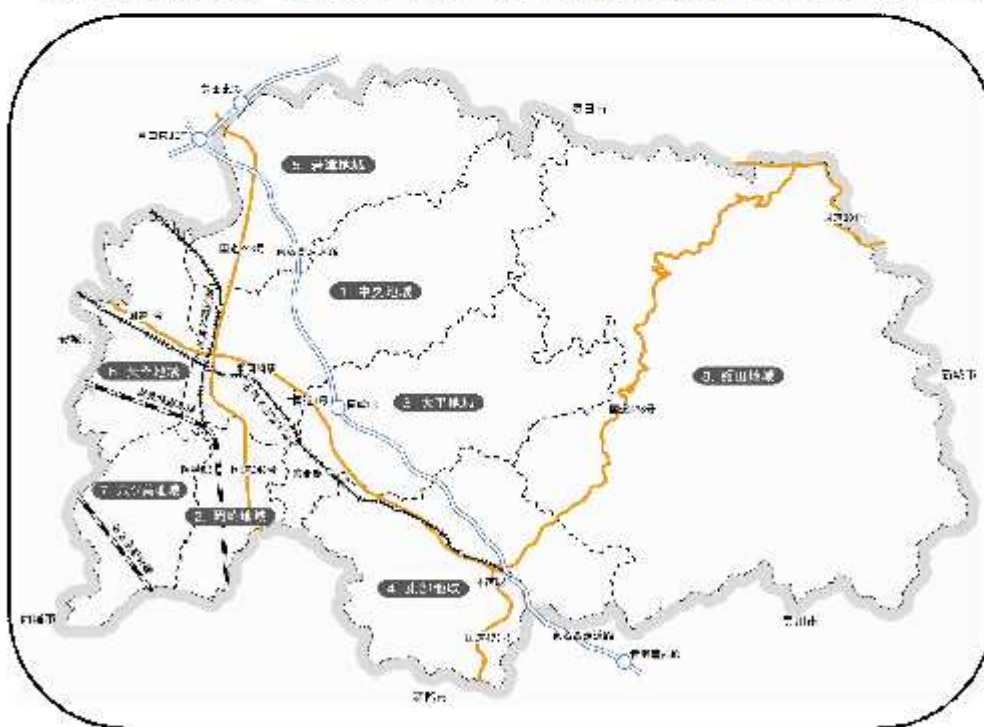
調査票は、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

なお、別添の参考資料に、これまでの取組をご紹介します。

問12のご回答の参考にしてください。

参考資料

下の地図は、問6 お住まいの地域のご回答の際に参考にしてください。



以下の表は、問12市の取組に対する満足度・重要度を回答される際の参考にしてください。

分 野	これまでの主な取組	
市民生活・地域社会  校舎の耐震化	1 市民自治の実現	公益的な市民活動を支援する「市民活動総合支援センター」・「地域交流センター」の運営
	2 市民生活の充実	日本人市民と外国人市民の交流を支援する「りぶら国際交流センター（ICC）」の運営
	3 安全社会の構築	交通事故が多発する交差点のカラー舗装化、右折帯設置
	4 防災体制の充実	小学校に災害時の被災者支援用物資の備蓄 公共施設に地震情報を伝達する装置の配備 集中豪雨など災害に備えた防災ラジオの有償配布 小中学校の校舎耐震化
保健・医療・福祉  岡崎げんき館	5 保健衛生の充実	心とからだの健康づくりを支援する「岡崎げんき館」の運営 心理的な悩みの問題に応じた相談体制の整備（心の健康相談） 飲食店や食肉処理施設に対する監視指導（食中毒の防止）
	6 地域医療の充実	市民病院の病床、診療機器を地域で共同利用する地域医療支援病院化 医療に関する苦情や相談を受け付ける「医療安全支援センター」の運営 救済資金の活用や託児所の利用改善による看護師の確保
	7 地域福祉の充実	学区福祉委員会設立支援 災害時要援護者支援制度モデル事業の実施
	8障がい者福祉の充実	社会福祉法人に対する運営支援（施設整備費補助） 一般企業などで雇用されることが困難な障がい者に働く場の提供

参考指標 (施策の進捗状況を把握する参考として設定した指標)	計画時 (平成20年度)	現状値	目標 値への 状態	目標値 (平成20年度)
コミュニティ施設の年間利用者数	563,874人	545,381人	▲	600,000人
市登録の市民活動団体数	438団体	597団体	▲	700団体
市民協働全事業数	35事業	56事業	▲	60事業
市民相談年間件数	17,261件	15,236件	▲	19,000件
女性委員などの登用数	21.5%	25.6%	▲	40.0%
国際交流センター年間利用者数	3,582人	11,073人	▲	24,000人
犯罪認知件数	4,398人	4,619件	▲	4,000人
交通安全活動への市民参加年間人数	43,982人	41,627人	▲	45,000人
消費生活相談処理率	99.5%	99.7%	▲	99.0%
町による防災マップ作成率	9.5%	30.7%	▲	50.0%
公共施設耐震化率	67.8%	96.7%	▲	100.0%
出火年間件数	198件	112件	▲	175件
3大死因の割合（悪性新生物）	29.8%	28.2%	▲	29.0%以下
3大死因の割合（心疾患）	14.8%	15.1%	▲	15.0%以下
3大死因の割合（脳血管疾患）	12.3%	11.5%	▲	13.0%以下
人口1,000人あたりの食中毒患者数	14.6人	16.5人	▲	10人以下
3類感染症発生者数	24人	25人	▲	30人以下
1日あたり野菜摂取量	230g	218g	▲	300g
市民病院における外来件数に対する紹介件数の割合	67.0%	69.3%	▲	80.0%
照会1回で救急搬送した割合	89.0%	85.6%	▲	90.0%
市民病院の医師数	119人	123人	▲	126人
市民病院の病棟看護体制	10人	7人	▲	7人
ボランティア登録団体数	99団体	97団体	▲	100団体
学区福祉委員会の設立数	40委員会	43委員会	▲	44委員会
障がい者グループホーム「ケアホーム」の定員	49人	61人	▲	112人
障がい者の施設入所者数	238人	229人	▲	202人

目標値に近づいている
目標値に達している

分 野	これまでの主な取組	
保健・医療・福祉	9 高齢者福祉の充実	援護を必要とする高齢者に在宅福祉サービスの提供
	10児童福祉の充実	放課後児童の居場所として「学区こどもの家」の運営 留守家庭児童の生活の場として「児童育成センター」の運営 中学校卒業までの子どもに対する医療費無料化
	11 社会保障の充実	国民健康保険制度における特定健康診査、特定保健指導の実施
環境共生都市  こども自然遊びの森	12 自然環境の保全と活用	自然体験、環境学習の場として「こども自然遊びの森（仮称）わんPark」の整備
	13良好な生活環境の確保	下水道計画区域外地域への合併処理浄化槽導入支援（設置費補助）
	14地球環境の保全	太陽光発電、燃料電池など新エネルギーシステム購入費補助 経済性や地球温暖化に配慮した新一般廃棄物処理施設の建設
	15環境行動の実践	環境基本計画に基づいた市民協働プロジェクトの実践
経済  藤川地区	16商工業の振興	若者の職業的自立をサポートする「若者おいでんクラブ」の開設 創業支援講座の開設
	17農林漁業の振興	低コスト生産システムの導入支援（高性能林業機械購入費補助）
	18観光の振興	「寄場町」の風情が残る藤川地区の魅力を活かしたまち歩きルートの設定、案内表示の整備

参考指標 (施策の進捗状況を把握する参考として設定した指標)	計画時 (平成20年度)	現状値	目標 値への 状態	目標値 (平成20年度)
サービス利用人数	延4,125人	延4,312人	▲	延5,280人
老人福祉センターの利用者数	257,364人	300,217人	▲	344,400人
在宅介護率	75.3%	76.1%	▲	75.0%
児童育成センター利用定員数	1,500人	1,700人	▲	1,900人
特別保育実施園数	延45園	延51園	▲	延60園
メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少率	平成20年度から調査	4.2%	—	25.0%
国民年金相談件数	3,454件	2,564件	▲	3,600件
生活保護者自立支援達成数	52件	48件	▲	41件
自然環境の保全活動参加者数	3,314人	6,176人	▲	3,800人
自然体験プログラム参加者数	4,870人	7,764人	▲	6,300人
水循環再生指標 * 5点満点	3.1	3.3	▲	4.0
環境基準（BOD）の達成率	87.0%	100%	▲	100.0%
家庭からのCO ₂ 排出量	414千t-CO ₂	472千t-CO ₂	▲	326千t-CO ₂
資源化量	29,630	26,063	▲	48,131
環境学習、話しあふ会、講演会などへの参加者数	5,437人	4,197人	▲	6,000人
環境基本計画推進組織によるプロジェクト始動数	平成20年度から調査	8件	—	10件
小売業年間商品販売額	404,992百万円	平成20年度調査予定	—	409,000百万円
工業製品等出荷額	1,818,507百万円	1,267,614百万円	▲	1,873,000百万円
年間新規創業者数	23件	24件	▲	33件
月間有効求人数	110,049人	50,245人	▲	122,000人
農業産出額	8,350百万円	7,530百万円	▲	8,500百万円
林道総延長	173,473m	174,771m	▲	192,000m
山村振興地域人口	9,116人	8,881人	▲	9,116人
岡崎城・三河武士のやかと家康館入館者数	166,692人	246,630人	▲	277,000人
観光協会HPアクセス件数	138,556件	192,430件	▲	165,000件

目標値に近づいている
目標値に達している

分 野	これまでの主な取組	
都市基盤・生活基盤 	19都市魅力の向上	歴史、文化を歩いて体感する「二十七曲り」の整備 シックコア地区、岡崎駅東地区などの市街地整備 東岡崎駅東改札口のバリアフリー化
	20快適移動社会の実現	地域をネットワークする基幹バスの運行、赤字バス路線に対する補助 コミュニティバス、乗合タクシーの運行による地域内交通の確保 矢作地域を結ぶ都市計画道路矢作桜井線など道路網の整備
	21生活基盤の充実	古部川などの河川整備 校庭地下に雨水を溜める流域貯留浸透設備の整備 住宅、建築物の耐震診断、耐震改修補助
教育・文化 	22学校教育の充実	就学、不登校の悩みなどに助言、指導を行う「教育相談センター」の運営 全小中学校の校舎耐震化
	23生涯学習・スポーツの推進	生涯学習活動を支援する「市民活動総合支援センター」の運営
	24文化の振興	文化財的価値の高い旧日本多忠次邸の復元活用 旧愛知県第二尋常中学校講堂《日日清訪講堂》など明治以降の近代化を支えた遺産の保存
都市経営	25参加と協働による市政の運営	パブリックコメントの実施、審議会の公開
	26効率的な行政経営の推進	行政評価制度の導入

参考指標 (施策の進捗状況を把握する参考として設定した指標)	計画時 (平成29年度)	現状値	目標値 (平成29年度)
未利用地面積	418.5ha	240.2ha	178.5ha
市街化区域内人口	319,435人	319,691人	333,164人
違法屋外広告物の件数	991件	963件	473件
公共交通の利用者の人数	96,034人/日	102,105人/日	111,380人/日
都市計画道路 幹線道路建設延長	66,240m	66,930m	69,470m
道路維持 補修延長	39,852m/年	27,347m / 年	41,930m/年
公園緑地の整備面積	370.9ha	400.4ha	377.0ha
河川の整備率	38.5%	42.8%	45.4%
耐震改修件数	291件	469件	3,156件
下水道普及率	76.2%	85.6%	93.0%
水道管の耐震化率	47.0%	52.6%	54.0%
学校を楽しいと感じる児童生徒の割合	78.3%	89.5%	85.0%
校舎の耐震化率	50.7%	98.5%	100.0%
生涯学習定期講座 自主講座受講者数	8,260人	7,419人	8,500人
各種スポーツ大会参加者数	31,683人	24,186人	33,300人
文化財教室への参加数	218人	206人	320人
美術3館の企画展鑑賞者数	190,008人	148,658人	209,700人
市ホームページアクセス件数	1,148,988件	2,552,942件	1,550,000件
公募委員のいる審議会などの割合	35.1%	41.1%	60.0%
行政評価による改善件数	317件	155件	400件
経常収支比率	78.6%	85.5%	80.0%以下
広域実施事業数	65事業	75事業	70事業

 目標値に近づいている
 目標値に遠ざかっている

岡崎市市民意識調査 報告書

平成 23 年 10 月発行

岡崎市企画財政部企画課

岡崎市十王町 2 丁目 9 番地

TE L 056 4-2 3-6812